



邪馬墮ち嫁



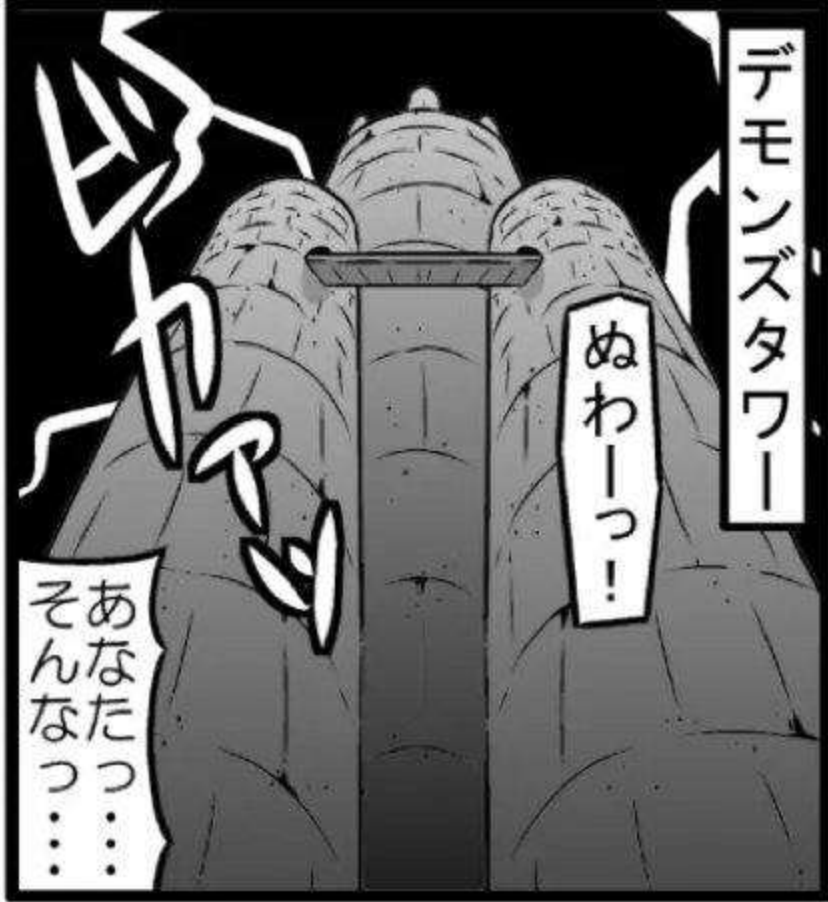
うははははつ  
俺は不死身と  
言つたらろう!

まあ少しは  
ヒヤツとさせ  
られたがなア



ぐっ...うう...  
ジャミ...!!

まさかっ  
生きて...



デモンズタワー

ぬわーっ!

あなたっ...  
そんなっ...



グフフフ...  
我が身を挺して  
互いにかばい  
合うか...

成程：麗しい  
夫婦愛だなア

フム：その健気な愛に  
免じて：その男の体  
を元に戻すチャンスと  
与えてやつても良いぞ

えっ...!?



さあつ  
そこをどけつ  
ビアンカ!  
俺様の呪いの  
浴びて石になつた  
そのの間抜けを粉々  
に砕いてやる!

そんな事は  
させないわ!  
この人は：私を  
かばつて石に...

だから今度  
は私：この人  
を守る番よ!



この小瓶に入つた  
液体が解呪の為の  
特效薬だ  
こいつを  
かければその  
石化も簡単に  
解けるぜ

なっ...  
それは本当  
なの...!?

俺は嘘など  
つかん!

ギヒヒッ

ホレ：この薬：：  
喉から手が出る位  
欲しいだろう？

愛する夫を  
救う為になア

そつ：：  
それは：：

そこで取引だ  
そうだな：：  
六十日だ！

六十日の間  
お前に俺の妻  
として仕えて  
貰おう！

なつ：なん  
ですって！？

ドキッ

それが嫌なら  
この俺を殺して  
薬を奪うしか  
ないぞ！

お前等二人がかり  
でも倒せなかつた  
この俺に勝つ自信  
が有るのならなア！

トハッ

フヒヒヒツ  
良い眺めだぞ  
ビアンカ！

グッ：

だが夫である  
この俺に隠し事  
はいかなア

その邪魔な手を  
どけてもらうか！

ウハッ

ウハッ

さあどうする  
ビアンカ！

うう：

くっ：

返事を  
聞かせろ！

魔物の妻に  
なるなんて  
絶対に嫌！

でも私があの人  
を助けなきゃ：

そして

たったの六十日：：  
コイツと夫婦ごっこ  
するだけであの人  
を助けられる：：

この：：  
変態ツ！

そう考えれば  
安いものよ！



私が愛したのは  
ただ一人：  
あの人だけよ！

ほほぅ  
そうかい！

だがこんなスケベ  
ボディを見せられ  
たら男の方は皆  
発情しちまうぜっ



ヒツヒツヒツ  
こりやたまん  
ねえ体だな！

カ  
カ  
カ

今までその  
体で何人の男を  
悦ばせてきたんだ？

なつ：そんな事っ  
ある訳ないでしょ！

うっ…あの人以上  
の男にこんな姿を  
晒すなんて…！



グヘヘヘッ  
早速たぎって  
きやがったぜ！

イツ！

なつ…これ完全  
に勃起してる！



今こうしてお前の  
体を舐めまわす様に  
視姦しているこの  
俺の様になア！

クツ…

そんなの嘘よ！  
コイツはただ私  
を辱めようと  
しているだけ…

魔物が人間の女の  
裸を見たつて興奮  
なんかする訳…



私の裸：本当に  
イヤラシイ目で  
見て欲情してる！

やだ…これ凄く  
恥ずかしい…！

うっっ…

ドキ  
ドキ



お前のその豊満な乳房でチンポを挟み込んで揉みしだくんだよ!

なっ...!?

オッパイで挟むの!?



ようしビアンカ早速妻としての務めを果たして貰うぞ勃起した俺のペニスをパイズリしろッ!

For・for・c.

何よそれっ?!



こ...これで良いんでしょッッこの変態馬ッ!

ブヒヒヒヒッ初めてにしちやあ上手いもんだぜ!

本当は既に...あの男に散々仕込まれてるんじゃないのか?

馬鹿言わないでッあの人がこんなる下品な事ではあらずないで!



さらにつ... 亀頭を舌で舐め回してくれや!

ええっ...!?

どうした? 愛する旦那を助けたくはないのか?

くっ... っ...



よしっこのまま乳房の谷間で竿を上下にこすりあげろ!

こっ... っ...?

クフ... っ... たまらん!

グフフツツ…  
その調子だ！

んんっ…  
んんっ…

へ：変な  
味だわ：

んむむっ…  
ぺろぺろっ…

おほおっ…  
こりや至福  
だぜエーッ！  
だがこれ以上  
続けると発射  
しちまうな

ぐっ…まさか魔物の  
こんなのを舐める日  
が来るなんて…

ほれほれっ  
乳ズリも  
忘れんなよ

よしビアンカ  
その辺でいいぞ

ほれっ…コッチは  
もう準備万端！

いよいよ夫婦  
の営みだ…  
覚悟はいいな？

ゲツ…！

ちよっ…  
ちよっ…  
待ってッ！

うっ…やっぱり  
そう来るのっ!?

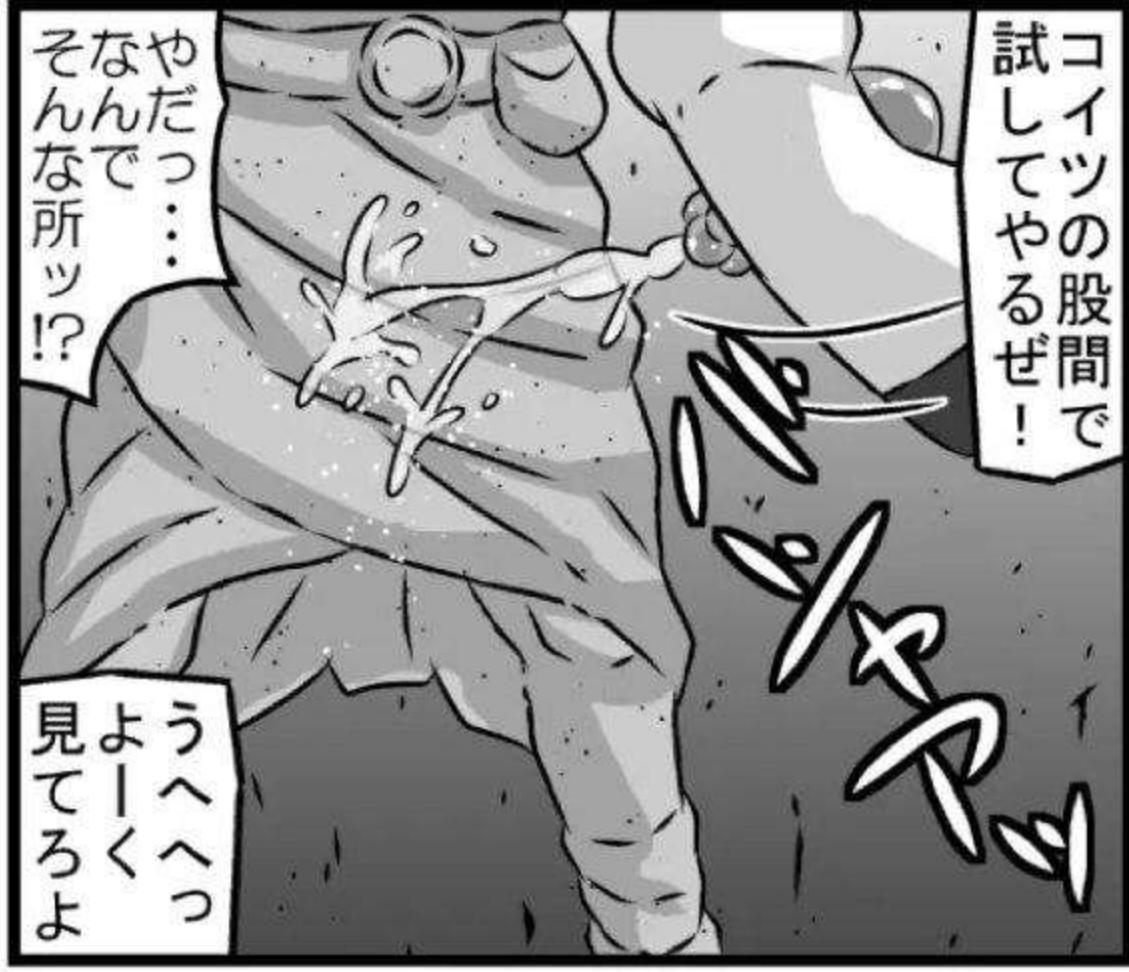
なんだア？  
ここにきてやはり  
自分の身が可愛く  
なったのかよっ！

そうじゃなくて…  
私はまだあなたを  
信用してないの！  
その薬の効果が  
本当なのか…

そ：そうよ…コイツが  
嘘を言つて私を好きに  
しようとしてるだけ  
かも知れないし…

証拠を見せて  
はくれないとこれ以上  
は付き合えないわ！

あんな大きなモノを  
目の前にして覚悟が  
揺らいだ訳じゃ…



コイツの股間で試してやるぜ!

やだっ...  
なんだっ...  
そんな所ッ!?

うへへっ  
よーく  
見てろよ



ブヒヒヒッ  
そう来たか  
まあ良い  
だろう

ええっ...  
そんなに  
あつさり...!  
!?

せいじゃあ...



それとも...本心では薬が偽物である事を願っていたのかな

なっ...  
そんな訳無い  
じゃない!

グフフ...  
どうだかな



ホレどうだっ  
薬を浴びた箇所  
だけは石化の呪い  
が解けているぞ!

ううっ...  
たしかに...

これで安心  
しただろう



おつと...そうだといいでに良い事を教えてやるぜ!  
その男は石化しているといつても意識はちゃんと残っていてなア...  
体が動かせないだけで視覚も聴覚もいつも通り働いているんだ

なっ...  
なんですって!?

つまり...お前が体を張って俺にたっぷりサービスしてくれた様子もじっくり拝んでいたって訳よ!

そんなっ...私が  
ジャミにした事  
全部あの人が  
見られてたつて  
言うの...!?

がきッ



ええっ  
どうして...!?

ムン...

石化が解けて  
血の通いが始  
イチモツが勃  
してやがるぜ  
起!



きゃあっ  
何をっ!?

その証拠に  
コイツを  
見やがれっ



ああ  
あなた  
あなっ  
...

ビアンカが  
魔物なんか  
に...

ああ...何て事だ!  
僕が石にされて  
しまったせいで...

自分の妻のあんな  
痴態を見せられたら  
ギンギンにもなるぜ  
ハハハハハッ!



すまない  
ビアンカ...

さらには  
あんな事  
まで...!

ジュー  
ジュー

アッ  
アッ

アッ  
アッ



体の隅々まで  
じつくりと  
見られて...

ナッ  
ナッ

アッ  
アッ

アッ  
アッ





こんな爪楊枝みてえなサイズのチンポで：満足する女なんて居る訳ないぜ！

よっ・横に立つなア！

お前もそう思うだろうビアンカ！



ヒヤハハッそれにしてもこの男よオ：

幾ら何でもポコチン小さ過ぎんだろう！

うわっ：コイツ何を言ってる！？



本当に愛している人との行為なら：それだけで女は満足できるのよ！

ああ：！ありがとうビアンカ：やっぱ僕には君しかいない！

ホウ：言うねエ



うっ：そんな事ッそんなモノの関係無いわ！

た：確か小さいけど：少しも知れいな

ビ：ビアンカやっぱ君もそう思ってる



証明しやがれッビアンカア！

駄目よっあんなの前でなんてっ：！嫌アアアッ！

僕の妻に：汚いモノ入れるなア！

やっ・やめろこの馬ッ：



つまり愛の無い俺とのセックスなんかじゃ満たされないって事だな

いやっ：何をッ：！？

ちよっと：まさかっ：！？

ククク：その言葉が真実かどうか：旦那の目の前で：

うわっ：ジャミの奴ビアンカに何をっ！？

ほれっビアンカツ  
コイツが本物の  
チンポだぜーッ!

キヤアアアアッ!  
太いッ:  
裂けちゃうッ!

ぐわあーっ  
ジャミめっ!

ビアンカツに  
何て事をツ!

そこの旦那もっ:  
てめえの嫁が俺の  
チンポにハメられる  
様をよしく鑑賞して  
おくんだなア!



ゲへへへッ  
どうだっ  
ビアンカツ?

このサイズ:  
奴の粗チンとは  
まるで比べ物に  
ならんだらう!  
このポリウム  
ならホレッ:  
:

直接お前の子宮  
までエグって  
やれるぜっ!



あうっ・確かにあの  
人の物よりもずっと  
大きくて硬いわっ!

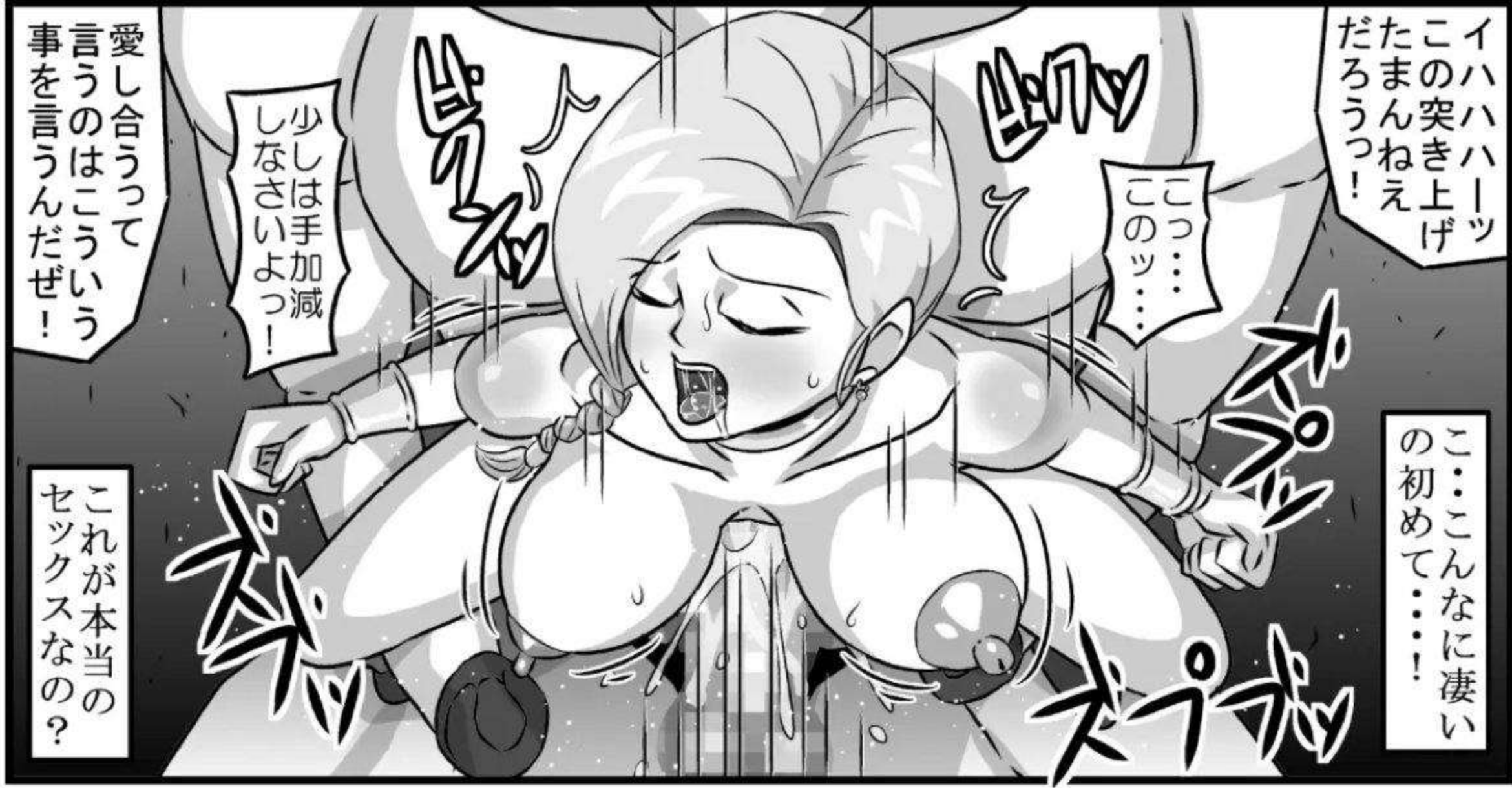


奴のじやまるで  
届かなかった  
奥の奥まで俺が  
ブチ抜いて  
やったんだ



つまり:お前の  
本当の処女はこの  
俺が喰っちまったも  
同然って事だよなア!

ぎゃい:  
:



イハハハーッ  
この突き上げ  
たまんねえ  
だろっつ!

こっ...  
このッ...

こ...こんなに凄  
いの初めて...

少しは手加減  
しなさいよっ!

愛し合うって  
言うのはこうい  
う事を言うんだぜ!

これが本当の  
セックスなの?

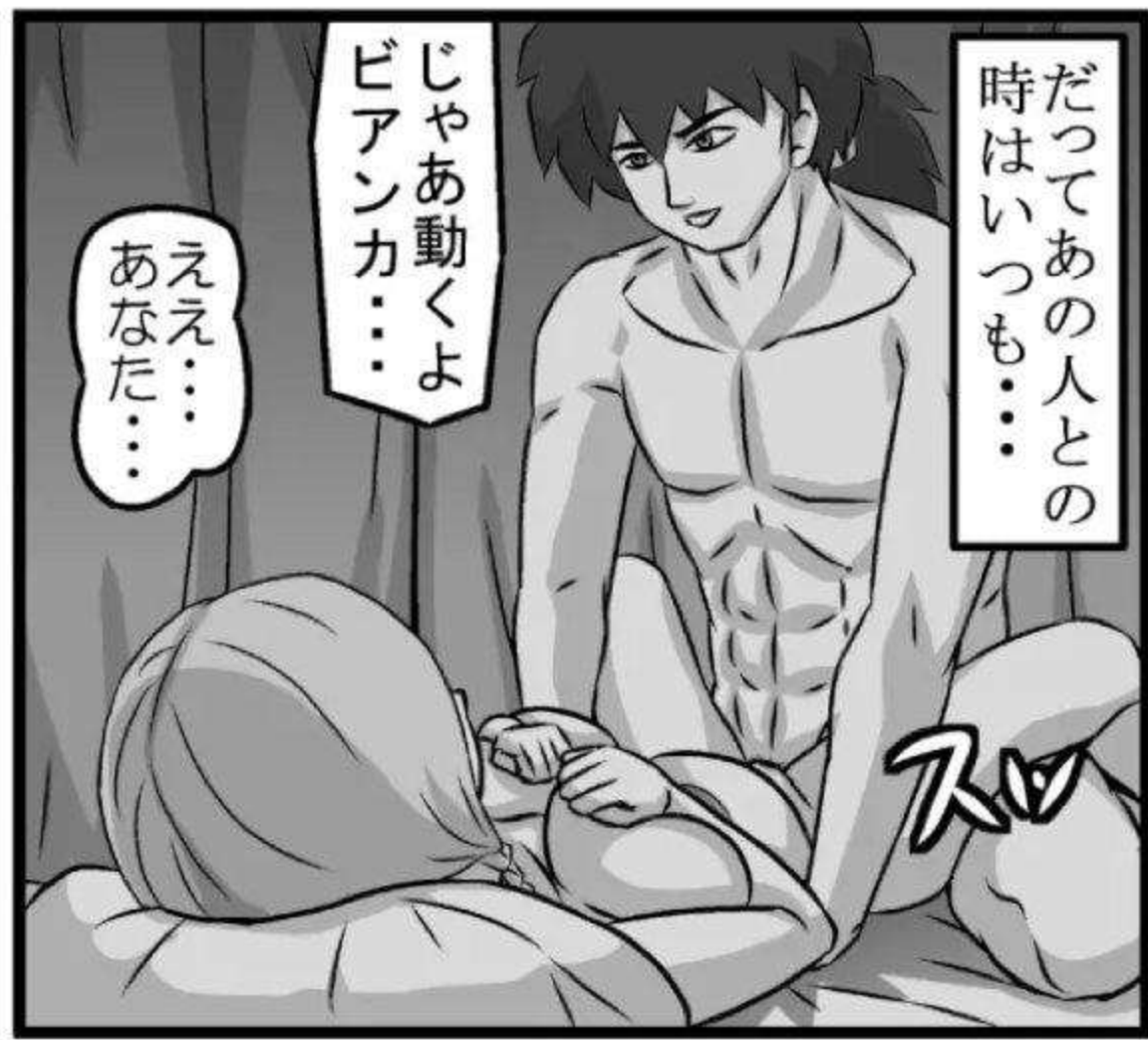


フッ...フンッ  
フッ...フウッ!

あっ...

ああん!

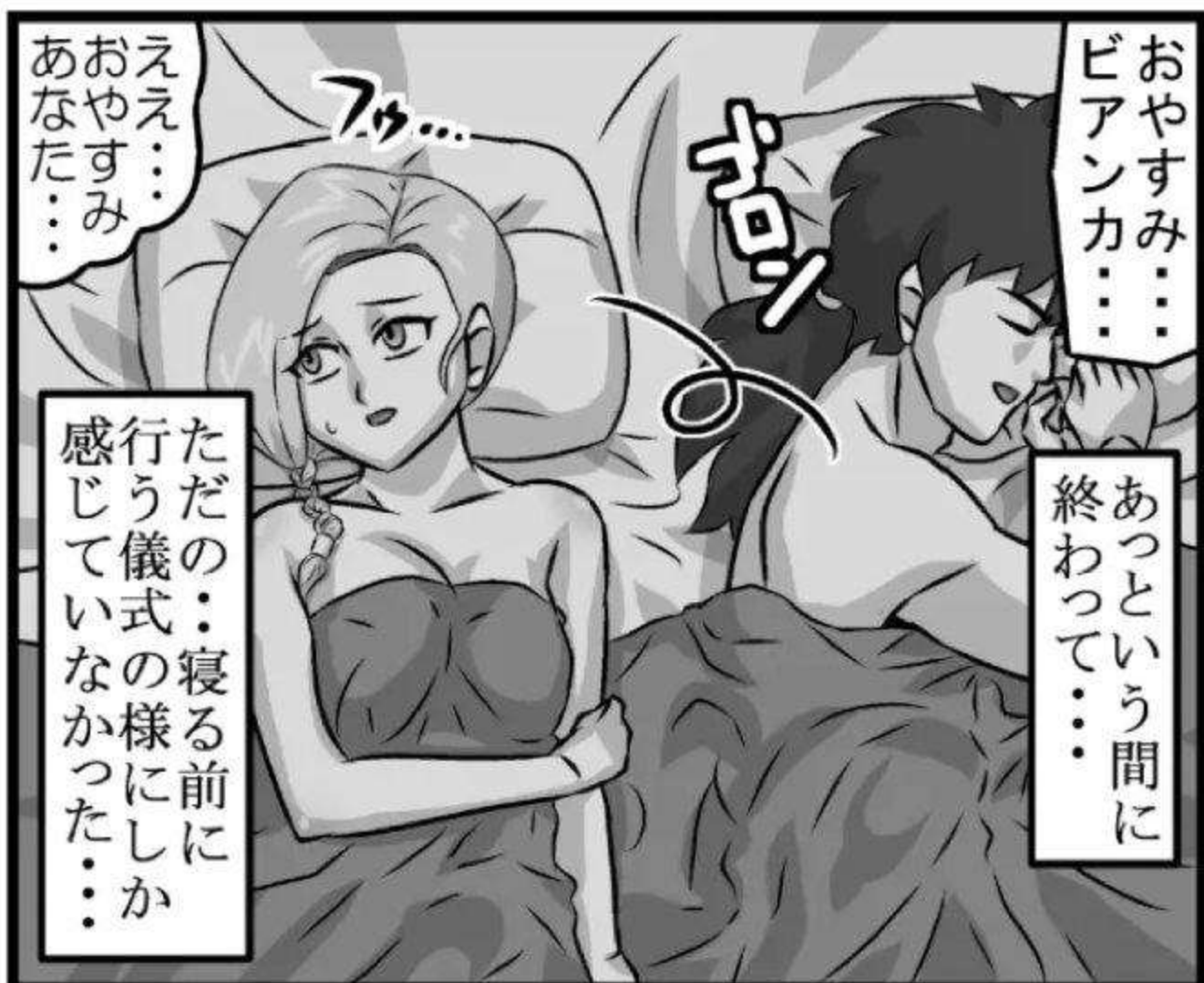
ああ...  
ビアンカッ!



だつてあの人の  
時はいつも...

じゃあ動くよ  
ビアンカ...

ええ...  
あなた...



おやすみ...  
ビアンカ...

あつという間に  
終わって...

ええ...  
おやすみ  
あなた...

ただの寝る前に  
行く儀式の様に  
感じていなかった...



イクよっ...  
ビアンカッ!

ええっ!?

グウウッ!

なっ...  
もうっ!?

うはあ...

だが俺一人で  
申し訳ない気が  
するんでないア

グフフフ  
ビアンカよ  
お前の穴は  
最高だぜ!

ニャ

ハッ…  
何をっ!?

はひんっ!

あんっ!

女の本能で  
分かる…!

私を抱いてその行為  
の強さで自分の女に  
しようとしている!  
欲情したオスがメスを  
支配するために行う  
ケダモノの交尾よっ!

ズッ  
ズッ  
ズッ

お前の旦那にも  
もつとじっくり見て  
貰う事にするぜ!

ひいーっ  
こんな近くで  
駄目よっ!

つ：繋がってる所  
丸見えじゃないッ!

ホレホレッ  
魔物のチンポで  
ヨガる嫁さんの  
姿をたっふりと  
楽しみな!

ぐわあっ  
やめろっ  
ジャミめえ!

ガァン

ズッ  
ズッ  
ズッ

ち：違う  
んだ…  
勝手には…

おそれを大きく  
おかしいわよっ!

私が目の前で  
こんなヤラシイ  
の事になってる  
ソレを大きく  
おそれな  
おかしいわよっ!

ズッ  
ズッ

なっ：あなたっ  
どうしてっ!?

いそれはっ!?

ズッ  
ズッ



ブシユシユ!

むむーっ!

あぶっ...!?



グヒヒヒツも  
奴の粗チンも  
悦んでいる  
様なア

これで俺達は  
旦那も公認する  
仲って事だ!

なっ...  
そん...  
無いな訳



んんっ...

獣臭い舌が  
ねつとり絡み  
付いて...

有無を言わさず  
熱い唾液を押し  
込んでくるわ!

むむっ...



ムホッ!

こんな強引  
なキス...  
初めて...

やめっ...  
やめっ...

ひやぶっ...



よしっ...  
出すぞっ  
ムビアンカツ  
ムフツツ!

やっ...中は  
駄目っ...  
むぶっ...

出すなら  
外にっ...  
むぶっ!

ぬわあーっ  
やめるオ!

ぬほほおーっ  
ブチ撒けるぞ  
ブチユウツ!



口内を満たす  
この獣臭い  
唾液の味と...

子宮を激しく  
突き上げる  
この振動が...

んぶぶっ...  
んぶぶっ...

私を狂わせ  
ようとして  
いるツ...!

んっ...







あああつ…  
中に…

ゲへへへッ  
中はトロトロで  
生臭いぜっ!

うっ…動か  
さないでッ!



さあて  
お次は味見  
といくぜ

ひいッ…!?  
舌を…押し  
込んでるっ!

塩気と苦味の  
混じったクセ  
になる味だな!

やだっ…  
この変態ッ



ひゃんっ!?

それっ…

クククッ  
いい感じに  
開いたな!

お尻…溶け  
ちやう…



うほほっ  
大分緩んで  
きたゾッ

ああっ…  
やだっ…

くっ…  
ふうう…

では抜いて  
みるか…



一気に  
ブツ刺す  
ぜえ!

ズズッ

あひゃあアッ!?

んのおお!



げっへっへ  
それでは  
二回戦  
イクぜ!

ひい…  
ナニを当てて  
いるのよっ!?  
ま…まさかっ…  
やだやだっ…

アキッ

入れるのに  
手間取ると  
苦しいだろう  
からな…





ホーレツ：狭い入り口さえ通り抜けてしまえば後はすんなり受け入れちまうんだよケツの穴はよお！

あひいっ…あぎいっ！

クククッ どうだ？ 完全に無防備なハラワタをチンポで掻きまわされるこのスリルと快感… たまんねえだろう！

やだっ…あんな太いモノが私のお腹につ…！

おっ…お尻でなんて嫌ッ！



ゲヒヒツ：俺は知っているんだぜ お前みたいなきの強い女は大抵…

乱暴に尻穴を犯されるとアンアン喘いでしまいうマゾって事をなア！

そんな自分自身の弱く淫らな本性を否定したくてついつい強い女の振りをしちまうんだらう？

バカッ… そんなの出鱈目よ！



グヒヒツだが安心しろビアンカツ この俺ならそんな淫らな欲望を秘めた本当のお前を丸ごと愛してやれるぜ！

なっ…！？

汚ねえクソを毎日ブリブリひり出すこのケツ穴だ… そうだ！ 本当にお前を愛し求めてる俺だからこそこんな不浄の穴でもセツクスできるんだぜ！

ひッ…何を言っ…？



一あ確  
度もか  
も人  
はは

ええ

腰を上げて

さあ  
ビアンカ



本当に：お前の  
全てを愛して  
くれていたのか？

そっ  
それは

俺の様にこうして  
お前の肛門だつて  
求めてくれたか？

クククツ  
お前の旦那：  
あの男はどう  
だつたんだ？

ドキッ



出すよっ  
ああっ！

んっ  
んっ

でっ  
出るっ！

私：本当は  
あなたに

ただの一度も  
触れようとさえ  
しなかつたわ



ああっ  
ビアンカ

んっ

うああっ！

んっ

行為の時だつて  
いつ目にも  
付いていたはず  
なのに

ハッ

ハッ



よーしっ  
ビアンカ  
俺達でアイツに  
本当の夫婦の  
営みつけて奴を  
見せつけて  
やろうぜっ！

グウウッ！

マジに愛し合う  
オスとメスの交尾が  
どういう物か：奴に  
思い知らせてやる！

待つて  
私っ

ハッ

そっ：そんな  
つもり無っ  
あッヒイイ！



こ・肛門を  
使って性行為  
をしている  
なんて…!

あんな魔物  
なんかと…

アヒッ!



う・あ・あつ…  
あ・悪夢だ…

まさか  
最愛の妻  
が…

ガッ  
ガッ



それに…ビアンカ  
のあの喘ぎ声…

ウヘヘーッ  
このケツ穴  
ギョングョ  
締まるぜッ  
ビアンカよッ  
お前はやつぱり  
最高の女だぜ!

あうっ…  
はううッ!

おおおッ  
ほおーッ!

あんな色の付いた  
切ない鳴き声は…  
僕の時一度も…



よしっ  
それじゃあ  
ビアンカツ

ここからラスト  
スパートだッ  
本気の腰振りを見せるぜッ!

ひいっ  
本気出しちゃ  
駄目よッ!



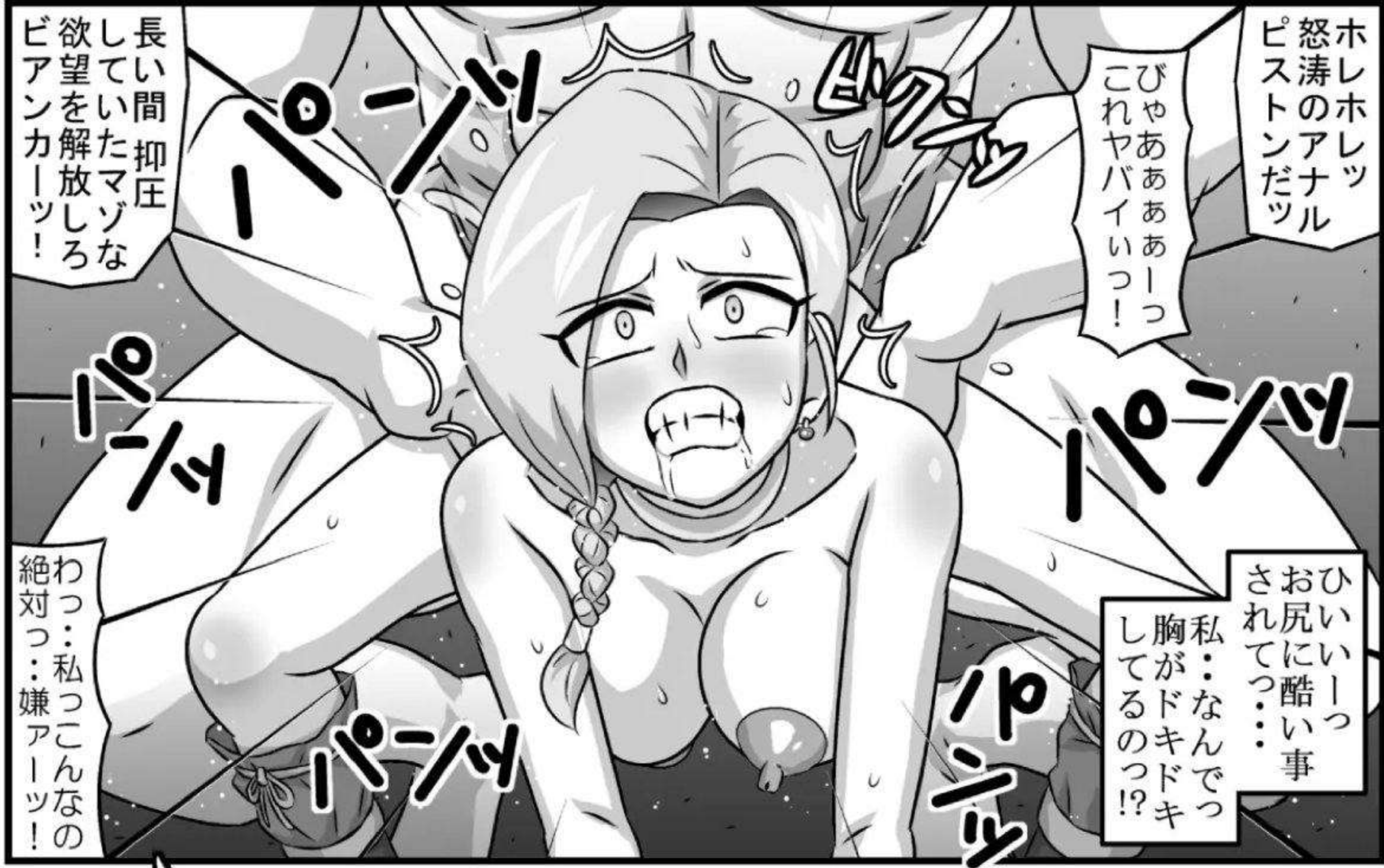
もしや…僕との  
行為で見せていた  
あの反応は…

気持ち  
良いかい?  
ビアンカ…

全部…ただの芝居  
だったのか…?

えっ…ええ  
とても…

あつ…  
あーんっ



ホレホレツ  
怒涛のアナル  
ピストンだツ

びゃあああああーっ  
これヤバイいっ!

長い間抑圧  
していたマゾな  
欲望を解放しろ  
ビアンカーツ!

ひいーっ  
お尻に酷い事  
されてっ?!

私：なんでっ  
胸がドキドキ  
してるのっ!?

わっ：私っこんな  
絶対：嫌アーツ!



ようしっ  
フィンニッシュ  
するぞっ!

だが最後は  
やはり：：

なっ：：  
何をツ!?



何が嫌だっ  
ケツ穴を  
汁まみれに  
濡らして  
言う事かっ!

んおっ：：

おひいッ!



本当のお前を  
見せてやれっ  
メスになるんだ  
ビアンカーツ!

ヒイイッ  
見ないでッ  
あなたっ：：

見にやえい  
見ええい!

やめろっ：：  
やめてくれ  
えええーっ!



最愛の旦那さん  
にじっくり見せて  
やらなきやなあ!

嫌あああっ  
見せないでッ  
わ：私のっ：：

お尻でイクとこ  
見せないでエ!



夫の目の前で  
どてつ腹に流し  
込んでやるぜッ  
オラアーツ!

直接お腹にツッ  
嫌ああーッ!

あいいッ...

うへへへっ  
アナルアクメ  
最高だろっ  
ピアンカア!

うわあつ...  
そんなつ...  
ピアンカア!



なっ!

ひぎゃいっ!



あうっ...

ぐっぐっぐ  
良く頑張ったな  
今抜いて  
やるから...

あはあ...



さて：まだまだ  
ヤリ足りねえが  
時間はたつぷり  
あるんだ  
明日からじっくり  
楽しむとしようぜ

くあっ...

あ...ああ...

あな：た...  
見ない：でえ...

おっと...  
一人だけ逃げよう  
なんてするなよ

愛しの旦那様を  
助けたいならなア  
ひーっひっひっ!

ううっ...  
くそっ...

ううう...!

来たわね  
ジャミミ...

昨日は奴の勢いに  
呑まれてあんな醜態  
を晒してしまっただけ  
今度は負けないわ!

さあビアンカ  
今日も始め  
ようぜ!  
俺達の愛  
の時間だ!

どんな要求が来たって  
平気なフリして淡々と  
相手していれば私への  
興味も無くなるはず!

そうなれば夫と  
一緒に解放して  
貰えるチャンス  
も出来るわ!  
さあつ...早く私と  
ヤリたいんでしょ!  
さつさと来なさいよ!

うへへっ  
イクぜっ

えっ...  
キス!?  
やだ...なんで  
キスから...?

むふっ!?

んんっ!  
んんっ!

ま...魔物の癖  
にこんな...

グへへエ

んはっ...

仲の良い恋人  
みたいな事...  
しないですよ...

はあ...

むふふっ 乳房の  
ポリリウムと言  
乳輪のサイズと  
言い...  
凄く魅力的な  
バストだぜ!

ばっ馬鹿な事  
言わないでよっ  
このスケベッ!

こんな立派な胸  
を前にしたら  
男は皆スケベに  
なるってもんだ

でも...自慢の胸  
の事をそんな風  
に褒められたら...  
女として悪い気は  
しないっというか...  
す...少しだけ  
嬉しいかも...

やだっ...

うっ...また変な  
事言っつて...  
調子狂っちゃう  
じゃない!

んんっ...

ジヤミはその後も私の体をじつくりと時間をかけて愛撫し続けた……

ふわっ……

ピクッ

ああんっ！

ひたすら腰を振る事しか知らなかったあの人は違う……

ぐへへっしっかり濡れたる？

丹念に愛された私の秘部は熟れていた

く……ふ……  
それじゃあ  
いれるぜ！

ホレツ……コイツは……どうだっ

あっ……嫌っ……  
あああ……っ！

ここかっ？  
この辺か？

深い所……  
だめえええ……！

充分に潤った私の穴はこん棒の様に太いジヤミの性器も容易に受け入れてしまう……

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ

体の一番奥まで突かれると我慢できなくなる……！

あの人の時は無理して声を出してたのに……

ううっ……  
ビアンカ！

あの人を気遣って無理して気持ちが良いフリをして……

あなた……私……  
本当は一度も満足できなかった……

あっ……  
あーん

ズッ  
ズッ

あーんっ

ニャ  
ニャ  
ニャ  
だから……









それっ：コイツで  
フィンッシュだ！

んはあっ！

お尻ッ：熱いッ！

ケツアクメ  
を味わえーっ  
ピアンカア！

女の肛門は性器  
なんだつて…！

お尻っ：また  
イグううう！



また今日も  
ド派手に  
イツたなア

お前のケツ穴  
チヨ口過ぎるぜ  
ひっひっひ！

あ…へえ…

おひひりっ…  
凄ひひりっ…



おっ…？

フッフフ…  
アレを見るよ  
ピアンカア！

んあ…？



このヤルせない  
気持ち：鬱憤…

石にされた  
この体で…

どうやって  
吐き出したら  
いいんだ…！



ぐ…ああつ…  
ピアンカ…！

また肛門で…  
そんな…

あんな魔物  
なんかに…



そんな貧相なチンポしてつから大事な女を奪われちまうんだよ!

そうだろピアンカ? ひっひっひっ



あの野郎... お前のケツイキを見てまたおっ勃ててやがるぜ!

恥ずかしげも無くガキみてえな粗チンをよオギヤハハツ!

ひっ...!?



グフフツ... まあ良いせつかくの機会だ! ここはひとつピアンカさんに竿比べして貰おうじゃねーか!

きゃあっ何をッ!?

さつきハメた俺のチンポと奴のチンポ... 女にとってどつちが魅力的なのかをなあ!

なっ... コイツ何を... する気だ!?



しっぽり楽しみな!

人前でこんなっ...

うわあっ... ピアンカツ... ピアンカツ... 中にイイ!

やめてーっ!



グへへへッ俺が手助けしてやるからよ

ばっ... 馬鹿っ! 悪ふざけはよしてっ!

ああっ... ピアンカ! まさかこのままピアンカと...

愛しい旦那と愛の時間を...



お次は出し入れだな!

そちよつと…  
…  
…

これって…

ホレッッホレッッ!



さあつ旦那の竿根元まで全部入れてやったぞ!

えっ!?

ええっ!?

あの人の…  
もう入ったの!?!  
全然…何も感じないわ!



愛する男との行為ならそれだけで満足するだけ?

うわあつ…  
ビアンカ!

僕は…  
もうっ…

ぬひひつ  
これならイケるものなんだな!

私…きつと  
もう一生…

この人に抱かれて幸せを感じることなんてできな…



ウへへツ…  
どうだ愛する夫のチンポは!

あ…ああ…

う…動いても何も感じない!

昨日はナニのサイズなんか関係無いとか言っていたが…  
まだ同じ事が言えるのかよ!

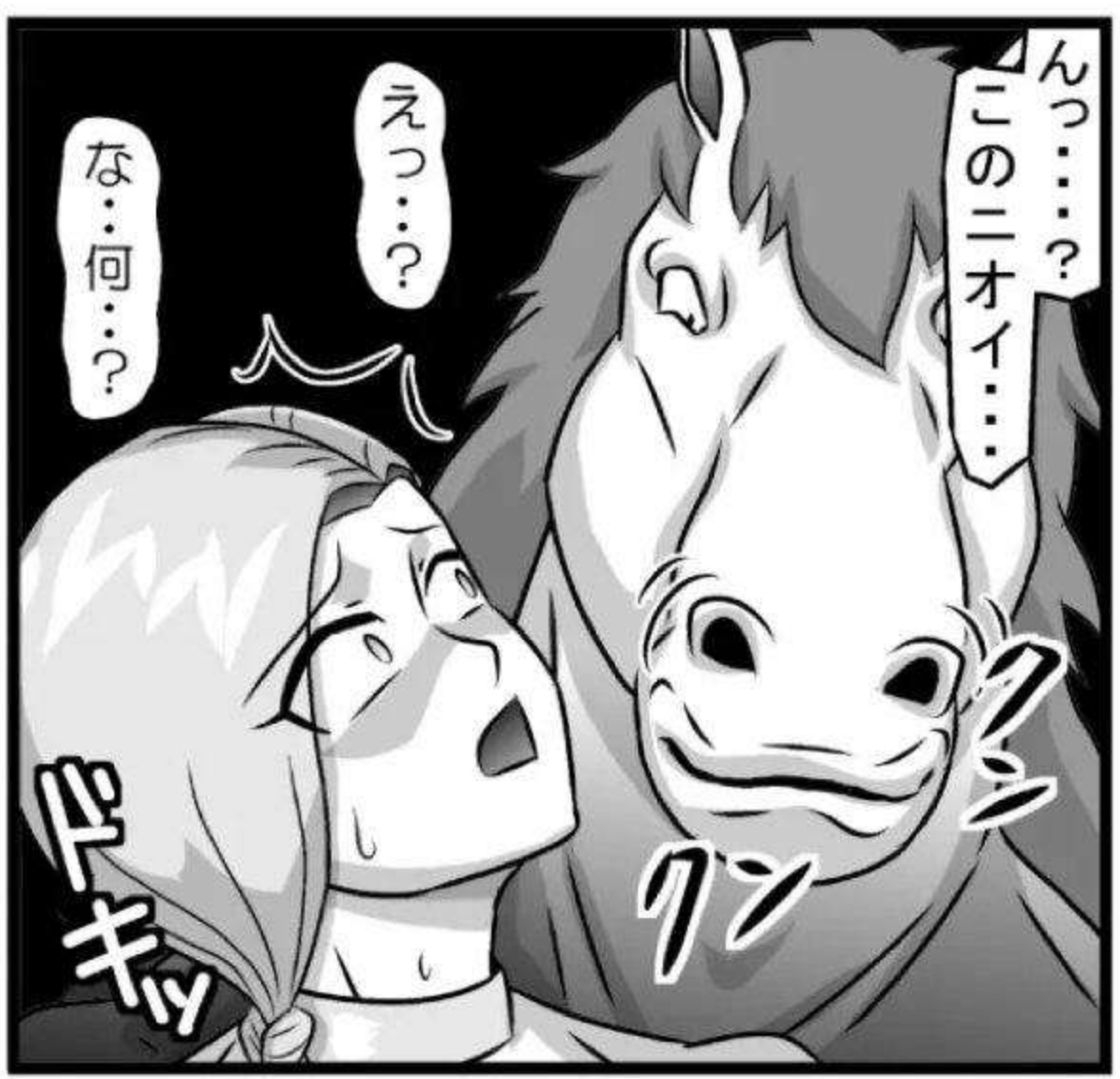
ジャミのアレを知ってしまったからなの…?



この野郎  
もしや…

急に…  
のよう…  
した…?

さ説明やしないと



んっ…?  
このニオイ…

えっ…?

な…何…?



そっ…早…漏!?

ブヒヤヒヤヒヤ!

このヘナチンの早漏野郎がッ!



十秒ももたねえのかよ!

ガッ

「駄目」なんだ…

まだ三擦りもしてねエゼ!

ああ…この人やっぱり…



ええっ…ええっ…!?

ダハハハッ やっぱりもう出ちまってるぜツ!

ドクドク



遅い方が偉いって訳じゃないし…

そ…粗末…粗末なモノ…

意味で言っただけじゃなくて…物のたとえ…

あせ

クルッ



私だって本当は…そんな粗末なモノで一度だって…ハッ!

ガッ

そんな訳無いでしょ!

お前は毎晩おこなオモチヤ…

ドキッ



うっ…うっ…!

それなら今日はこれで退散するが…

夫婦で何か揉め事かア?

ガッ



小さい方が好きよ!

だから…ね…あの…その…

お…大き…大きいと女の体…

粗末…小さい…







思えばあの人は：  
いつも勝手に腰を  
振って：いつの間  
にかイッていた：  
私が：何かして  
あげる間もなく  
すぐに一人で：

うわアアーツ  
ビアンカツ！

でっ：  
出るっ！

えっ：  
あ：  
うん：

もしかすると：  
あの夫婦だけ  
の夜の間：



でも：  
なんだ？

最後の瞬間：  
まるでビアンカ  
が笑った様に：  
いや：  
きつと  
気のせいだ：



私は：  
あの人の  
とつてただの「穴」  
でしかなかったの  
かもしれない：

ぐああつ  
ジャミめつ  
またビアンカ  
に酷い事を！



まあそう  
遠慮する  
なつて！  
女を満足させる  
のは男の義務だぜ

ほれっ：  
お前  
の好きなケツ  
でしてやるよ

バヤ  
力だつ：  
：

好きな所：  
じゃないッない  
！



うひひつ  
それじゃあ  
ビアンカツ  
今度は俺が  
お前を楽しませ  
せる番だな

な：  
何よ  
それっ！

誰もそんな事っ：  
頼んでないでしよ！





口ではそんな事  
言っても穴の方  
は正直だなあ！

クソ汁をドバドバを  
分泌してポコチンを  
大歓迎してるぜ！

ひいいいいっ  
またお尻ツ...

ヒッ

ズンズン

ズンズン

肛門が  
っちやうーッに  
拡が



まだまだ  
突き上げ  
るぞツ！

くそっ...  
僕の目の前で  
わざと...

見せつける  
様につける

ぬはあッ  
凄ヒイツ！

ズンズン

ズンズン



ホレツもつと強く  
しがみ付かねえと  
振り落とされるぞ

あの粗チン野郎の  
お遊戯みたいなの  
腰振りとは強度が  
段違いだからよ！

なっ...  
コイツ！...  
僕のが...  
お遊戯だと!?

ああっ...  
はアーツ！

こんなのっ...  
激しすぎるウー！

ヒッ

ズンズン

ズンズン



さあて...  
そろそろ肛内  
に注ぎ込んで  
やるぜ！

またビアンカ  
の中にツ...  
やめろーッ！

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ヒッ!?

だっ...駄目ーッ  
出さないでエ！

おーらっ 愛の  
ザーメン 浣腸ツ  
受け取れエ!

きゃわあアーツ!

ああっ...この一瞬で  
お腹の中が熱い体液  
で満たされる感触!  
これ凄くゾクゾク  
してクセになるツ!

おっ: お腹つ  
なりゆうにうう!  
うう!



うわあああーっ  
ビアンカーツ!



ほれどうだ  
流石に今のは  
イツたる?

ああ: 私また  
イツちやった:  
悔しいけど  
コイツ:  
巧すぎる!

イツ: イツで  
なひっ:  
わ: 私: 全然  
イツでなヒイ:

ひひひっ  
相変わらず  
強情だな!

それじゃ明日からは  
もつと本腰を入れて  
お前を愛してやるぜ  
ふひひひーっ!



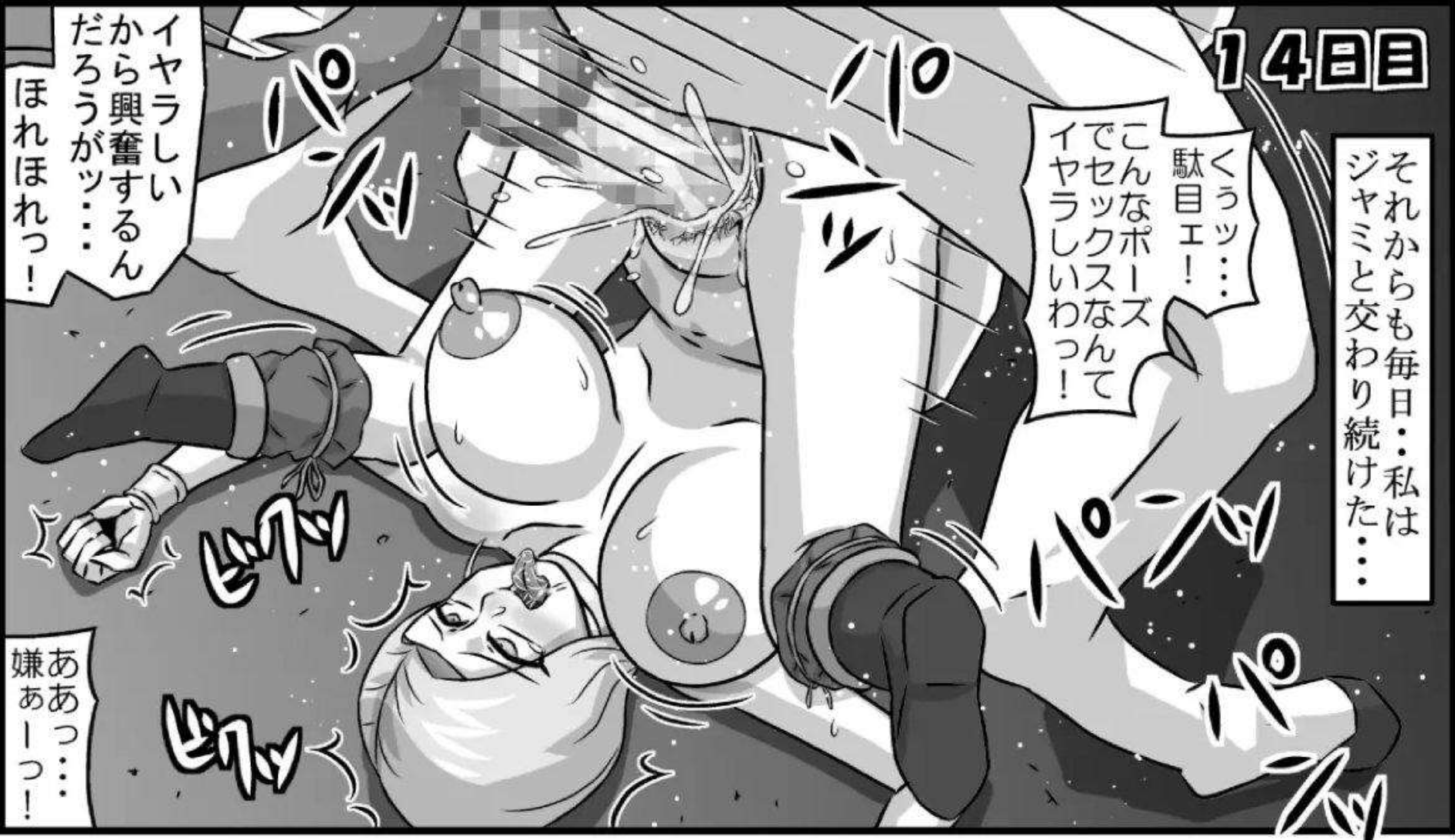
うう...もう...  
やめてくれえ

それから毎日：私は  
ジャミと交わり続けた...

くうツ...  
駄目エ!  
こんなポーズ  
でセックスなんて  
イヤらしいわっ!

イヤらしい  
から興奮するん  
だろぅがッ...  
ほれほれっ!

ああ...  
嫌あ...  
っ!



そりゃあ...  
種汁発射だア!

きひいいい!

人妻マ○コに  
生でぶち撒けて  
やるぜーっ!

わっ...私またっ...あの  
の前でっ...馬ザーメン  
注がれちゃってーっ!

夫の目の前で  
何度も...  
何日も...



ジャミの底無し  
の欲望を受け  
止め続けた...

ふわっ...

あはあ...

ぶひひっ  
たんまり  
出たぜエ  
次はチンポ  
を掃除して  
貰おうか!





うほほっ  
イイねエ!

むふっ...

それは...そう...  
夫を...大切なあの人を助ける為...

ハッハッ



私：なんでこんな事を...?

うっ...

さあ：コイツを啜えてくれよ

ヌッ

キッ



今日だつてあんなに...

いつも粗末なアレを勃たせている...

ん



でも石にされたあの人は...

こんな姿の私を見て...

チッ

ちゅぷ

ちゅぽ



自分の妻がこんな目に合っているというのに...それを悲しみどころか興奮しているなんて...

ぬふっ  
その調子だ

んぷっ...

うまいぞっ  
ピアンカ!

むふふっ...

あの人は...本当に私の事を愛しているの...?

ぽほおっ!

最高だぜッ!

ちゅぷ

ちゅぷ

ちゅぷ



ほれっ…  
そのまま  
口を開けて  
いろよ!

あっ…

スプオツ

あんっ!



おうしっ…  
みなぎって  
きたぜっ!

んぷっ…

グ  
グ  
グ

ポポッ

んんっ!?



オリヤアアッ  
ぶっかけるぜっ!

あひゃっ…!?

ド  
ド  
ド

ド  
ド  
ド

す：凄い量の  
精液だわ!  
それにこの臭気ッ  
ひと嗅ぎただけで  
頭がのぼせちゃう!

一滴残らず  
口と体で受け  
止めるっ!

ア  
ア  
ア

んはっ…はあっ  
あああ…っ!



どうだ  
ビアンカ?  
そろそろ  
あのヘナチン  
から俺に乗り  
換える気にな  
ったか?

なあっ…!?

だ：誰がアンタ  
なんかっ…

もうひと押し  
って所か…

私には：あの人しか  
考えられないわ!



ゴンっ…  
グ  
グ  
グ

精液つてこんな味  
がするんだ…  
生臭くて不味い  
けど…不思議と  
嫌じゃないわ…

グへへッ…  
すっかりメスの  
ツラになった  
じゃねえか!

ア  
ア  
ア



ばっ：馬鹿な事  
言わないでっ！

きつとお前の事を  
性処理用のオカズ  
くらいにしるか思っ  
ていないんだらうなア



ぐふふふつ  
本当にそれで  
いいのか？

アイツは俺に  
抱かれるお前の  
姿に興奮して  
勃起するような  
薄情な男だぞ

うっ…

ドキッ



ハッ…!?

まっ…まさか  
彼女の事…!?

ドキッ



もしはかすると  
奴にはお前  
以外の…  
本命の女が  
居るのか？  
お前の目の  
届かない所  
でその女と…  
グフフ…

そっ…  
そん…  
なっ！

ニヤァ

あの人に  
限つて…  
絶対…

ゲヘヘツツ  
さあ迷えつ  
奴を疑えつ



さあ今日は  
ここまでだ  
そこの薄情な  
粗チン浮気野郎  
とこの俺と…

どっちを選ぶ  
のか良く考えて  
おくんだな！  
ひっひっひっ！

ドキ

ドキ

ドキ

うっ…  
うっ…



いや…でも…  
そんな事…  
あり得ない…  
確かに彼女とは  
結婚寸前まで  
いつてたけど…

あの方は最後に  
私の方を選んで  
くれたもの…  
だ…だから  
絶対…

ドキ

ドキ

ドキ

そ…んなハズ  
ないわ…

あの人…  
私以外…  
と…女性…

15日目

しかしその日を境にジヤミは姿を見せなくなつた……



アイツ……どうしたのかしら……？

こんな事今まで一度も……

21日目

その後もジヤミの現れない日は続いて……

今日でもう一週間よ！

私の事好きに犯したいのにはどうして……

アイツの身にか何かあったのかしら……？

ゴク……



ハツ……まさかもう私に興味が無くなつて……

他の女性を攫つて……その人と……!?

あんなに私に夢中だつたくせに……

簡単に他の女に乗り換えたつて……!?



ああ……何なのっ！この焦りにも似たイライラする気持ち……!

まさか嫉妬!?



いや……違う！アイツから薬を貰わないと夫を助ける事ができないから……

それで焦っているだけよ！だ……だけど……

このモヤモヤした胸のつかえを取る為には……私……

んっ……？  
ビアンカ……どこに……？



モヤ

うははっ二度と来るなウマめっ！





我慢でき  
ないっ……

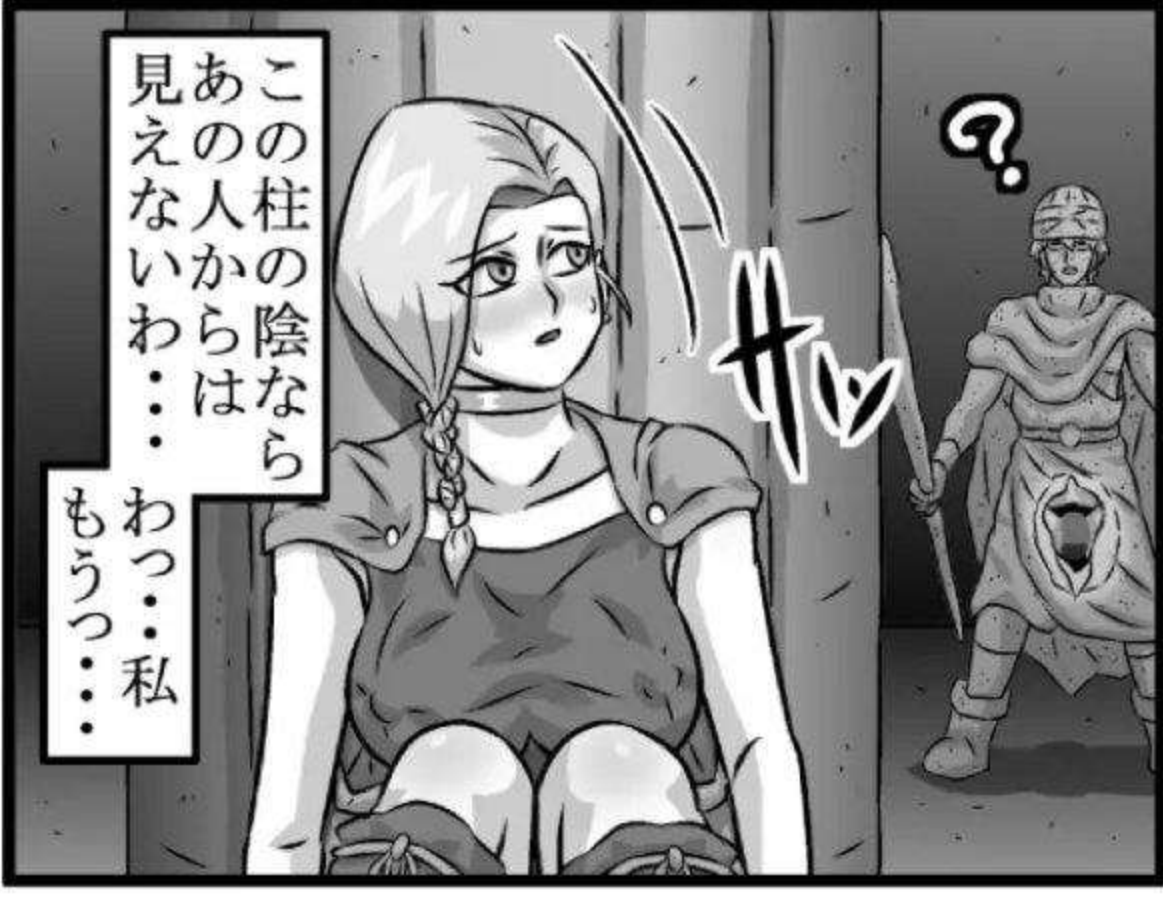
……ッ!

体が火照って……

ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ



この柱の陰なら  
あの人からは  
見えないわ……

わっ……私  
もうっ……

?

ガッ



なっ……何だ?  
かすかに聞こえる  
この喘ぎ声は……

んっ……

くっ……

ビアンカ……  
一体何を……?  
ま……まさか  
自分でっ……



んっ……声ッ……

ふっ……

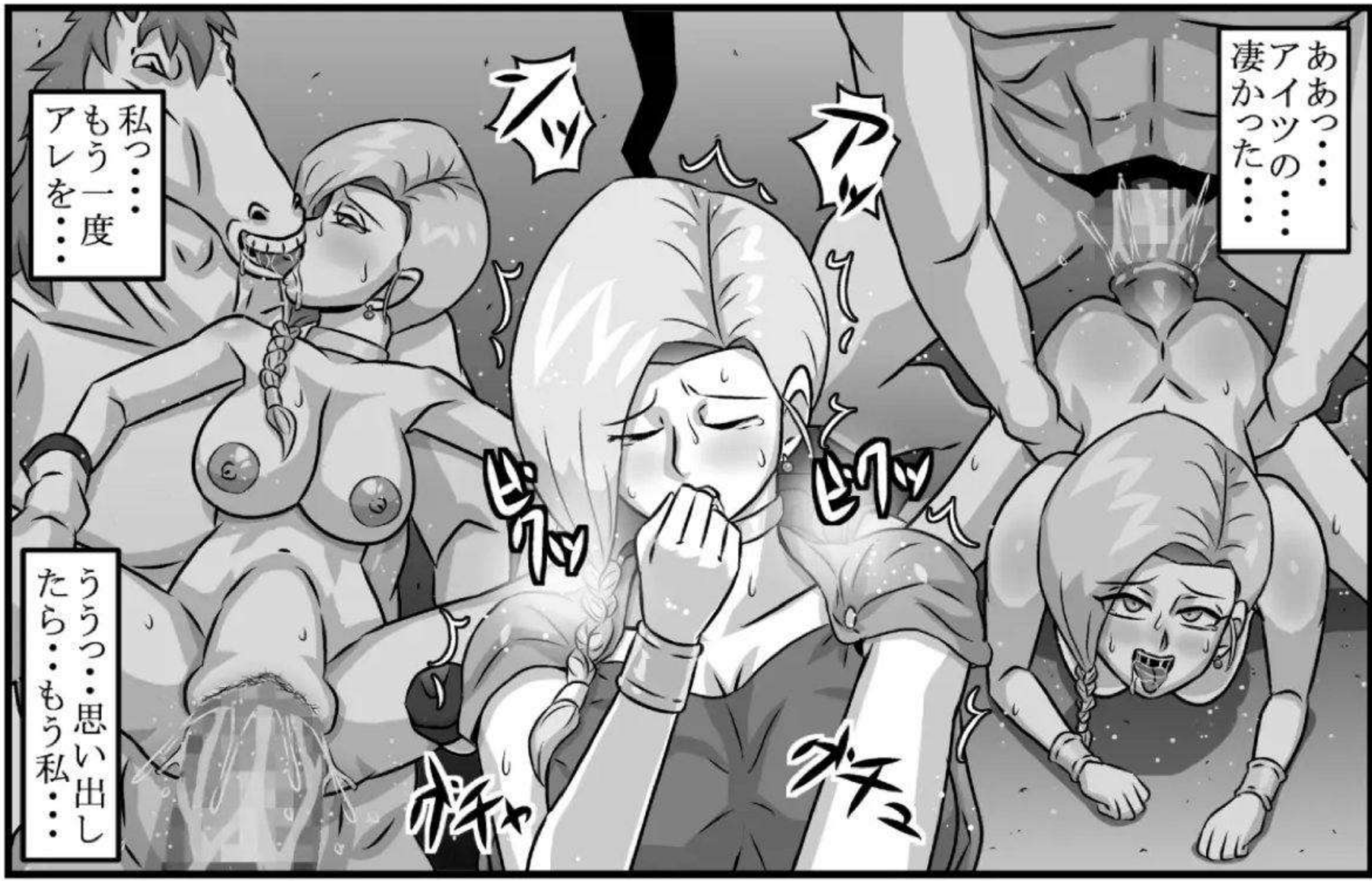
抑えないと……  
あの人に聞こえ  
ちやうっ……!

んっ……

ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ

ビクッ  
ビクッ



ああっ……  
アイツの……  
凄かった……

私っ……  
もう一度  
アレを……

ううっ……思い出し  
たら……もう私……

ガッ

ガッ

ビクッ  
ビクッ

ビクッ  
ビクッ

ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ





はああアツツ  
もう無理ツツ  
わっ：私ツツ  
イツちやうツツ！

お願い：アアツ  
お尻もっ：

んあああーっ！

ああっ：あの人に声  
聞かれちやうっ！

でももうっ：  
そんなのどう  
だっってイイツ！



ああっ：

ガッ

あはあ：

そんなんっ：  
ビアンカ：

アイツとの行為  
を思い出して：  
うわ：ああっ：



あはっ：

アハハ

夫の：こんな近くで  
私：違う男に抱かれる  
のを想像してイツたわ

ああ：凄い  
罪悪感：  
でも余計に興奮  
しちやう：

んはっ：



風邪って：

スッ

ちよつとした  
風邪だぜ：  
た：大した  
事ねえよ：

ね：熱は：無い  
みたいだけど：  
念のため横  
なっついて休んだに  
方がいいわ

あ：ああ：  
そうさせて  
貰うぜ：



その日の午後：

よう：  
よう：  
久しぶり  
だな：

ハッ：  
どうし  
たのよ！？

フラフラ  
じゃない！

ゼエ

フッ

フッ



どうしてもお前の顔が見たくなつてよお...

なつ...!?

何を言つて...!



この所ずっとこの調子でな...起きるのもままならなかつたんだ

それなら余計に安静にしてなきや駄目じゃない! そんな状態で無理してここまで来なくたって...

ゼエ

ゼエ



わ：私：お水：持って：来るわ！

すまねエな かわつて 迷惑かけちまつて...

ビ：ビアンカッ そんな奴の為に どうしてツ...?



ふ：ふふ：最後にこんな良い女に会えたんだ... これでもう 思い残す事は 無いぜ...

はうっ!?

ば：馬鹿な事 言つてないで... 今は：直す事 だけ考えて...

ज्याミめっ 今更何の つもりだっ! 何を企んで いるっ...!?

ゴクッ



あの馬ツ わざと...! ビアンカの気を引くため... 仮病まで使つて...! そうかつ 長い事姿を 見せなかつた のも作戦かつ クソーツ!

騙されるなっ ビアンカッ... ビアンカーツ!

グワッ



なつ...!?

コイツ...!

ギョッ



あんなに強がって  
いたくせに……  
私に居ない  
で居ない  
から……

なんで  
だか  
ら……

「ううして  
一晩中……看病  
は続いて……」

私のかかり  
治して……



お：お前も  
もう疲れた  
だろう？

俺に：構わず  
休んでくれよ

フッフッ平気よ  
これくらい……



ドキッ

きやっ：何で  
そんなについで

おつと……コイツ  
までこんなに元気  
になっちまった！  
ピアンカ……  
こつちの看病  
も頼めるか？

ドキッ



夜が明けた！

うおおお！  
復活したぞ！

ピアンカ  
お前のおかげ  
だぜえーっ！

ドキ



ドキ

こっちが迷惑  
しちゃうから……

で……でも……  
がっかりして  
また病気にでも  
なられたら……

ううっ……  
ピアンカ……  
まさかつ……

またそんな  
奴とっ……！



ドキ

バ……バカ！  
そんな調子の  
良い事言つて……

なあ頼むぜ  
ピアンカ！  
俺にはもう……  
お前以外の女を……  
抱く事なんて考え  
られねえんだ！

ああっ……やつぱり  
凄いやつだわ！

私にはそんな  
気さらさら無い  
んだからっ！



ほ：ほらっ  
おっ：ぱいっ  
おっ：いっ  
挟むの：っ  
で好きなん  
でしょん？

先っちよも：  
舌でち口ち口：  
舐めてあげるわ

ウオオオーッ  
この乳圧ッ！

もう完全に  
乳マ○コ  
だぜーっ！



うふふっ：  
オチンチン：  
のククキテ

もうすぐ  
なんでしょ？  
なんだから！

だ：駄目だっ  
出ちまうっ！



あっ：勘違い  
こないでよっ  
の：っ

頑張って  
病気を治した  
から今日だけ  
特別なねん！

ぬおおっ  
至福ウ！



おおおーっ  
ビアンカア！

ああんっ：  
ほら出たっ！  
私の言っ  
通りでしょ！

やだもうっ：  
凄いやっ！  
んふふっ！

あんっ：ドロドロ  
で熱くて：まる  
火山の噴火だわ！

見てるこっち  
まで体が熱く  
なっちやうっ！



ああんっ  
やだっ!

誰もそんな  
事：頼んで  
ないでしょ!

こっちも  
お返しに  
気持ち良く  
してやるぜ!



ぬ：ふうう  
最高の乳ズリ  
だったぜ!

にししっ：：  
やはり仮病の  
効果は抜群の  
だったぜえ!

フフツそれは  
良かったわね!

よし：うう  
なったら：



こんなのっ  
完全にレイプ  
じゃない!  
すっごく悪い事  
なんだからあ!

ぬひひっ：こんな  
魅力的な女を見たら  
ヤリたくなるのが  
男の性って奴だっ!

もっ：もう  
馬鹿ッ!  
すぐそうやって  
無理矢理っ：

ほれほれっ  
どうだッ!  
お前はもう  
このサイズじゃ  
なきやあ満足  
できねえだろ?

ああっ：やっぱり  
このチンポいいわ!  
これだけが私に  
本当の女の欲びを  
教えてくれるっ!



ああんっ  
奥にっ：  
駄目エ!

何故なんだ  
ピアンカ：

うーああ

そうれっ  
んっ  
んっ  
んっ

最初に会った  
頃の君は僕より  
二つ年上で……

さっ……  
起きて！

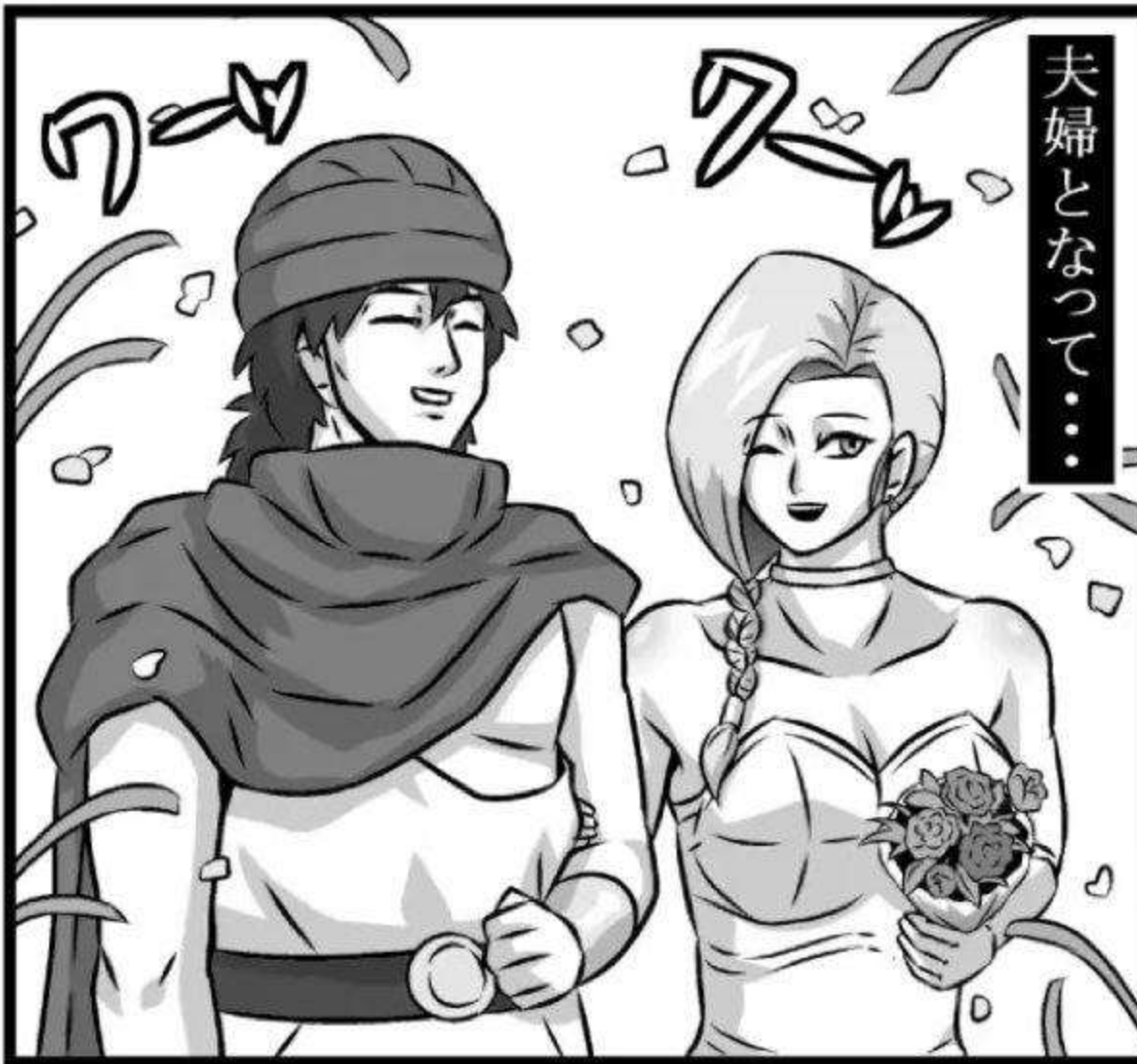
お転婆だけど  
面倒見の良い  
お姉さんだった

お化け退治に  
行くわよ！

次に再会した時  
には驚くほど綺麗  
になっていて……

僕はすぐに心  
を奪われた……

あ……あ……  
いや……あ……  
信じてたわ！



夫婦となって……

僕達は運命に  
導かれる様に……  
惹かれる合……



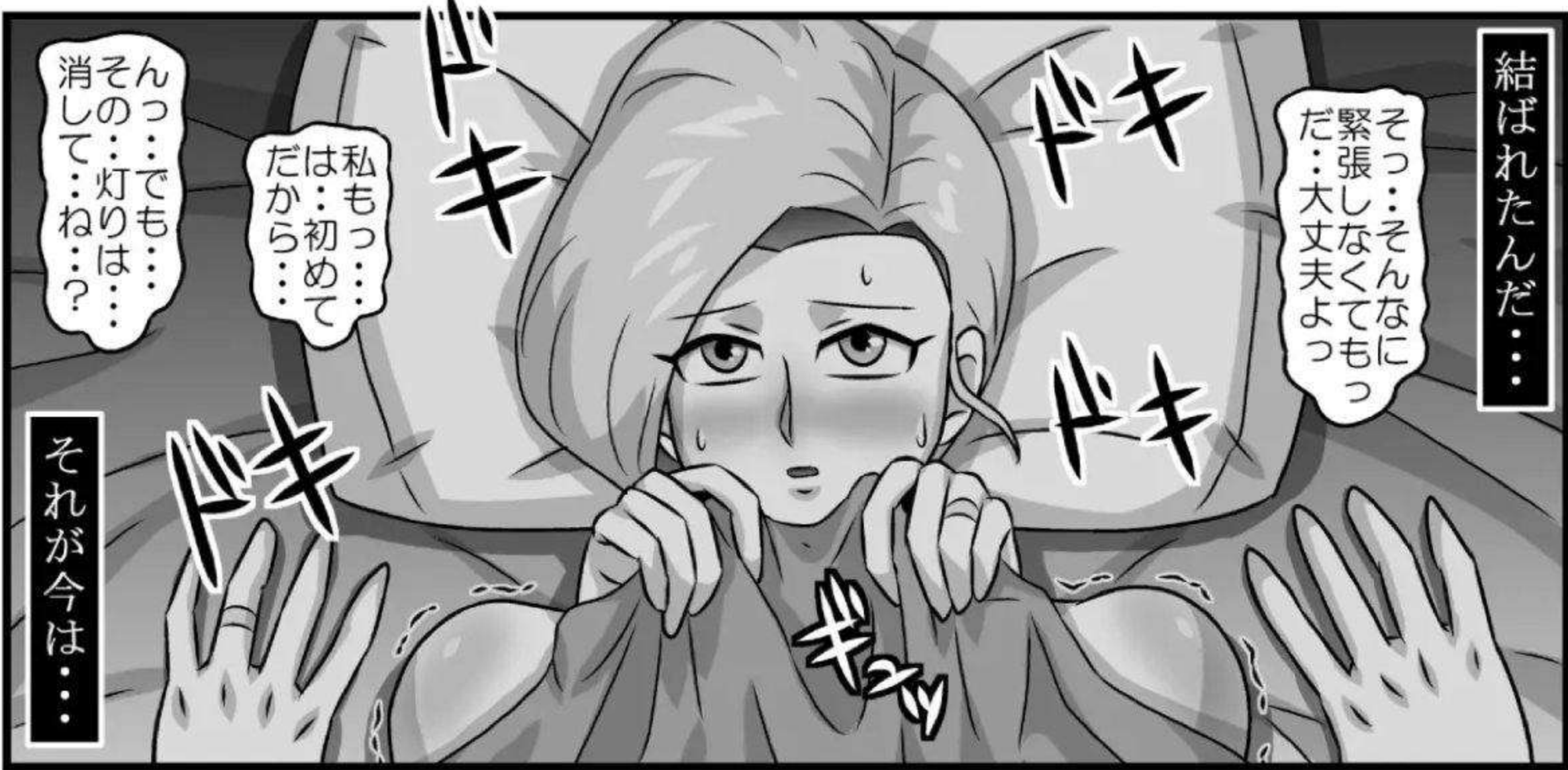
結ばれたんだ……

そっ……そんな  
緊張しなくても  
大丈夫よっ

私も……  
は……初……  
だから……

そん……でも……  
消……灯……  
して……ね……？

それが今は……



僕の目の前に  
変わり果てた  
妻が……

ナハハハハハッ  
俺様の極太で  
メツタ突きだ！  
こいつは  
効くぜッ！

ポッ  
ポッ  
ポッ

あはああ  
凄いい腰使いッ！

魔物と交じり  
乱れるビアンカ  
の姿が……！

こっ……こんな  
の卑怯よッ  
女なら……誰だつて  
イツちやうわッ！

又ホーッ  
この勢いで  
ちやっかり  
中出しだッ！

アッ  
アッ  
アッ

ヒイ  
いいんッ！

私の中に  
熱いのッ……  
ドパドピュ  
出しているウー！

ふひひひ  
俺様の精子  
受け入れろッ  
ビアンカア！

ドッ  
ドッ  
ドッ

ああ……やつぱり  
気持ちは良い……  
これは愛……？

あはあ……

それともただの  
快樂なの……？

もしかすると  
私にも……

あの人よりも  
ジャミの事を……

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

異種同士のオスとメスの交わりは

ふっ…ふっ!  
幾ら抱いても飽きねえ最高の体だぜっ!

ケケケッ  
すっかり俺のチンポの虜になつてるぜ!

28日目

んっ…  
馬鹿あ!

おい…  
私…  
くろうんっ!



連日連夜…  
淫らに続いた…

グヘヘッ  
物欲しそう  
にチンポに  
吸いついて  
くるっ…  
ケツマ○コ  
可愛いなア

マケツ…  
ケツ…  
!?ツ

そんないや  
言方ないで  
んもうっ…  
意地悪ッ!

へへっ…  
まあ  
そう怒るな  
よ  
すぐ気持  
ち  
良くして  
やる  
からよお!

31日目



そうれっ  
ケツマ○コ  
イキなっ!

あっ…  
あーっ!

あ…  
う…

もう…  
やめ…  
くれ…

イクイク  
マ○コ  
ううッ!

そして…





ね：ねえ…  
ちよつと…

こ：このお腹…  
もしかして…

へっへっへっ  
俺とお前の仔に  
決まってるだろ

まさか…  
人と魔物で…？  
しかも…こんな  
に早く…大きく  
なるなんて…

これも愛の  
力つてやった  
お前ももう  
俺を愛してる  
んだらう？

ば：馬鹿…

私：ちつとも…

アンタの事なんて  
私：ちつとも…

まだ素直には  
なれねえか！

くくくくつ  
まだ素直には  
なれねえか！

まあいい  
早く抱かせ  
てくれよ！

ええっ…  
この体で！

そんな…  
ビアンカが  
奴の子を…  
な…何かの  
間違いだ！

でも…こんな  
大きなお腹…

可愛いな  
抱くのだ  
嫌いでし  
よう？

もじ

もじ

どんな姿  
でもお前は  
魅力的だぜ  
ビアンカ！

やっ…やだっ  
心にも無い事  
言つて…！

うへへっ  
本当だとも！

さあチンポ  
挿れるぜ！

あっ…  
あんツ！

まさか…私が妊娠  
するなんて…





むひひっ  
いっもより  
感じているん  
じゃねーか？  
妊娠した事で  
体がより敏感  
になったの  
かもなア！

やだっ…  
そんな事  
無いッ…

私の体っ…そんな  
イヤらしくな…  
あひひひッ！



ケツマ〇コ  
にもコイツを  
やるぜッ！

んほおおッ  
おじりひひッ！

そして  
トドメッ



ひひひっ  
そんな事  
言つてもう  
イク寸前  
だろうがッ

この女完全に  
落ちた…な！

そうと  
来たら…

んひっ…  
何をッ！？



そうらっ  
たんまり  
注ぎ込む  
ぜエーッ！

ググッ…  
グフウッ…

こっ…これ  
イクッ…

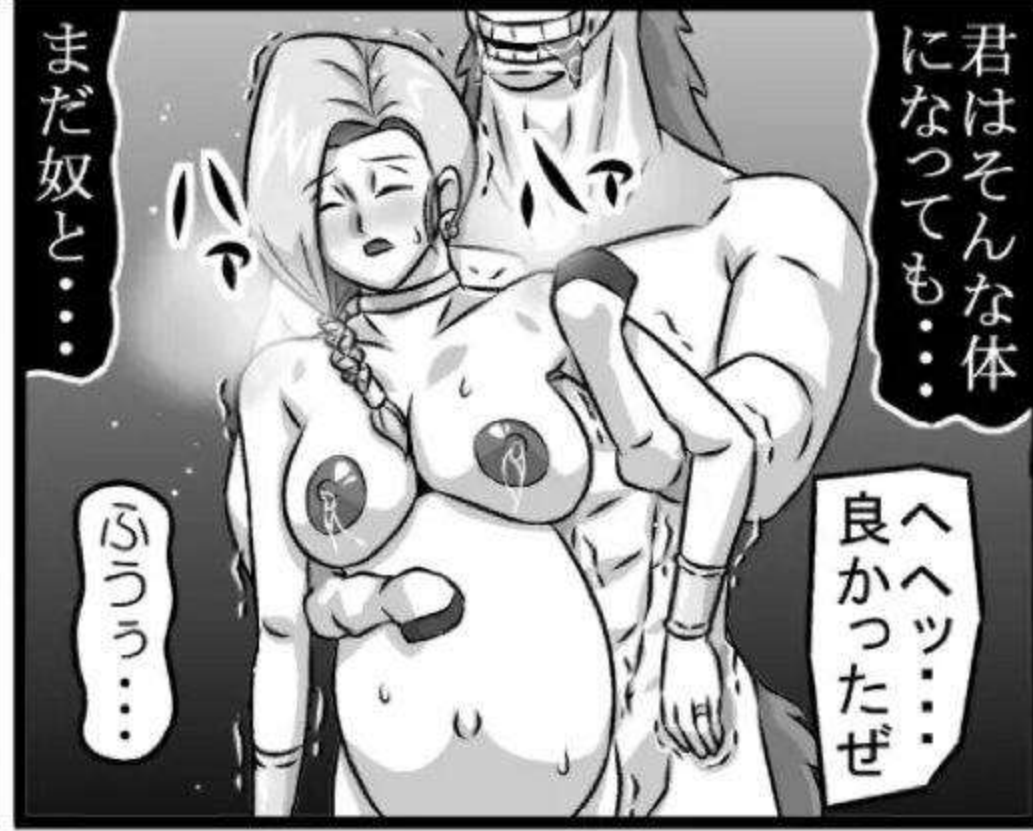
ケツもマ〇コ  
もっ…両方で  
イクう…ッ！



うあっ!?

カッ

ドキッ



まだ奴と...

はじ...

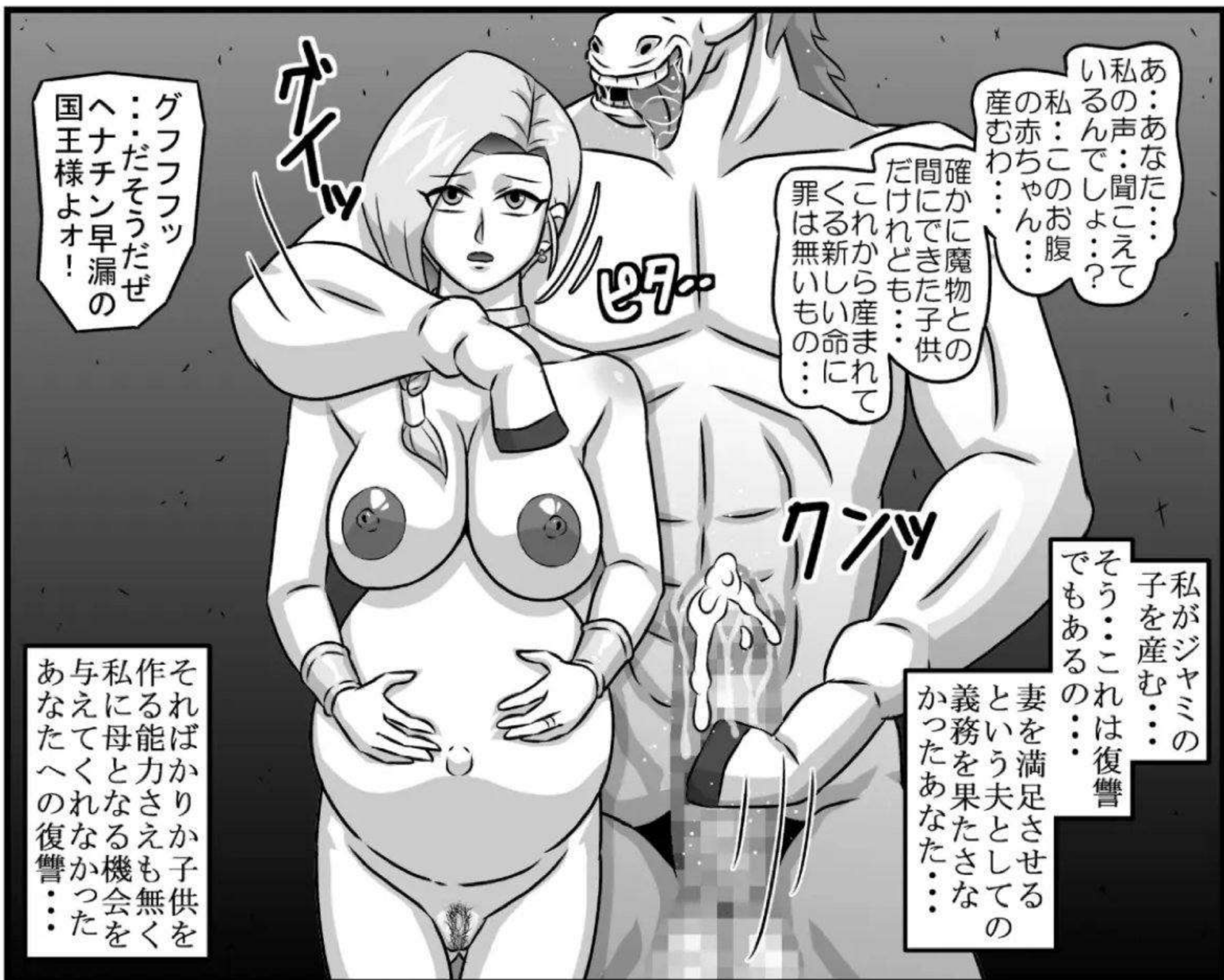
君はそんな体になつても...

へへッ... 良かったぜ



う... ああ... ビアンカ...

ハッ



グイッ

ヒッ

クッ

グフフフツ : : : だそうだけ へナチン早漏の 国王様よオ!

あ：あなた... 私：あなた... いるんでしょ... 産むわ... ちゃん...

確かに魔物との間にできた子供だけども... これから産まれてくる新しい命に罪は無いもの...

私がジャミの子を産む... そう... これは復讐でもあるの...

妻を満足させるの 義務を果たさな かったあなた...

そればかりか子供を 作る能力さえも無く 私に母となる機会を 与えてくれなかった あなたへの復讐...



ごめんなさい

そっ... そんな... ビアンカッ

ワナ

君が... 奴の子を... ぐううう...

ワナ

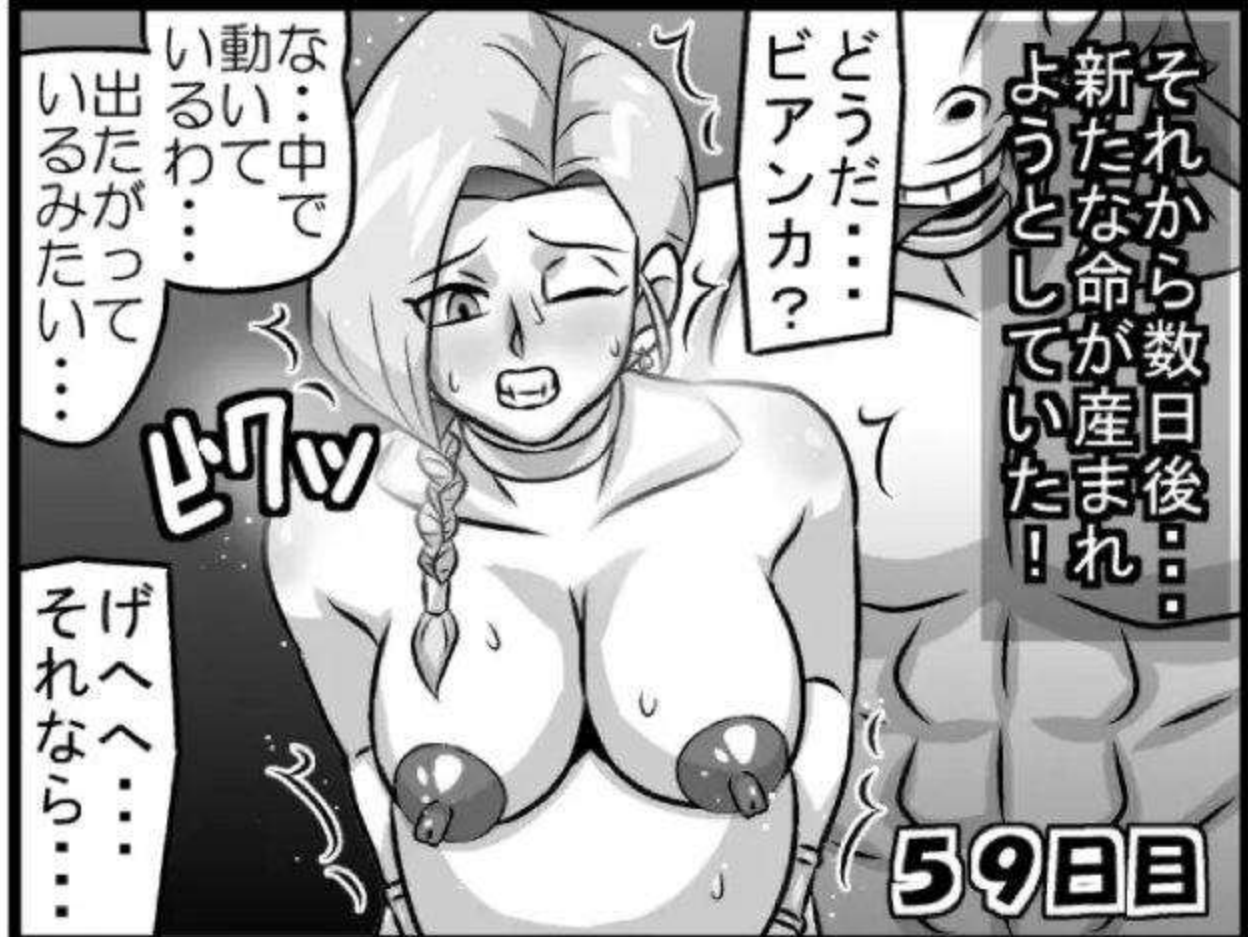
私がジャミと 愛し合い... 彼の子を産む姿... あなたに見せてあげるわ...!





ほうれっ  
コイツだ!

あひっ  
何をッ!?



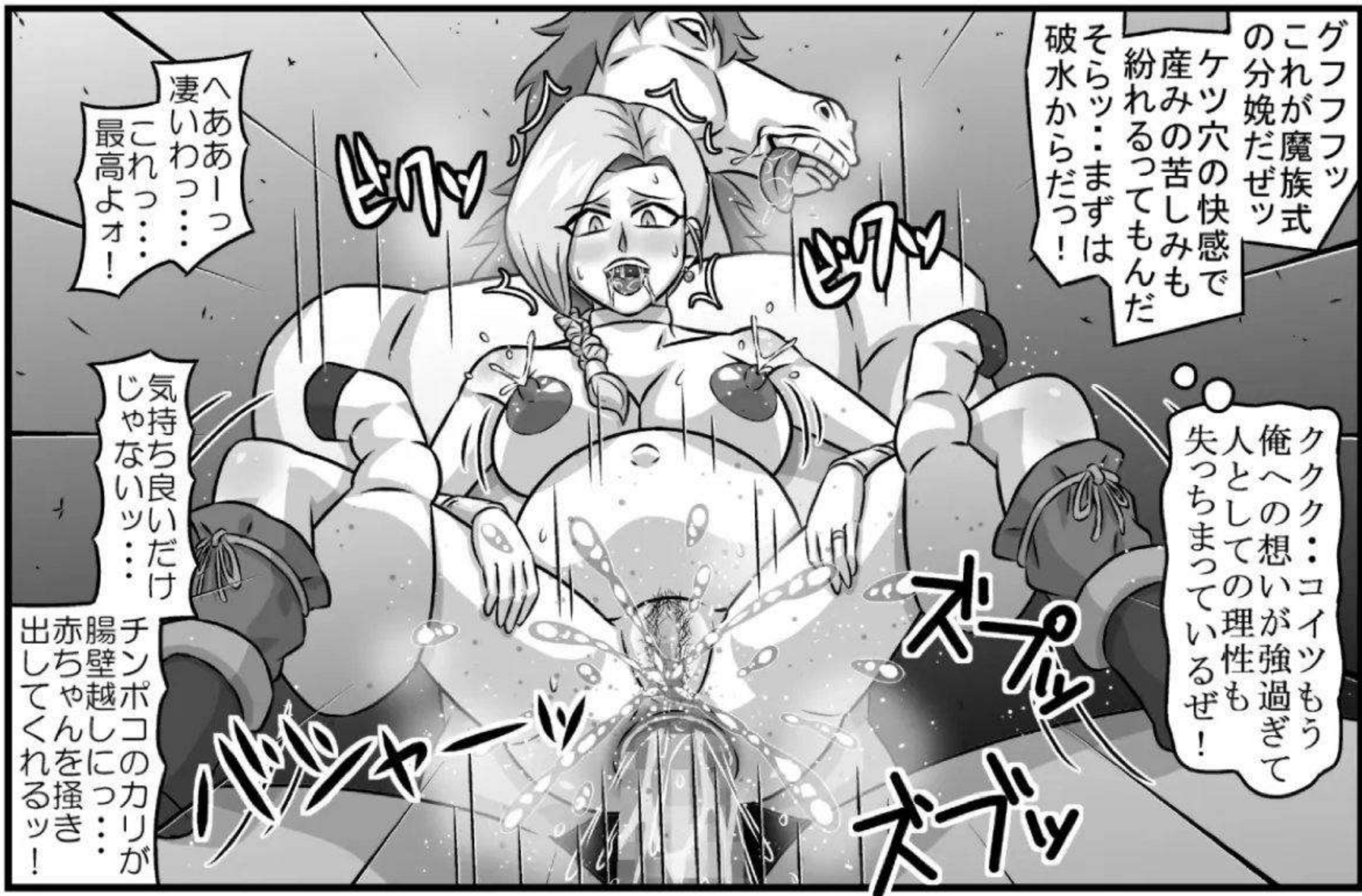
どうだ...  
ビアンカ?

それから数日後...  
新たな命が生まれ  
ようとしていた!

な：中で  
動いて  
いるわ...  
出たがって  
いるみたい...  
...

げへへ...  
それなら...

59日目



グフフフツツ  
これが魔族式  
の分娩だぜツ  
ケツ穴の快感で  
産みの苦しみも  
紛れるってもんだ  
そらツ：まずは  
破水からだっ!

ククク：コイツもう  
俺への想いが強過ぎて  
人としての理性も  
失っちまってるぜ!

へああーっ  
凄いわっ...  
これっ...  
最高よオ!

気持ち良いだけ  
じゃないッ...

チンポコのカリが  
腸壁越しにっ...  
赤ちゃんを掻き  
出してくれるッ!



私を：あの人の  
目の前にッ!

クへへッ  
了解だぜ!

うわああっ  
来ないで  
くれえっ!



ぎひひひっ  
奴にも見せ  
付けてやら  
ないとなア

そうふッ...  
そうねっ!

ジャミッ  
お願い!





愛のツ：結晶  
オオオーッ！

うっ：産ま  
れるッ：  
ふおおオオーッ！

テメエの浮気嫁の  
醜態を見さらせつ  
ブヒヒヒイーッ！



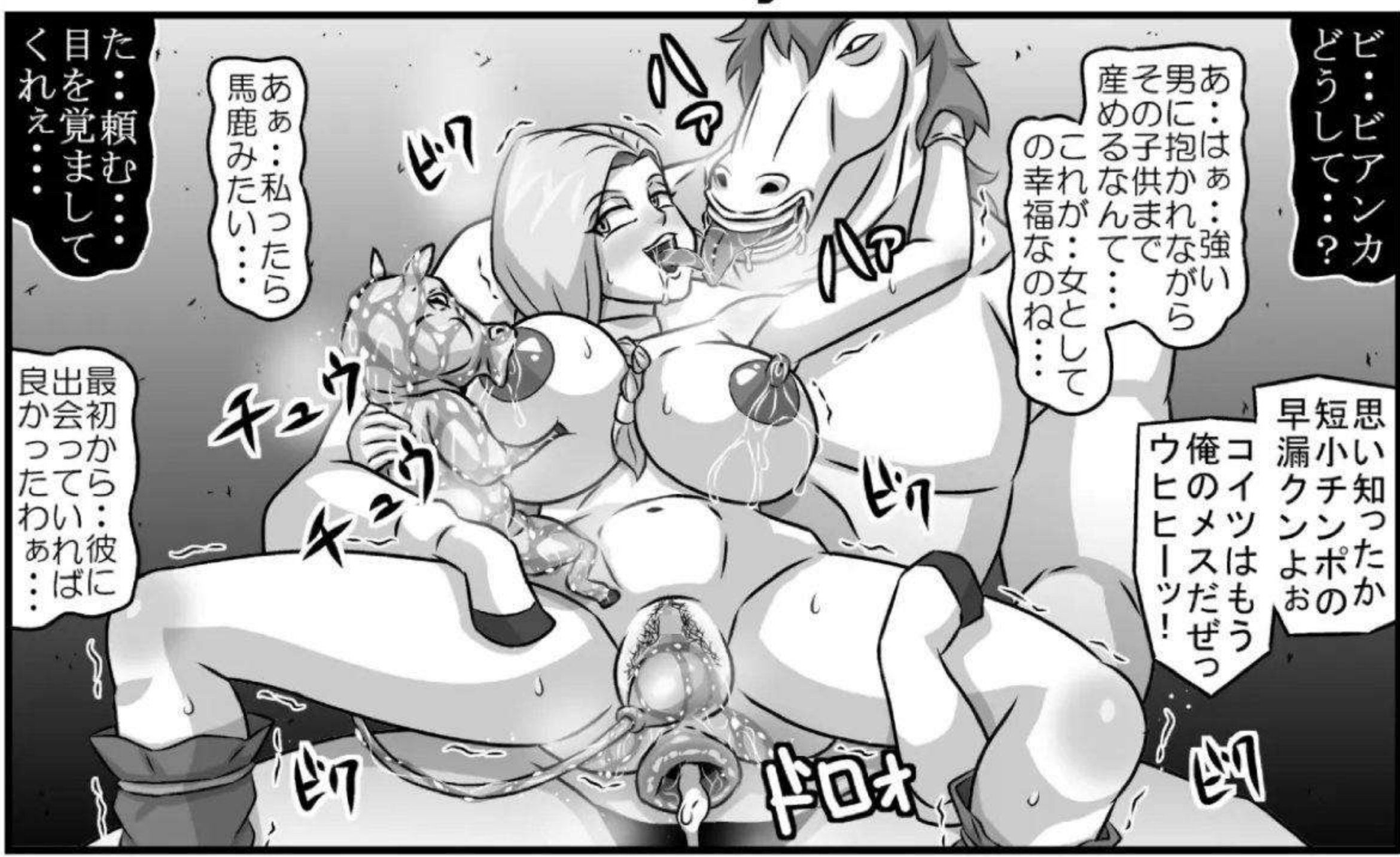
あ：あなた…  
私と：ジャミ  
の子よ…  
ほら：ちやんと  
見なさいよ…

ううっ：  
そんな…



へっ：あア…

産ま…  
れたあ…



ビ：ビアンカ  
どうして…？

あ：はあ：強  
男に抱かれな  
その子供まで  
産めるなんて…  
これが：女として  
の幸福なのね…

思小知ったか  
短チンポの  
早漏クンよお

コイツはもう  
俺のメスだぜ  
ウヒヒヒッ！

ああ：私したら  
馬鹿みたい…

た：頼む…  
目を覚まして  
くれえ…

最初から：彼に  
出会ったわい：  
良かったわい：  
あ：ば



そしてついには……  
運命の日が訪れた！

ドキ

ドキ

まあ：約束  
だからな……

きよ……今日が  
最後の……！

ほらよ  
受け取れ  
コイツを  
どうする  
かは自分  
で決めろ

スッ

……

……  
あの子は……？

ビ：ビアンカツ  
僕はまだ君を  
信じているぞ！

奥の部屋で  
まだ寝てるぜ

君はきつと僕  
の所に帰って  
きてくれる！

そう……

チラッ

たとえアイツに  
抱かれて……  
子供まで産んだ  
としても……

……

この：ほんの二カ月  
で急造された奴との  
偽りの関係より……

僕ら二人がずっと  
育んできた夫婦の  
愛と絆の方が……

何倍も尊くて  
美しいはず  
だからっ……！

ああっ……  
ビアンカ！

カッ

やっぱり君  
も僕と同じ  
想いを……！

カッ

そうだよ！  
僕らはまだ  
やり直せる  
はず……





せいせい  
するわい

ピアンカーツ!



アンタは私  
の汚点  
の人生  
の最大

だから  
もう  
これで  
おしまい

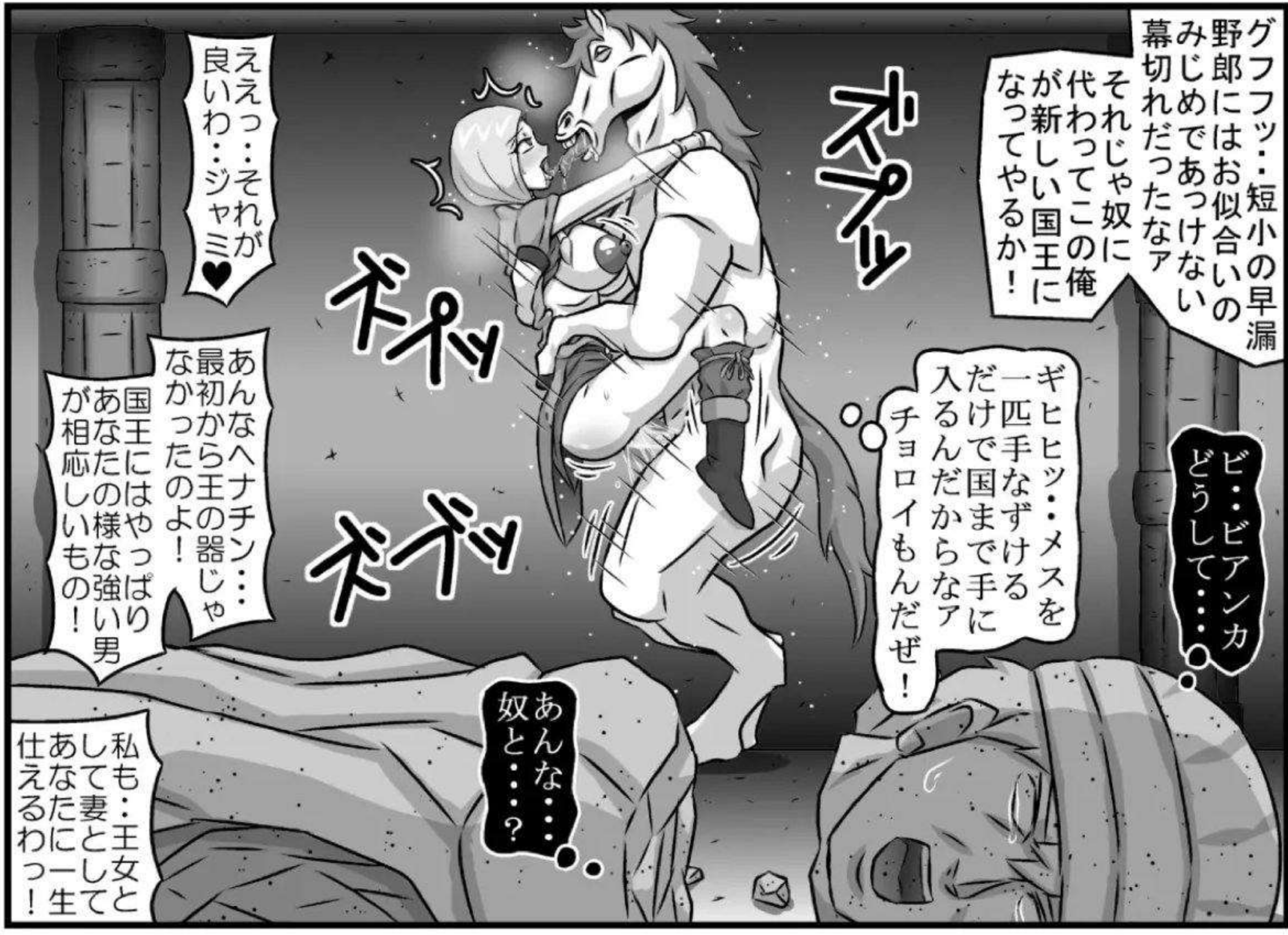
僕は君を  
愛してつ



アンタを選んだのは  
間違いだったわ

こんなの  
役立たず  
の男

そんなっ  
ピアンカ!



グフツツ：短小の早漏  
野郎にはお似合いの  
みじめであっけない  
幕切れだったなア

それじゃ奴に  
代わってこの俺  
が新しい国王に  
なつてやるか!

ズン

ギヒヒツツ：メスを  
一匹手なずける  
だけで国まで手に  
入るんだからなア  
チョロイもんだぜ!

ビアンカ  
どうして

ズン

ズン

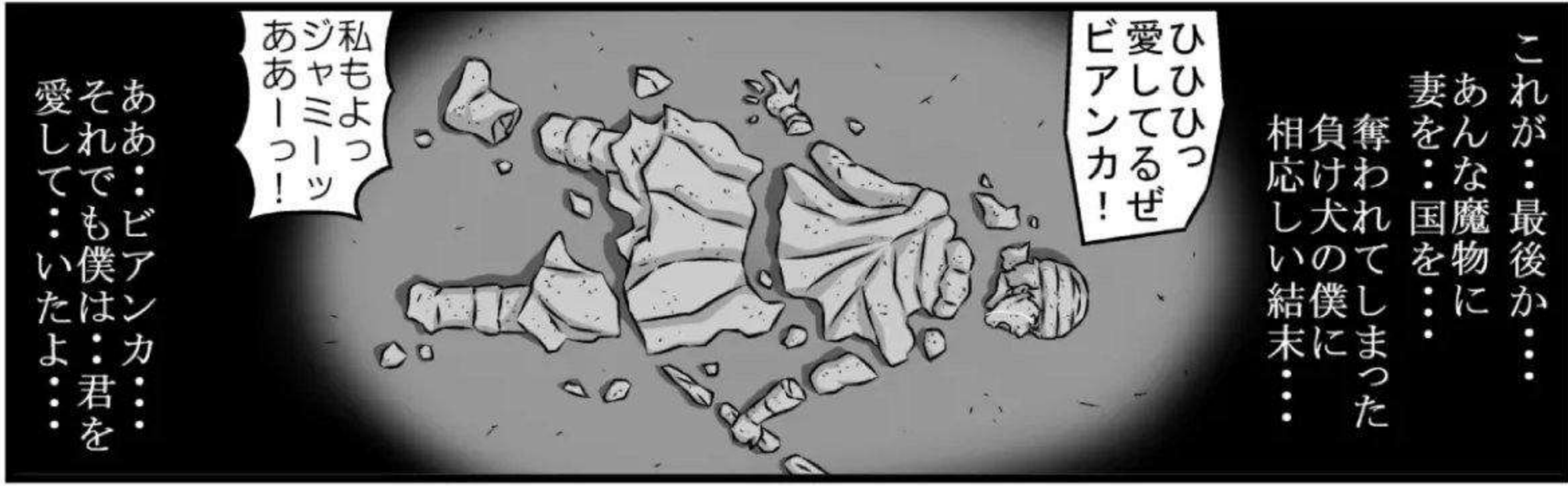
あんな  
奴と

ええっ：それが  
いいわ：ジヤミ

あんなヘナチン：  
最初から王の器じゃ  
なかつたのよ!

国王にはやっぱり  
あなた様の強い男  
が相應しいもの!

私も：王女と  
して妻として  
あなたにっ！  
仕えるわ!



これが：最後か  
あんな魔物に  
妻を：国を  
奪われてしまった  
負け犬の僕に  
相應しい結末

ひひひっ  
愛してるぜ  
ピアンカ!

私もよっ  
ジヤミっ!

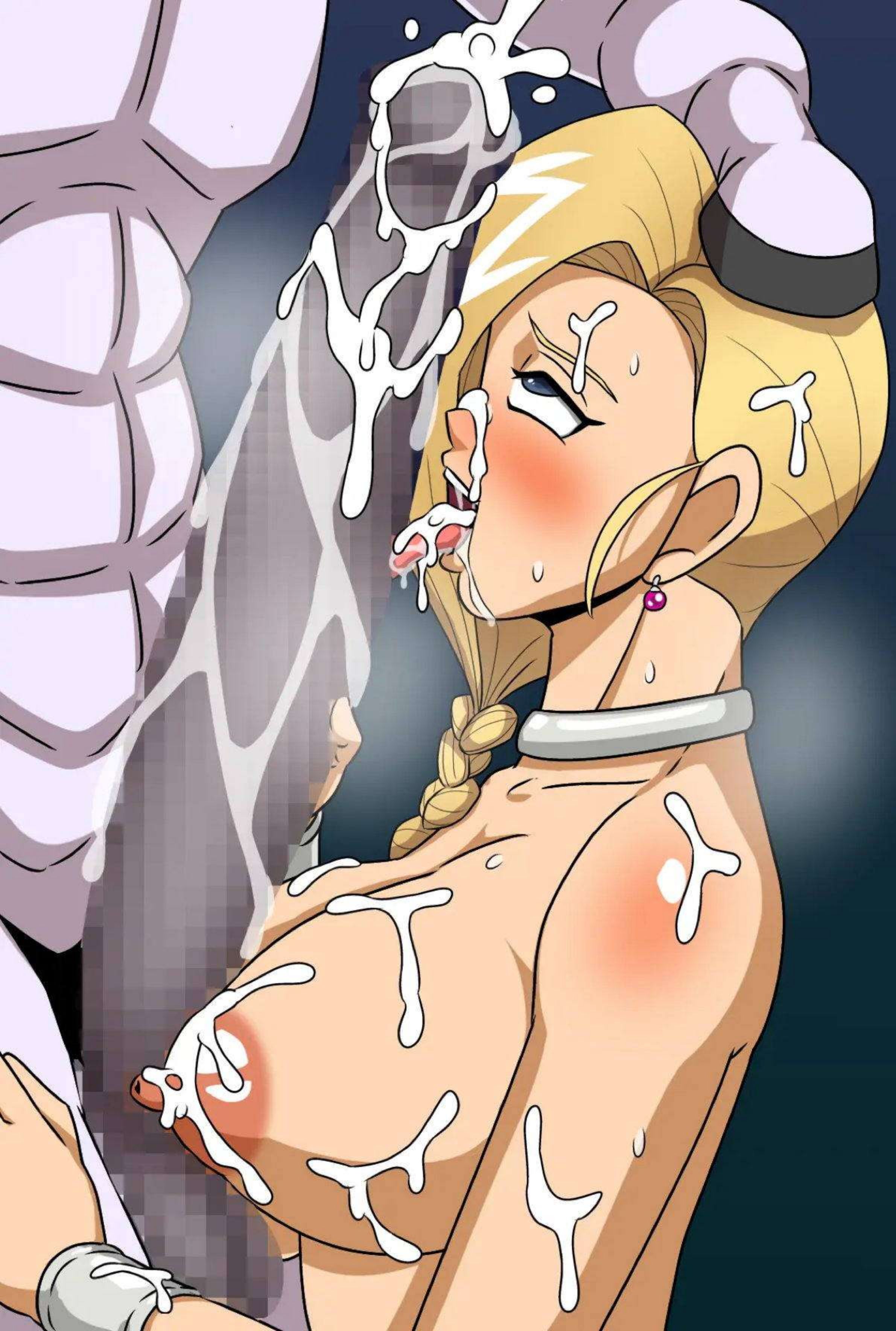
ああ：ピアンカ  
それでも僕は君を  
愛して：いたよ

END











邪馬陸ち嫁





うははははっ  
俺は不死身と  
言つたらろう!

まあ少しは  
ヒヤツとさせ  
られたがなア



ぐっ...うう...  
ジャミ...!!

まさかっ  
生きて...



デモンズタワー

ぬわーっ!

あなたっ...  
そんなっ...



グフフフ...  
我が身を挺して  
互いにかばい  
合うか...

成程...麗しい  
夫婦愛だなア

フム...その健気な愛に  
免じて...その男の体  
を元に戻すチャンスと  
与えてやつても良いぞ

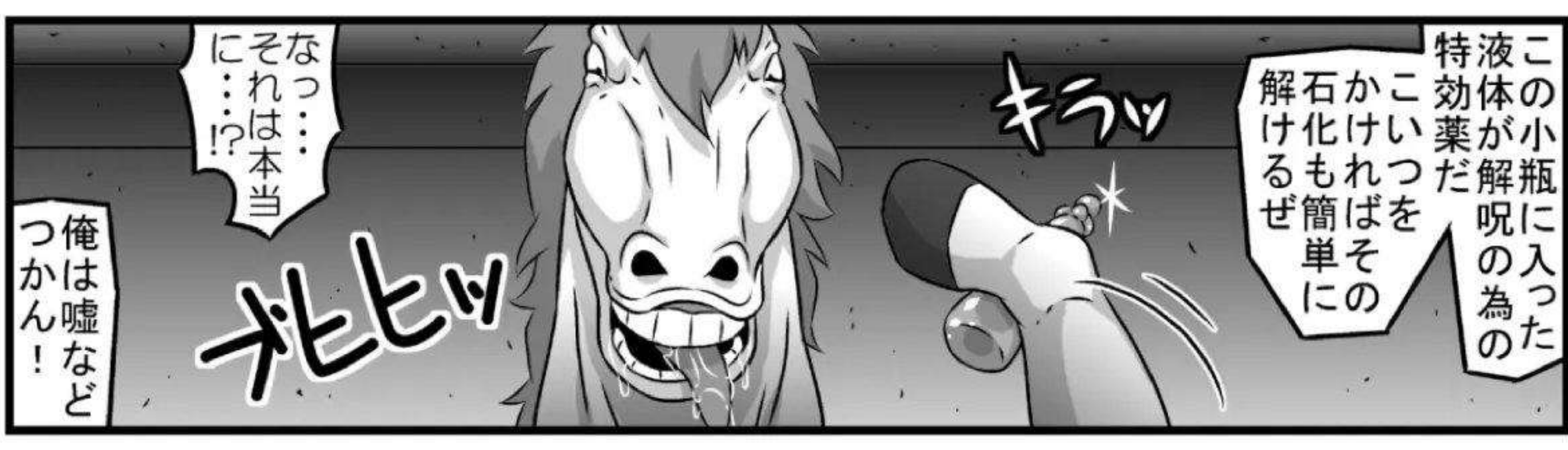
えっ...!?



さあっ  
そこをどけっ  
フローラ!  
俺様の呪いの  
浴びて石になつた  
そのの間抜けを粉々  
に砕いてやる!

誰がどく  
ものですか!  
この人は...私を  
かばつて石に...

だから今度は  
私がこの人を  
守る番です!



この小瓶に入つた  
液体が解呪の為の  
特效薬だ  
こいつを  
かければその  
石化も簡単に  
解けるぜ

なっ...  
それは本  
...に...!  
!?

俺は嘘など  
つかん!

ギヒヒッ

ホレ：この薬：：  
喉から手が出る位  
欲しいだろう？

愛する夫を  
救う為になア

そつ：：  
それは：：

そこで取引だ  
そうだな：：  
六十日だ！

ドキッ

六十日の間  
お前に俺の妻  
として仕えて  
貰おう！

なつ：なん  
ですって!?

それが嫌なら  
この俺を殺して  
薬を奪うしか  
ないぞ！

お前等二人がかり  
でも倒せなかつた  
この俺に勝つ自信  
が有るのならなア！

トハッ

フヒヒヒッ  
良い眺めだぞ  
フローラ！

カアア

やあつ：：

だが夫である  
この俺に隠し事  
はいかなア

その邪魔な手を  
どけてもらうか！

ウハッ

ウハッ

そつ：：  
そつ：：  
ああつ：：

さあどうする  
フローラ！

うう：：

くっ：：

返事を  
聞かせろ！

魔物の妻に  
なるなんて  
無理ですわ

でも私：あの  
人を助けたい：！

そして

ロキ

たった六十日の間  
従順な妻の振りを  
してジャミの機嫌  
を取ればいい！

あの人の為と思えば  
私：頑張れますわ！



私が契りを交わしたのはいの人のだけですよ!!

ほほうう そうかい!

だがこんなスケベボデイを見せられたら男の方は皆っ発情しちまうぜっ



ヒツヒツヒツ こりやたまんねえ体だな!

ああ：夫以外の男性の前でこんな姿：はしたないですわ!

今までその体で何人の男を悦ばせてきたんだ?

へっ：変な事を言わないで下さいッ!!



グヘヘヘッ 早速たぎってきやがったぜ!

イツ!?

なっ...これってまさかっ...



わ：私の裸を見てアレが：そんな風に：

ああ：あなた：私：恥ずかしい!

うっっ...



今こうしてお前の体を舐めまわす様に視姦しているこの俺の様なア!

そんなの嘘っ：ジヤミはただ私を辱めようとしてるだけですわ!

魔物が人間の女性体に対して興味なんてある訳...

んっ...



お前のその豊満な乳房でチンポを挟み込んで揉みしだくんだよ!

えっ...!?

む...胸を使...って...!?

ムギョ

ムギョ



ようしフローラ早速妻としての務めを果たして貰うぞ勃起した俺のペニスをパイズリしろッ!

は...は...

ビキイ

ドキッ

それは一体...?



ブヒヒヒヒッ初めてにしちやあ上手いもんだぜ!

本当は既に...あの男に散々仕込まれてるんじゃないのか?

な...何を馬鹿なっあの人がこんな下品な行為を望む訳ありませんっ!

ムキ

ギョ

ギョ



うっ...こっ...こんな感じですか?

ムキ

ギョ



さらに...亀頭を舌で舐め回してくれや!

ええっ...!?

どうした? 愛する旦那を助けたくはないのか?

ムキ

ムキ

そっ...それは...



よしっこのまま乳房の谷間で竿を上下にこすりあげろ!

こ...こうですか?

ギョ

クフーツたまらん!



おほおーっ  
こりや至福  
だぜエーッ!  
だがこれ以上  
続けると発射  
しちまうな

んむむっ  
ぺろぺろっ

よしフローラ  
パイズリはもう  
その辺でいいぞ



グフフツツ...  
その調子だ!

んんっ  
んんっ

す：凄い  
二オイ：

ああ：私なんて事を...  
あの人のモノだつて一度  
も舐めた事無いのに...

ほれほれっ  
乳ズリも  
忘れんなよ



でなけいば私...  
には従いません!

そうじゃありません  
でも：その前に...  
その薬の効果  
が本当なのか  
証拠を見せて  
下さい!

あなた：私決して怖く  
なつた訳じゃ無いんです!

ただ：ジャミが嘘を  
付いている可能性も  
あると思つて...



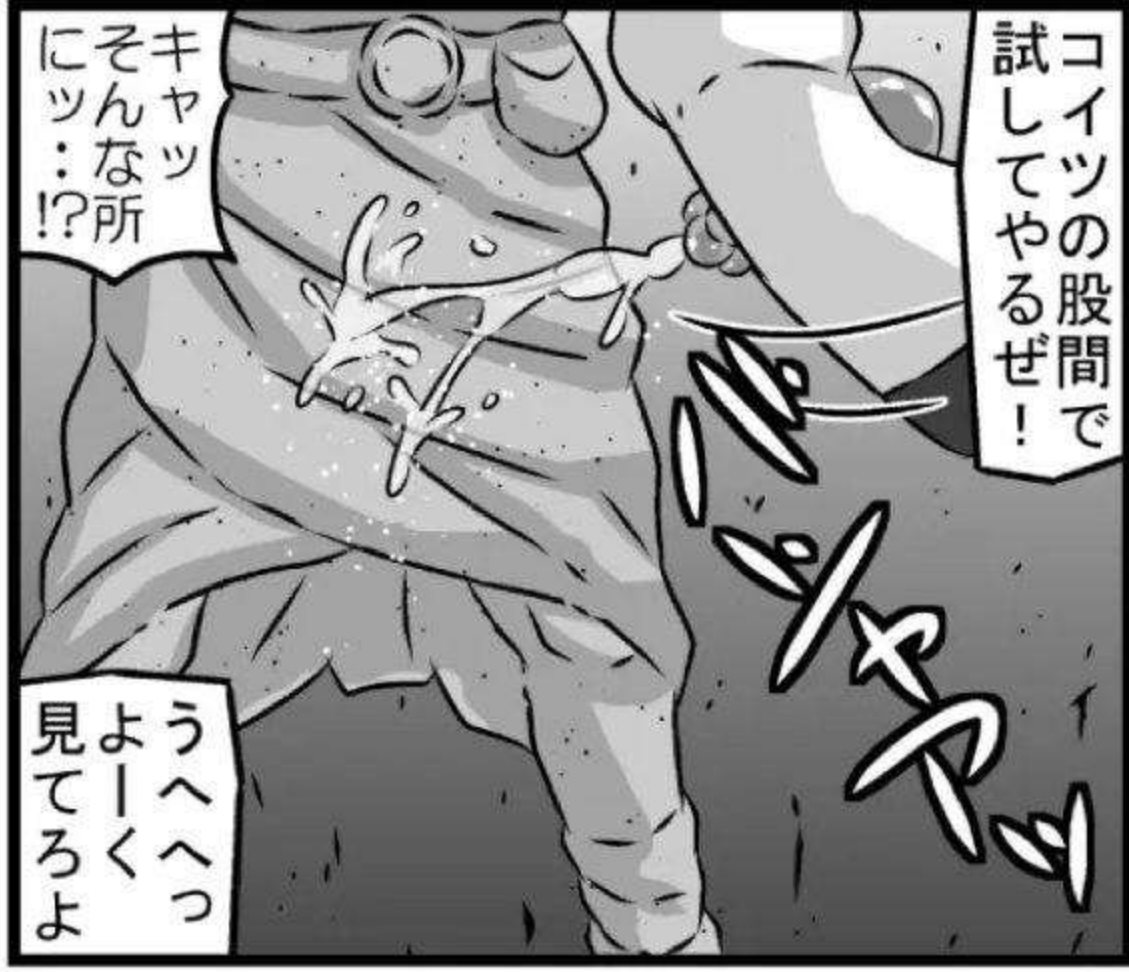
ほれっ...コッチは  
もう準備万端!  
いよいよ夫婦  
の営みだ...  
覚悟はいいな?

ひっ...!

す：少し  
待つて  
下さい!

うっ...やっぱり私と  
する気なんですか!

なんだア?  
やっぱり旦那の事  
よりも自分の身が  
可愛いってかア?



コイツの股間で試してやるぜ!

キヤツ そんな所

うへへっ よーく見てろよ



ブヒヒヒッ そう来たか まあ良い だろう

ええっ... そんなにあつさり...!?

チラッ

そいじゃあ...



それとも...本心では薬が偽物である事を願っていたのかな

なっ...そんな訳ありません!

グフフ... どうだかな



ホレどうだっ 薬を浴びた箇所だけは石化の呪いが解けているぞ!

ううっ... たしかに...

これで安心 しただろう

パッパッ



おっと... そうだ ついでに良い事を 教えてやるぜ! その男は石化していると いても意識はちゃんと 残っていてなア... 体が動かせないだけで 視覚も聴覚もいつも 通り働いているんだ

なっ... なんですって!?

つまり... お前が体を 張って俺にたっぷり サービスしてくれた 様子もじっくり拝んで いたって訳よ!

そんなっ... それじゃ 私... ずっとあの 人に見られながら ジャミ とあんな事をつ...!?

ガキッ

ガキッ

ガキッ



やだっ  
どうして...!?

ムン...

石化が解けて  
血の通いが始  
イチモツが勃  
してやがるぜ  
起!



きゃあっ  
何をっ!?

その証拠に  
コイツを  
見やがれッ



いあそ  
やなん  
あたな  
...  
...

フロローラが  
魔物なんか  
に...

ああ...何て事だ!  
僕が石にされて  
しまったせいで...

自分の妻のあんな  
痴態を見せられたら  
ギンギンにもなるぜ  
ハハハハハッ!



すまない  
フロローラ...

さらには  
あんな事  
まで...!

ジュー  
ジュー

アッ  
アッ

アッ  
アッ



体の隅々まで  
じつくりと  
見られて...

トアッ  
トアッ

アッ  
アッ

アッ  
アッ



よっ・横に立つなア!

お前もそう思うだろうフローラ!

こんな爪楊枝みてえなサイズのチンポで満足する女なんて居る訳ないぜ!



ヒヤハハッそれにしてもこの男よオ...

幾ら何でもポコチン小さ過ぎんだろう!

うわっ...コイツ何を言ってる!?



ああ...! ありがとうフローラ...

ホウ...言うねエ

やっぱ僕には君しかない!

でも大切な夫婦にとって最も大切なのはお互いを思い合う愛情の大きさであって... それに比べたら... そんなモノのサイズなんて何の意味もありません!



そ...そんな... 大きな事なんて女の私には良くて分かりませんわ

確かに少し印象は受けませんが...

フ...フローラ やっぱり君もそう思ってる...

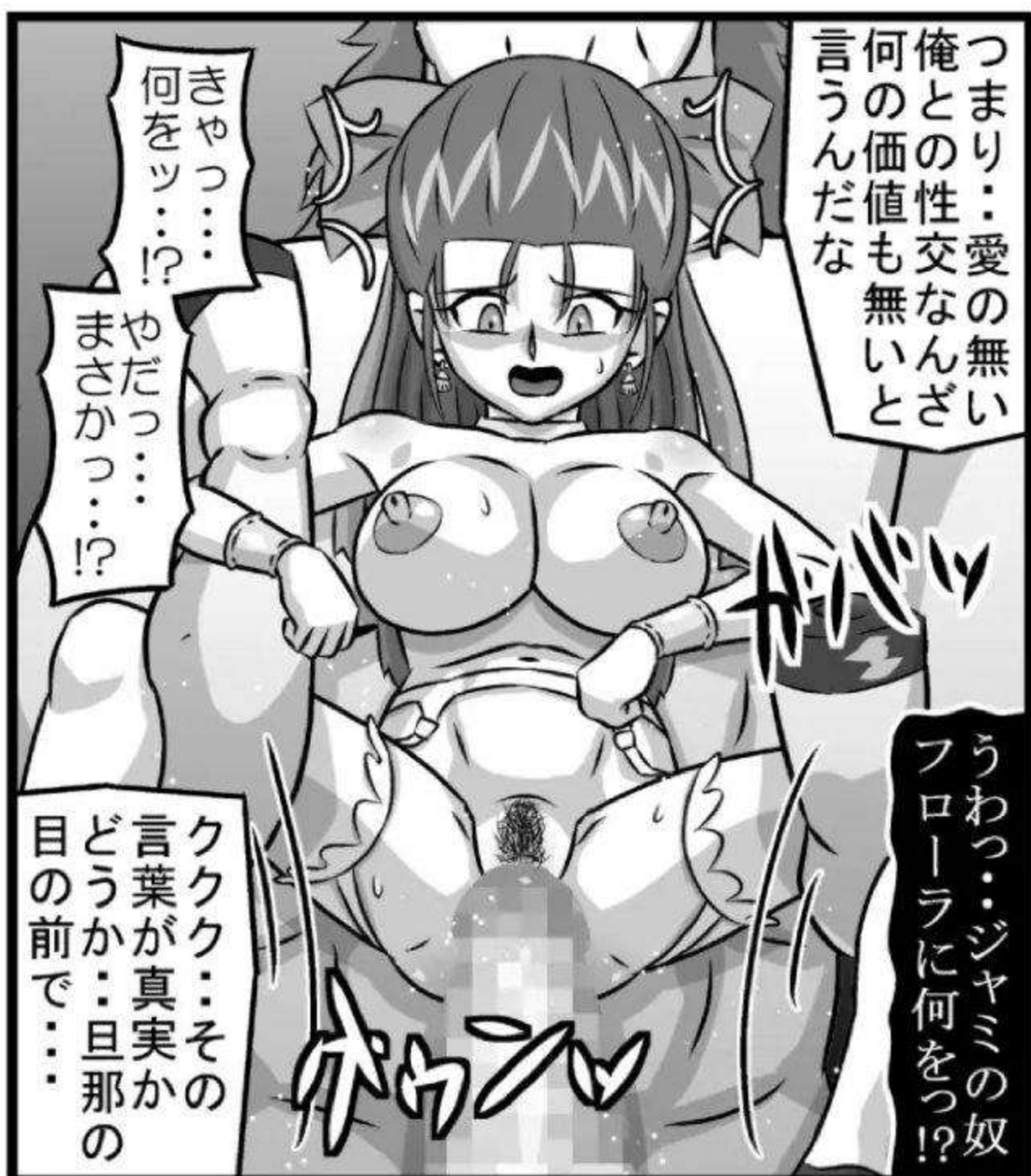


嫌っ...あの人が見えてる!?! 駄目ですうッ!

僕の妻に汚いモノ入れるなア!

証明しやがれッフローラア!

やっ・やめろこの馬ッ...



つまり...愛の無い俺との性交なんざい何の価値も無いと言っんだな

きゃっ...!? 何をッ...!

やだっ...まさか...!?

ククク...その言葉が真実かどうか...旦那の目の前で...

うわっ...ジャミの奴フローラに何をっ!?



ほれっフロラッ  
コイツが本物の  
チンポだぜーッ!

キヤアアアアッ!  
太いッ:  
壊れるウウウ!

ぐわあーっ  
ジャミめっ!

フロラに  
何て事をツ!

その旦那も:自分  
の妻が俺のペニスに  
突かれてピンピンと  
喘ぐ姿をたっぷりと  
楽しむんだなア!



ゲへへへッ  
どうだっ  
フロラ?

このサイズ:  
奴の粗チンとは  
まるで比べ物に  
ならんだらう!  
このポリウム  
ならホレッ:  
:

直接お前の子宮  
までエグって  
やれるぜっ!



きゃんッ!

深いイッ!

ああつ:私あの人の  
前で:あの人のより  
大きなモノで刺し  
貫かれていますう!



あひいっ:  
:  
こ:こんなのっ  
無理ですウツ!

奴のじやまるで  
届かなかった  
奥の奥まで俺が  
ブチ抜いて  
やったんだ

つまり:お前の  
本当の処女はこの  
俺が喰っちまったも  
同然つて事だぜ!



うぎっ:  
:

ひぎい:  
:



イハハハーッ  
この突き上げ  
たまんねえ  
だろっつ!

ヒッ：  
ヒッ！

奥までガンガン  
来てますう！

愛し合うって  
言うのはこういう  
事を言うんだぜ！

こ：こんな激しい  
の初めてですわ！

これが本当の  
セックス…!?



フッ…フンッ  
フッ…フウッ！

あっ…

あはん！

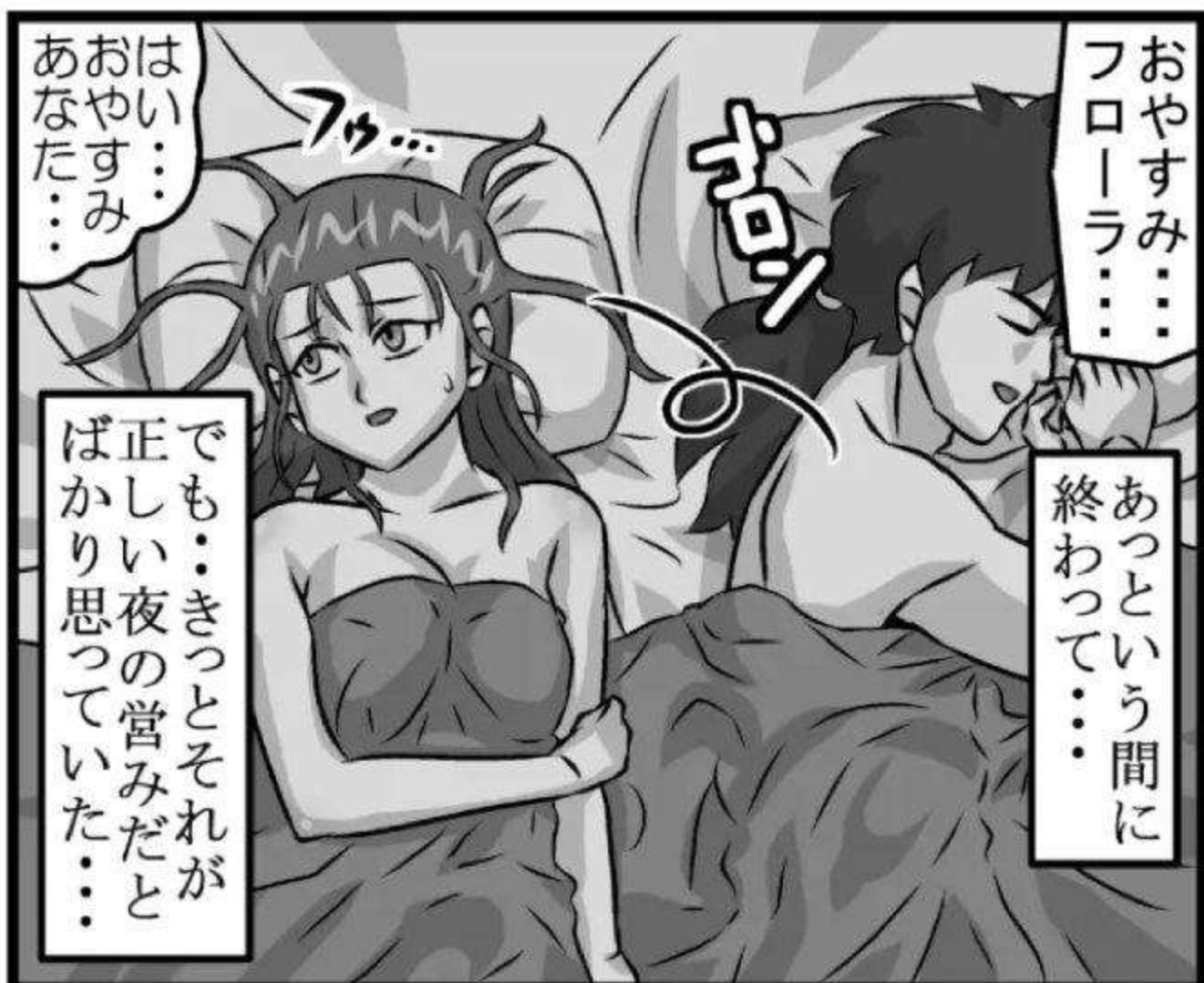
ああ…っ…  
フローラッ！



だつてあの人の  
時はいつも…

じゃあ動くよ  
フローラ…

はい…  
あなた…



おやすみ…  
フローラ…

あつという間に  
終わって…

おは…  
あなた…

でも…きつとそれが  
正しい夜の営みだと  
ばかり思っていた…



イクよっ…  
フローラッ！

ええっ!?

グウウッ！

なっ…  
もうっ!?

うはあ…



グフフフ  
フローラよ  
お前の穴は  
最高だぜ!

だが俺一人で  
楽しむのも  
申し訳ないが  
がするんでなア

ハッ…  
何をっ!?

ニャ



だけどこの  
セックスは  
全然違う!  
女の本能で  
分かるっ!

あひんっ!

あんツ!

これはオスがメスを  
力尽くで自分の物に  
する為に行う性行為!

ああっ…こんな  
まるで…レイプ  
と一緒にすわっ!

ズキッ  
ズキッ  
ズキッ



お前の旦那にも  
もつとじっくり見て  
貰う事にするぜ!

ズキッ

きゃあああ  
駄目ですッ!

あ…あの人の  
こんな近くで  
絶対に嫌あッ!

ホレどうだっ  
旦那さんよオ  
結合部まで  
しっかりと  
拝みなッ!

ぐわわあ  
やめろっ  
ジャミめえ!

ガァン

ズキッ  
ズキッ  
ズキッ



こんな酷い事を  
されている私を見て  
なぜそんな風にな  
なせそんな不潔  
でふっ…わっ!

ち…違  
んだ…  
勝手には…

ヒキッ



きゃっ…あなた  
どうしてっ!?

そ…それは  
いったい!?

ズキッ



あぶっ...!?

ブシユシユ!

ぐむーっ!



グヒヒヒツも悦んでる様だぜ!

これで俺達は旦那も公認する仲って事だ!

なっ...そんなはずありませ...



んぷっ...

あぶっ...

分厚い舌がねつとり絡み付いて...

ケモノ臭のする熱い唾を流し込んでくるっ!



ムホホッ!

やひゃっ...やめっ...

ひゃぶっ...

ああっ...キスはあの人だけって誓ったのに...



よしっ...出すぞっフロラッムフッ!

いっ...嫌っ中は駄目っ...

お願い...外にイ...むふう!

ぬわあーっやめるオ!

ぬほほおーっブチ撒けるぞブチユウッ!



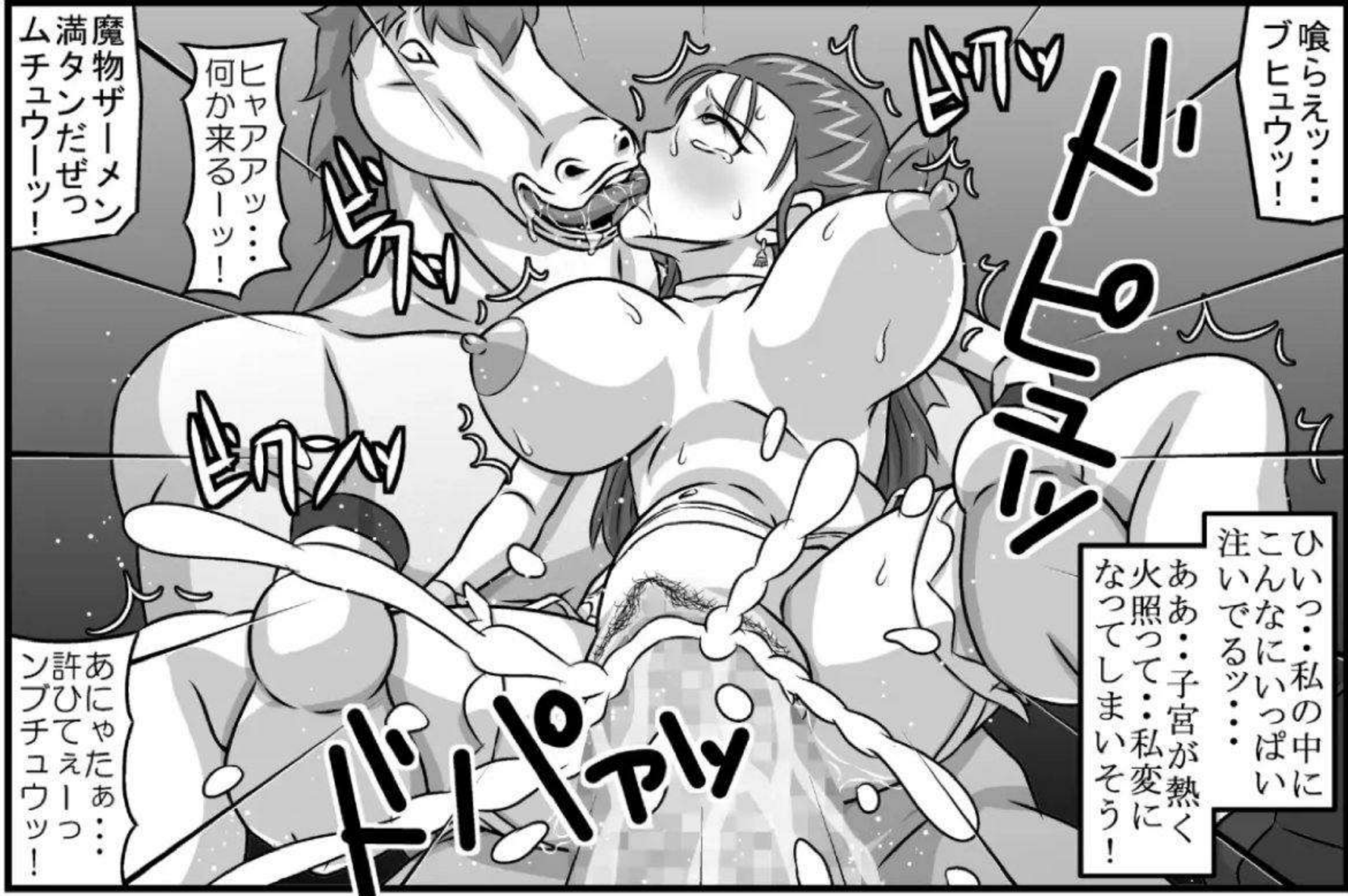
口内に広がるこのケモノのニオイと...

股間を突き上げてくるこの強烈な振動で...

んぷっ...

私...もう限界...頭がぼうっとしてきて...

んっ...



喰らえッ…  
ブヒユウツ!

ヒヤアアッ…  
何か来るーッ!

魔物ザーメン  
満タんだぜっ  
ムチユウツ!

ひいつ…私の中に  
こんなに…いっぱい  
注いでるッ…  
ああ…子宮が熱く  
火照って…私変に  
なつてしまっそう!

あにやたあ…  
許ひてえーッ  
ンブチユウツ!



うぷっ…

汚されて…  
しまった…

んはあ…



むぶっ…

ああ…大事な  
あの人目の  
前で…私…

むほっ



ヒイッ!?

だがまだ  
お楽しみは  
残ってるぞ

イツたばかり  
で敏感になつて  
いるマ〇コから  
この極太ペニス  
を…  
一気に引き抜くと  
どうなるかなア

嫌あつ…今  
それ抜いちゃ  
私またっ…

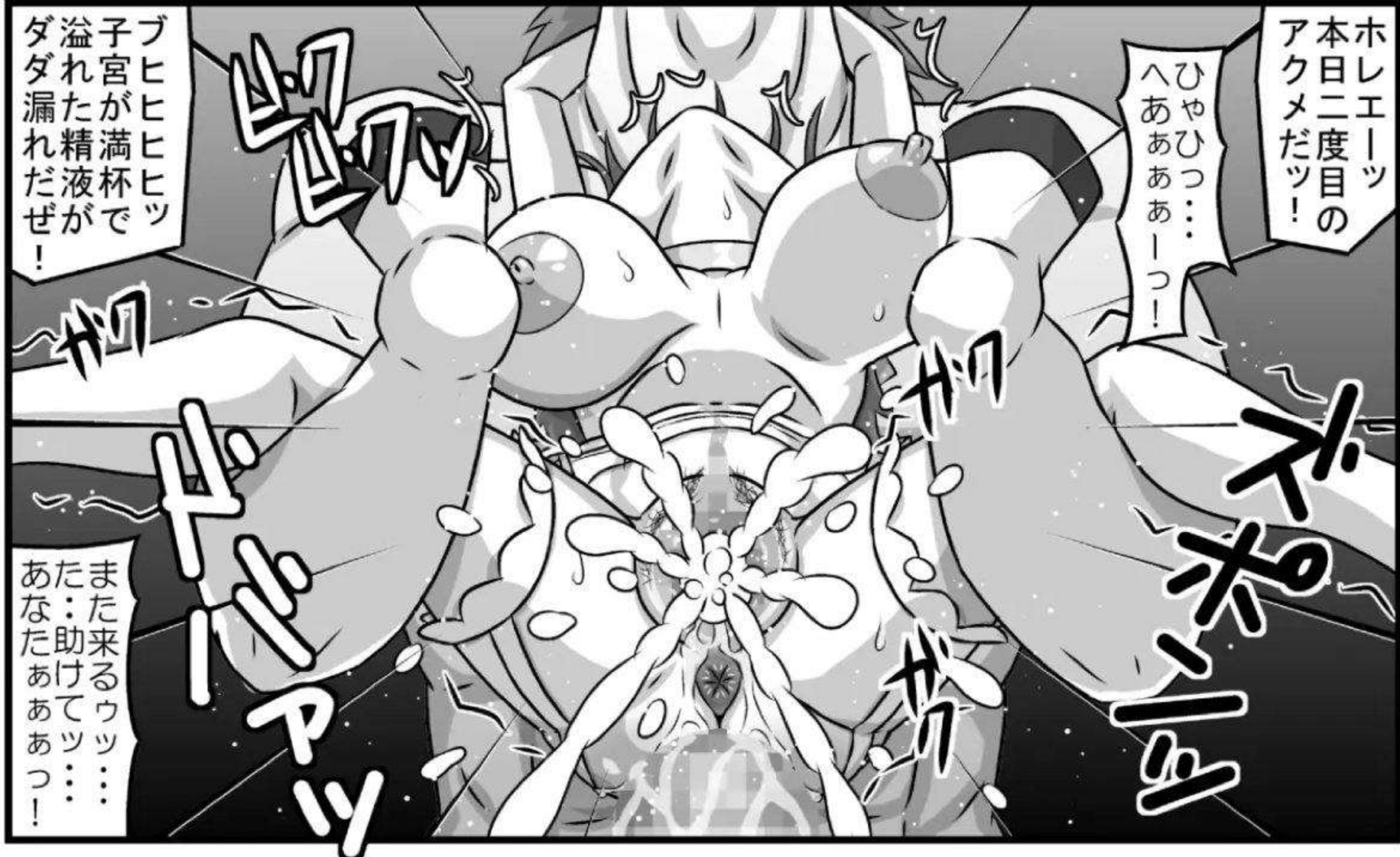


あ…ひ…

ブヒヒッ  
どうだ  
フローラ  
あんな粗チン  
野郎のままごと  
セックスよりも  
ずつと良かった  
だろう!

はひい…

う…ああ…  
フロラが  
あんな魔物  
なんか…



ホレエーッ  
本日二度目の  
アクメだッ!

ひゃひっ…  
へあああーっ!

ブヒヒヒヒッ  
子宮が満杯で  
溢れた精液が  
ダダ漏れだぜ!

また来るウツ…  
また助けてッ…  
あなたああッ!



フロラのアんな  
顔：初めて見た…  
僕との時は  
一度も…

はひいん…

ひっ…

今の…奴との  
体験がそんなに  
凄かったのか?



くそおおお  
フロラの中  
によくもっ…

あはっ…  
あひいーっ!

そ…それに  
しても…



こりやコッチの  
穴も試してみたく  
なつたぜ!

ヒヤアツ!?  
そこはっ…  
駄目ですッ!

ぶひひっ  
ヤラシイ匂い  
がするなア

嗅ひいでるウツ!



ヘッヘッ  
最高の  
セックス  
だったぜ

予想通り…  
相当ウブな  
女だぜ…!

フロラよ  
やはりお前の  
体は極上だなア

あ…  
あ…



へあつ…  
中にイ…

ゲへへへッ  
中はトロトロで  
生臭いぜっ!

ウネウネッ  
動いてるう!

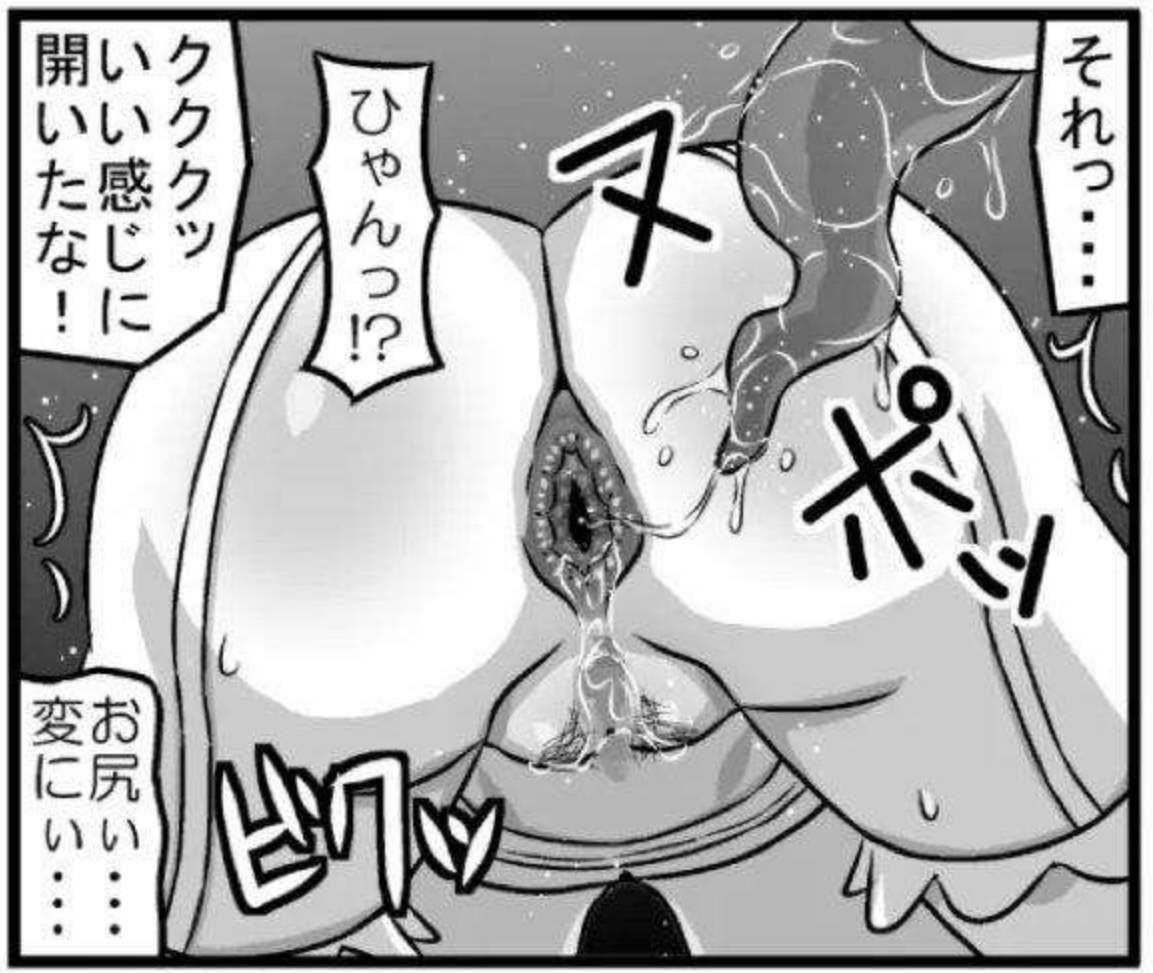


さあて  
お次は味見  
といくぜ

はひッ…!?  
舐めちゃ  
駄目エ!

塩気と苦味の  
混じったクセ  
になる味だな!

そこッ…  
汚いですッ



ひゃんっ!?

それっ…

クククッ  
いい感じに  
開いたな!

お尻い…  
変にい…



さあて  
そろそろ  
ほぐれて  
きたな

ああつ…  
やあつ…

くっ…  
ふうう…

では抜いて  
みるか…



一気に  
ブツ刺す  
ぜえ!

うひゃあアッ!?

んほおお!



これで準備は  
万端だなア!

ひだいつ…  
やだいつ…  
ナニをっ!?  
そ…そこは  
違いますう!

ぎひひひっ  
有無を言わ  
さず…



ホーレツ：狭い入り口さえ通り抜けてしまえば後はすんなり受け入れちまうんだよケツの穴はよお！

ああんっ...私...お尻の穴まで汚れてしまいましたあ...

クククッ どうだ？ 完全に無防備なハラワタをチンポで掻きまわされるこのスリルと恥辱... たまんねえだろう！

おっ...お尻ツ無理ですう！



俺は知っっているんだよお前の様に一見貞潔に見える女ほど...心の奥底には誰にも言えない淫らな欲望を秘めているって事をなア！

従順で清楚な妻を演じながらも本心ではこうして...よその男に肛門を突かれて喘ぐ様な淫らな毎日を夢想していたんだろ？

嫌アアッ 私...そんな事一度だつて...



ゲヘヘッ まあ安心しろフローラッ この俺ならそんな淫らな欲望を秘めた本当のあなたをそのまま受け入れてやれるぜ！

なっ...!?

汚ねえクソを毎日ブリブリケツ穴だつてそうだ！ 本当にお前を愛し求めている俺だからこそこんな下品な穴でもセツクスできるんだぜ！

へ...変な事言わないで下さい！





確かに人は一度も

腰を上げて

さあフローラ

はい



俺の様にこうしてお前の肛門だつて求めてくれたか？

本当に：お前の全てを愛してくれていたのか？

ううっそれは

クククツ お前の旦那：あの男はどうだつたんだ？

ドキッ



出すよっ ああーっ！

ああん

でっ出るっ！

一度だつて触れてくれさえしなかつた

私：本当はあなたに



ああん フローラッ

あっ

私のソコも目にいたはず

うああん！

あん



俺達でアイツに本當の夫婦の営みつけて見せつけてやろうぜっ！

あうっ！

よーしっ フローラッ

グウウッ！

ま：待って下さいッ！

マジに愛し合うオスとメスの交尾がどういう物か：奴に思い知らせてやる！

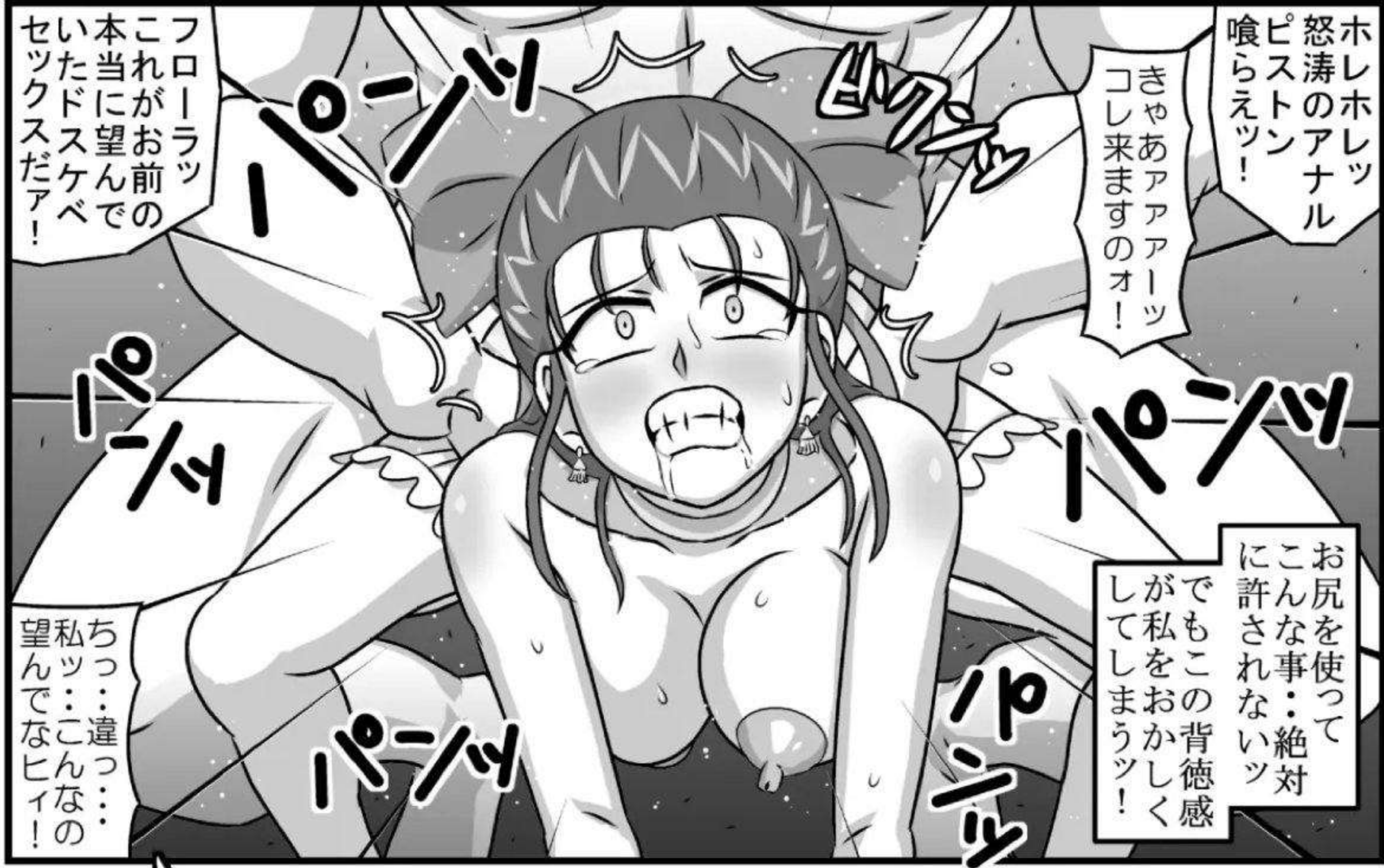
私っそんな事したくなはわううう！

ズッ

ズッ

ズッ





ホレホレツ  
怒涛のアナル  
ピストン  
喰らえッ!

きゃあアアアア  
コレ来ますのオ!

フローラッ  
これがお前の  
本当に望んで  
いたドスケベ  
セックスだア!

お尻を使つて  
こんな事：絶対  
に許されないッ  
でもこの背徳感  
が私をおかしく  
してしまおうッ!

ちっ：違っ：  
私ッ：こんな  
望んでないッ!



ようしっ  
フィニッシュ  
するぞっ!

だが最後は  
やはり：

なっ：  
何をッ!?



ウソこけっ  
ケツ汁を  
ジャブジャブ  
垂れ流して  
悦んでいる  
じゃねエか!

わひっ：

あひいッ!



本当のお前を  
見せてやれっ  
メスになるんだ  
フローラアッ!

ひええッ  
あなたッ  
駄目エッ!

お尻ッ見ない  
でえええッ!

やめろっ：  
やめてくれ  
えええッ!



最愛の旦那さん  
にじっくり見せて  
やらなきやなあ!

嫌あああッ  
見せないでッ  
わ：私のッ：

エツチなお尻ッ  
見せないでエ!



夫の目の前で  
どてつ腹に流し  
込んでやるぜッ  
オラアーツ!

出てるっ……  
お尻にツ……  
嫌アアアツ!

ギヒヒヒッ  
ケツアクメを  
存分に味わえっ  
フローラア!

うわあつ……  
そんなつ……  
フローラア!



なっ!

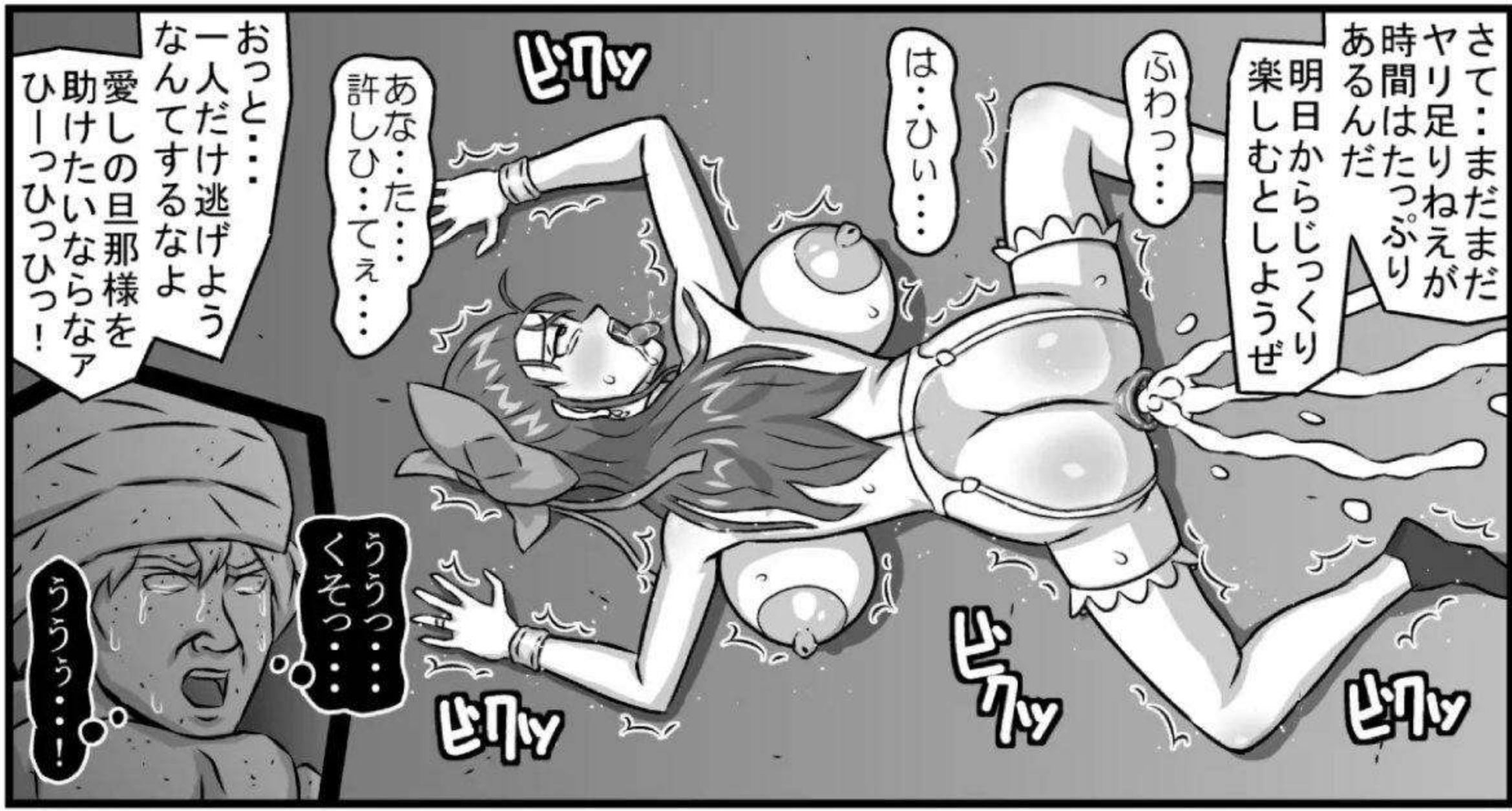
うぎゃわっ!



はひっ……

ぐっふっふ  
良く頑張ったな  
今抜いて  
やるから……

ふひい……



さて：まだまだ  
ヤリ足りねえが  
時間はたつぷり  
あるんだ  
明日からじっくり  
楽しむとしようぜ

ふわっ……

は……ひい……

あな：た……  
許しひ：てえ……

おっと……  
一人だけ逃げよう  
なんてするなよ

愛しの旦那様を  
助けたいならなア  
ひーっひっひっ!

ううっ……  
くそっ……  
ううっ……!

ジャミミ・今日も  
来ましたわね!

昨日は勢いに吞まれて  
あんなはしたくない姿を  
晒してしまいましたわ!  
もう負けませんわ!

さあフローラ  
今日も始め  
ようぜ!  
俺達の愛  
の時間だ!

どんな卑猥な行為を  
求められても平然を  
装って淡々と相手して  
いけば私への熱もすぐ  
に冷めるに違いない!

さあつ・私の体が  
目当てなんでしょう  
来るなら来なさい!

うへへっ  
イクぜっ

こ：これじゃ  
まるで：  
グへへエ

んふっ：  
ドキ

愛し合う  
恋人同士  
みたい：  
ふあ：  
ドキ

えっ：キス!?  
まさか：キス  
からなんて：  
むふっ!?

んんっ：  
ドキ

でも：女性にとって  
シンボルである胸  
を褒められたら：  
お：女としては  
少し：その：  
嬉しい気持ちも  
ありますわ：  
んあつ：  
ドキ

ヒツヒツヒツ  
こんな立派な胸を  
前にしたら男は皆  
リスペクトしたく  
なるっでもんだ  
やんっ：  
ドキ

むふふっ 乳房の  
ポリユームと言  
乳輪のサイズと  
言い：  
凄く魅力的な  
バストだぜ!  
なっ：急に  
変な事言わ  
ないで下さい!  
ドキ

やだっ何で胸  
の話なんか：  
ドキ



はっ... はわあ...

ぐへへっ  
しっかり  
濡れたる？

未知の体験に私の  
体はすっかり火照って  
しまいました...

それじゃあ  
いれるぜ！



はあんっ！

きゅっ...

最後までひたすら  
腰を振るだけだった  
あの人とは違う...

胸の次は性器も...  
ジヤミはじつくりと  
味わう様に丹念に  
舐め回しました...



ソコはっ...  
だめえええ！

ここかっ？  
この辺か？

やっ... 駄目っ  
駄目ですっ！

ホレツ...  
どうだっ

丁寧に愛された私の  
性器は... いても容易く  
ジヤミの巨大な肉棒を  
滑り入れてしまう...

そして硬くなった  
ソレが私の体を  
出入りする度に  
思わぬ声漏れて  
しまわうんです！



でも... 本当は  
何も感じる事が  
できなくて...

だから...



あの人の時は無理して  
声を出してたのに...

ううっ...  
フローラ！

あの人に喜んで  
もらいたくて  
無理して気持ち  
良いフリを...

ああーっ

あっ...  
あーん



このっ… ジャミめ!

また僕の妻にっ…



いつも隠れて一人で…

ああっ… 来るッ!

あなたっ… 許してッ… きゃあッ…

その方が ずっと気持ち 良くて…



ひっ… そんなッ

さあて そろそろ 出すぞッ

なっ… やめろッ そんな事 したらまた 妻がっ…

ダメッ… 駄目れすう!



フローラに あんな事を!

クフウッ… たまんねえぜ フローラッ

あうっ…



フローラがメスの 顔になるッ!

熱いザーメン たっぷりと 受け取りな!

あひいッ… コしやっぱり 来ますうッ!

あの人よりっ… 自分でするよりもっ コレが一番ッ…

一番れすうう!



さあて二回戦イクぜ!

だ：駄目ですっ！

これだけではない！終わらない！

ジヤミはさらに！

そだって：：：：：



フヒイーツ良かったぜえ

ああ：：：やっぱり凄い！

あふっ！

はひい！

やっばお前は最高の女だぜ

ジヤミとのセックス：：でも！



ホレツ：お前の期待しているアナルフアックだアーツ！

んふううううーっ！

グボーン

グボーン

おっ：お尻っ！：違うのオーツ！

腹の奥までしっかり入れてやるぜーっ！

私の体の一番汚い場所にも性器を突き立ててくる！

夫にすら愛して貰えなかつたこんな汚い穴にまでっ！

グボーン

グボーン



ぬふふっ今楽しんでやるぞっ！中に注いでなア！

あの人との経験だけでは知らなかった！

むふーっ！

ふおーっ！

私は：ジヤミに教えられた！



それーっ突きまくってやるぞ！

ぐううーっ！

むふうっ！

感じるか？フローラッ！

ボキョ

グチャ

ああ：でもまさかここがこんなにも感じるなんて！

ふおおっ！





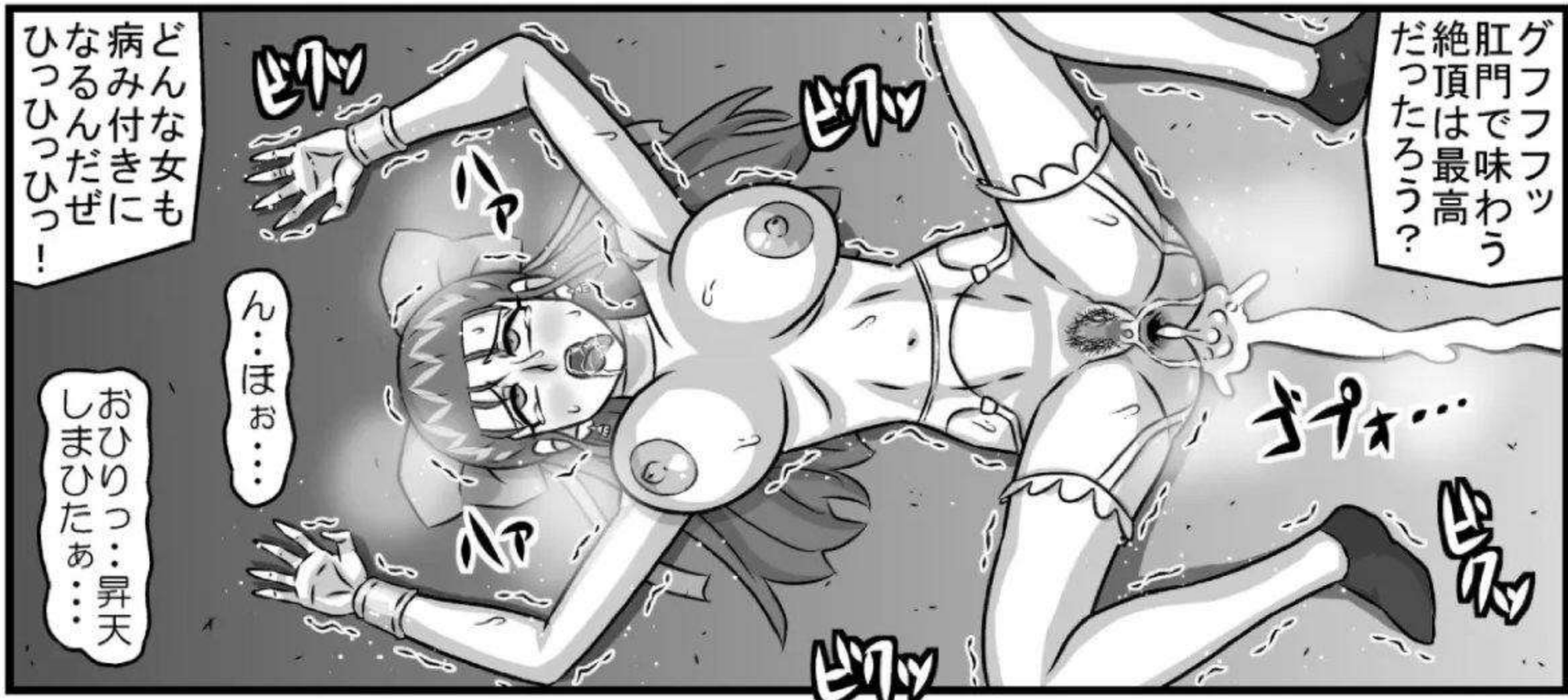
それっ：こイツで  
フイニツシュだ！

お尻ツ：来るッ！

ケツアクメ  
を堪能しろっ  
フローラッ！

女性のアヌス  
は：性器にも  
なるんだって！

らめえっ：お尻ッ  
来ないれえええ！



グフフフツツ  
肛門で味わう  
絶頂は最高  
だつたらろう？

どんな女も  
病み付きに  
なるんだぜ  
ひっひっひっ！

ん：ほお...

おひりっ：昇天  
しまひたあ...



フフフ：...  
アレを見るよ  
フローラ！

ひあ...？

おっ...？



石にされた  
この体で...

このヤルせない  
気持ち：鬱憤...

どうやって  
吐き出したら  
いいんだ...！



また肛門で...  
そんなに...

あんな魔物  
なんかに...

ぐ：ああっ...  
フローラ...！



だよなあ  
フローラ？  
ひっひっひっ

そんな貧相な  
チンポしてつから  
大事な女を奪われ  
ちまうんだよ！



あの野郎：  
お前のケツイキ  
を見てまた  
おっ勃てて  
やがるぜ！

恥ずかしげ  
も無くガキ  
みてえな  
粗チンをよオ  
ギヤハハツ！

きやあっ！  
何をツ！



グフフツ：  
まあ良い  
せつかくの機会だ！  
ここはひとつ  
フローラさんに  
竿比べして貰おう  
じゃねーか！

きやあっ  
何をツ！

さつきハメた  
俺のチンポと  
奴のチンポと  
女にとって  
どっちが魅力的  
なのかなあ！

なっ…  
コイツ何を  
する気だ！



しっぽり  
楽しみな！

人前で夫婦の  
営みなんて…

うわあっ…  
フローラ…  
フローラの  
中にイイイ！

ゆ：許され  
ませんわ！



グへへへッ  
俺が手助けして  
やるからよ

あっ…  
嫌あっ！  
ふざけないで  
下さいっ！

ああ…  
フローラ！  
まさかこのまま  
フローラと…

愛しい旦那と  
愛の時間を…



お次は出し入れだな!

ま・待って下さいっ……

こんなの……

ホレッホレッ!

ズィッ  
ズィッ



さあつ旦那の竿根元まで全部入れてやったぞ!

えっ!?

ええっ!?

あの人の……もう入ったの!?

私……何も感じませんわ!



チンポよりも愛情の大ききの方が大切だあ?

うわあつ……フローラ!

僕はっ……もうっ……

ひひっ……ならこのお粗末な小枝で喘いでみやがれ!

私……きつともう一生……

この人に……女の幸せを与えて貰う事はできな……

ズィッ  
ズィッ



ウへへツ……どうだ愛する夫のチンポは!

あ……ああ……

昨日はナニのサイズなんか関係無いとか言っていたが……

まだ同じ事が言えるのかよ!

う……動いても何も感じない!

ジャミのアレを覚えてしまったからなの……?

ハッ  
ハッ

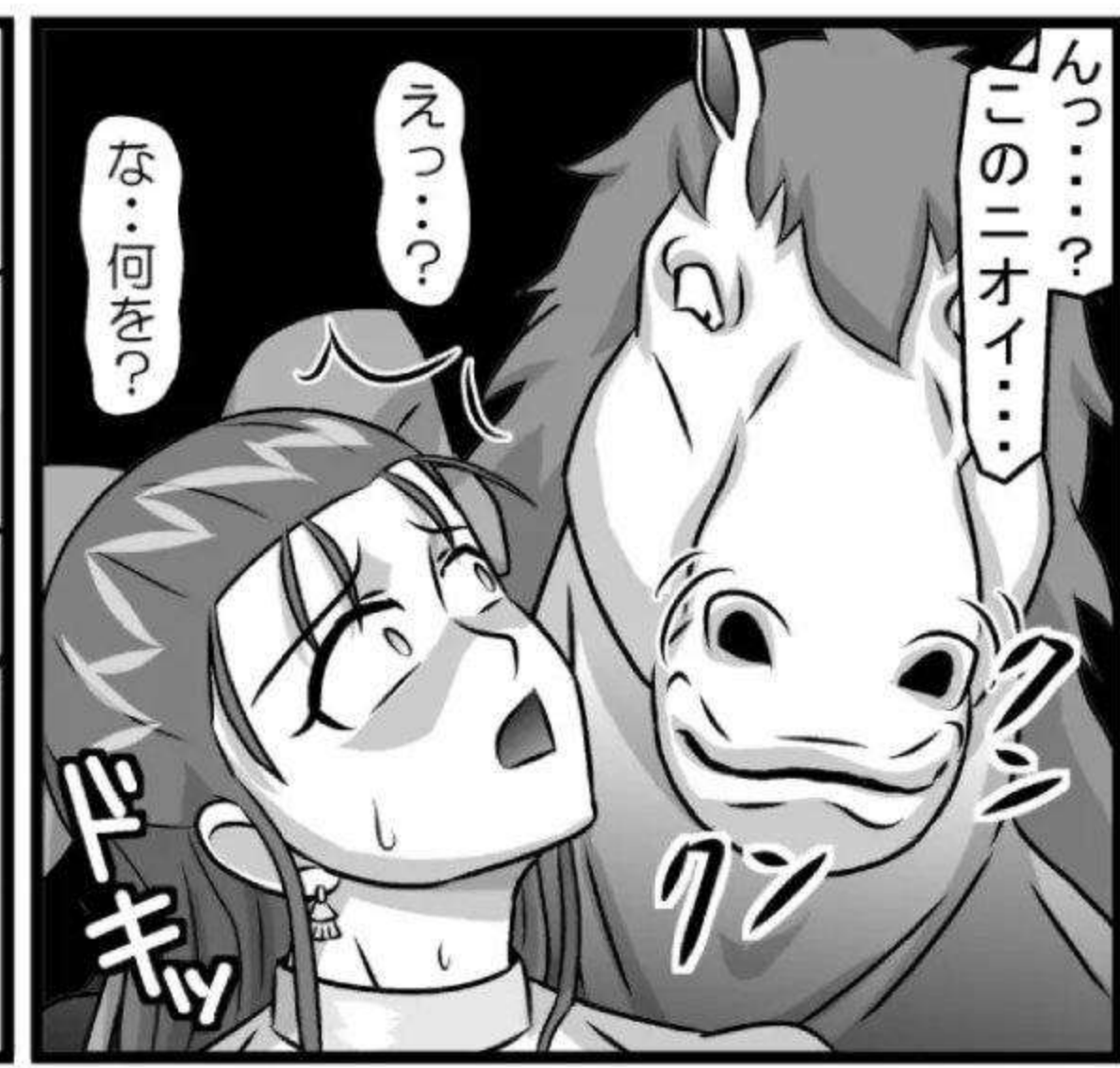


この野郎もしや……

いったい何が……?

どうしたって言うんです!?

ゴィッ  
ズィッ  
ズィッ



んっ……? このニオイ……

えっ……?

な……何を?

ズィッ

ダハハハッ  
やっぱりもう  
出ちまって  
いるぜツ!



嫌ヒツツ!  
アツ!

まだ三擦りも  
してねエゼ!

十秒も  
もたねえ  
のかよ!



ああ……この人  
やっぱり……

「駄目」なん  
ですわ……

このヘナチンの  
早漏野郎がツ!



そっ……  
早……漏!?

ブヒヤヒヤヒヤ!

なあフローラ  
お前は毎晩  
こんな情けない  
水漏れチンポ  
に突かれて……

ヒイヒイ言  
いながら感じて  
いたのかよ!

なっ……  
そんな事つ  
ありませんわ!

そんな貧弱なモノ  
で感じる女なんて  
居る訳……ハッ!



ムキツ

ガツ

あ……あの……  
いえ……違うん  
ですよ!

私……そんな……  
悪い意味で……  
言つた訳で……  
はなくて……

ち……小さくて全  
感……しないから……  
その……女性の体にも  
全然……負担がかかり  
ませんし……  
そ……それに夜は  
早く……済む方が……  
良……かつたり眠れ……



あせ

クル

ひ……貧弱……  
貧弱なモノ……

だ……だ……だ……  
ジャミの……  
凄……大きくて……  
動……きだ……  
あ……ん……  
激……しく……

私……あんな……  
初……め……で……  
し……つ……と……  
毎……晩……あ……  
と……ても……  
持……ち……ま……

へッへッへッ  
夫婦で何か  
揉め事かア?

それなら今日は  
これで退散するが  
フローラよ……  
も……つ……と……  
気……持……ち……に……  
な……つ……た……  
ひ……つ……ひ……



ズン

うっ……  
うっ……



粗末……  
小さい……

だ……だ……  
その……私……



フホッいいぞ  
フローラッ!

その調子  
だっ!

まさか女の  
私が上に跨る  
なんて...  
こんな体位が  
許されるのか?  
でしようか?

はんはっ...  
あんツ!

んんっ...  
んんっ!

だつて...あの  
人の時は...



あっ...

ああ...こうして  
相手を見下ろして  
いますと...

何か不思議な  
優越感を覚えて  
しまいませんか?

ああんっ!



これも...

これ...  
だけ...



げへへっ  
フローラ  
随分積極的  
になつたん  
じゃねえか?

なっ...  
何をっ!?

私...あの人の  
助けを...  
私...あの人の  
助けを...



あの凶暴なジャミ  
も...今はこんな  
無防備に私に身を  
委ねている...

意外と可愛い  
一面もあり  
ますのね...

おおっ...  
うおおっ!

キヤツ...私したら  
何を考えて...!



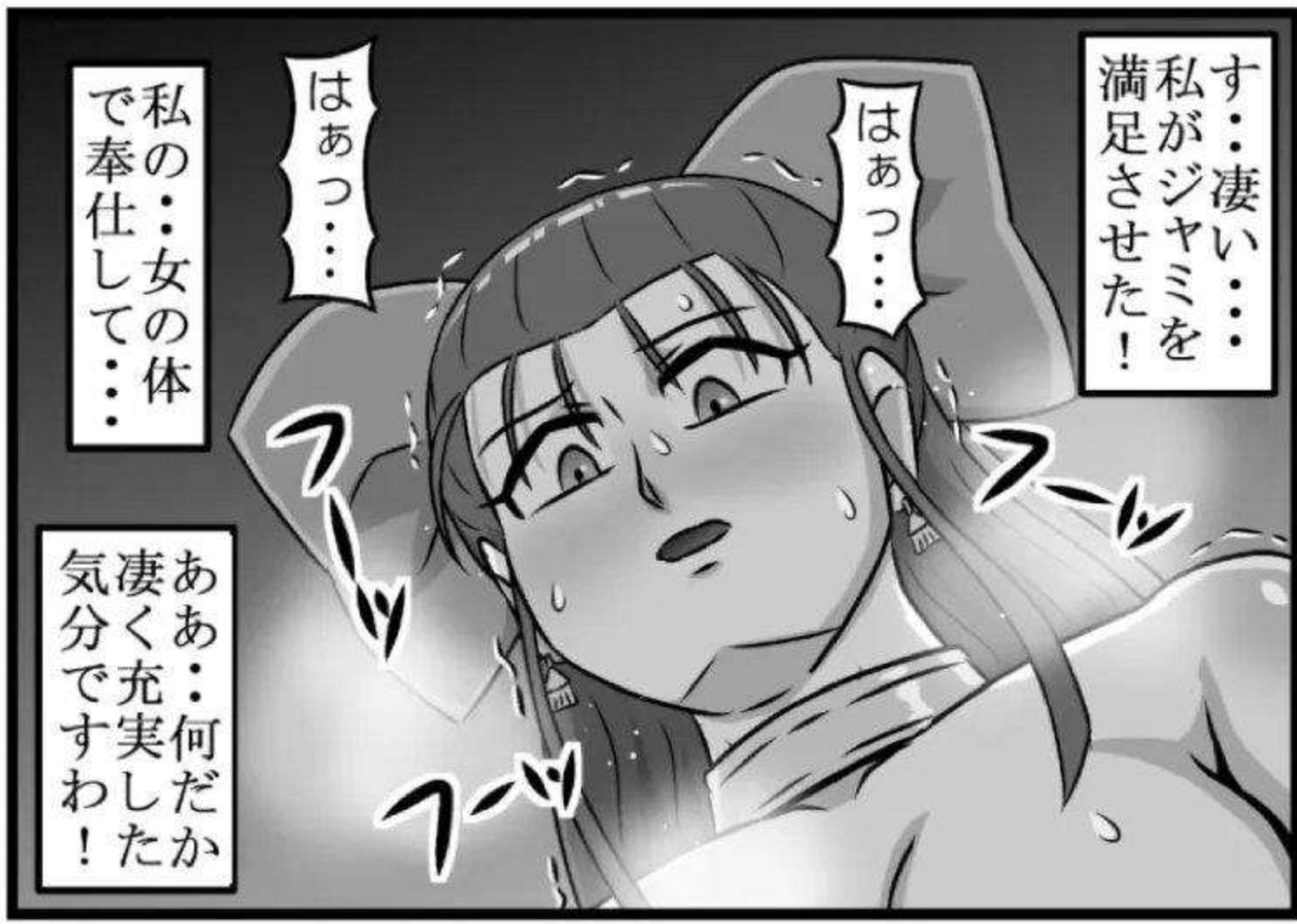
お汁をツツ出してっ……  
オオツ……  
ネバ  
ウオオオ!  
終わって下さいッ!  
早グツ……



と……とにかくこんな事すぐに終わらせませすわ!  
フーツツ  
ズッ  
はっ……早くっ……



だっ……出してッ……中にいいいいッ!  
うははあーっ  
フローラア!  
ブヘヒヒイッ!  
ああ……出てるっ  
私がジャミに射精させましたのねっ  
この凶暴な魔物を私が骨抜きにッ!  
お汁……私があなただのお汁……搾りましたのッ  
私がッ出させたッ……アハヒヒイッ!  
はあっ……  
はあっ……  
す……凄い……私がジャミを満足させた!  
良かったぞ  
フローラ……  
さ……最高  
だぜえ……  
ああ……何だか凄く充実した気分ですわ!



はあっ……  
はあっ……  
私……女の体で奉仕して……  
ああ……何だか凄く充実した気分ですわ!



又ハア……  
良かったぞ  
フローラ……  
さ……最高  
だぜえ……



思えばあの人は...  
いつも勝手に腰を  
振って...いつの間  
にか果てていた...  
私が...何かして  
あげる間もなく  
すぐに一人で...

でっ...  
出るっ!

うわアアーツ  
フローラッ!

びるる

びんぎん

びんぎん

えっ...  
はい...  
もしかすると...  
あの夫婦だけ  
の夜の間...



でも...  
なんだ?

最後の瞬間...  
まるでフローラ  
が笑った様に...  
いや...きっと  
気のせいだ...



あの人は私の事を  
ただの「穴」として  
しか見ていなかった  
のかも知れない...

ぐああつ  
ジャミめつ  
またフローラ  
に酷い事を!

びんぎん

びんぎん



まあそう  
遠慮する  
なつて!  
女を満足させる  
のは男の義務だぜ

お尻を許さな  
ま...  
好きだろ?

きゃっ...  
駄目です!

お尻を許さな  
ま...  
好きな尻?

ポーン



うひひつ  
それじゃあ  
フローラッ  
今度は俺が  
お前を喜ばせる  
番だなア!

な...何を  
言つて...!?

頼んでいませんわ!

びんぎん



口ではそんな事  
言っても体の方  
は正直だなあ！

肛門がギユンギユン  
チンポを締め付けて  
射精を促してるぜ！

ひいっ  
違っ  
います  
ウッ！

ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ

おっ：  
お尻：  
っ：  
勝手：  
に：  
いい：  
い！



まだ  
まだ  
突き  
上げ  
るぞッ！

くそっ  
僕の  
目の  
前で  
わざと

見せ  
つける  
様  
につ

ぐは  
あッ  
奥に  
イイ  
イ！

ズッ

ズッ



ホレツ  
もつ  
と強  
く  
し  
が  
み  
付  
か  
ね  
え  
と  
振  
り  
落  
と  
さ  
れ  
る  
ぞ

あの粗  
チン  
野郎  
の  
お遊  
戯  
み  
た  
い  
な  
が  
腰  
振  
り  
と  
は  
強  
度  
が  
段  
違  
い  
だ  
か  
ら  
よ  
！

なっ  
コイツ  
！  
僕  
の  
が  
お  
遊  
戯  
だ  
と  
！  
？

はあ  
んっ  
はあ  
んっ  
！



お尻  
がッ  
取  
れ  
て  
し  
ま  
い  
ま  
す  
ウ  
ッ  
！

ズッ

ズッ

ズッ



さあ  
て  
そ  
ろ  
そ  
ろ  
肛  
内  
に  
注  
ぎ  
込  
ん  
で  
や  
る  
ぜ  
！

また  
フロ  
ー  
ラ  
の  
中  
に  
ッ  
や  
め  
ろ  
ー  
ッ  
！

ヒッ  
！  
？

駄  
目  
で  
し  
ゅ  
ッ  
せ  
め  
て  
外  
に  
イ  
！

ズッ

ズッ



おーらっ 愛の  
ザーメン 浣腸ツ  
受け取れエ!

んほおおおーっ!

あひっ：お尻に  
ドツプリ注がれ  
ていますう!  
あなたあ：フローラ  
はまた魔物に汚され  
てしましましたあ!

おっ：お尻にツ  
いっの来ちゃって  
いますうううッ!



うわあああーっ  
フローラアッ!

ゲへへッ  
随分と感じて  
いたみたい  
だなア!

ああ：お尻また  
来ましたあ：  
あの人と契る  
より：ずっと  
気持ち良い：

なかつ：感じて  
いまんか：  
わ：私：お尻で  
あ：あか全然：  
あ：あへえ：

ひひひっ  
意外と強情  
な奴だな!

それじゃ明日からは  
もつと本腰を入れて  
お前を愛してやるぜ  
ふひひひーっ!



あひっ：  
ヒイイイ：

うう...もう...  
やめてくれえ...

それから毎日：私はジャミと交わり続けた...

でひっ：酷い  
ですうっ！  
こんな：はした  
ない格好です  
なんてっ：...

はしたない  
から興奮するん  
だろっがッ：  
おらおらっ！

嫌ひあっ：  
あーっ！



それっ濃い奴を  
たんまりだッ！

あひいいい！

グへへへッ  
子宮ですすり  
やがれーっ！

夫の目の前で  
何度も：  
何日も：  
...

だめえええ：  
あてますのんッ！  
あふうううんッ！



ジャミの底無し  
の欲望を受け  
止め続けた：  
...

んひっ：  
...

ふひひっ  
すつきり  
したぜえ  
次はチンポ  
を掃除して  
貰おうか！

ふひい：  
...



うほほっ  
イイねエ!

むふっ…

それは…そう…  
夫を…愛するあの  
人を助ける為…

ハハッ



私：どうして  
こんな事を…？

ひっ…

さあ：コイツ  
を啜えてくれよ

スッ  
キリッ



今日だつて  
あんなに…

いつも…あの情けない  
モノを勃たせている…

ん  
ん



でも石にされた  
あの人は…

こんな姿の  
私を見て…

チラッ

ちゅぷ  
ちゅぷ



自分の妻がこんなに酷い事  
されているというのに…  
それをイヤらしい目で  
見て興奮するなんて…

ぬふっ  
その調子だ

ぬふっ…

うまいぞっ  
フローラ!

んふっ…

あの人…本当は私の事を  
どう思っているの…？

むほおっ!

最高だぜッ!

ちゅぷ  
ちゅぷ  
ちゅぷ



あっ…

ほれっ…そのままで口を開けていろよ!

あんっ!



うぶっ…

おうしっ…みなぎってきたぜっ!

それじゃ最後は…

んんっ!?



どりやあーっザーマンシャワーだぜーっ!

うひゃっ…!?

す：凄量の精液ですつ! むせかえる熱気とおス臭い臭気で頭がクラクラしますわ!

大王イカ臭いチンポ汁を浴びろーっ!

んはっ…はあっはわあ…っ!



なあっ…!?

どうだフローラ? そろそろあのヘナチンから俺に乗り換える気になっただか?

もうひと押しって所か…

まさかっ…そんな事…

私っ…あのひと外の男性なんて



グクン!...

ああ…これが精液の味…? 凄く苦いですが何だかクセになりそうですわ

むひひっ…発情した雌犬みたいになっただか? なってるぞ!



どうせお前の事も都合の良い肉奴隷くらいにしか思っていないんだらうよ

そ：そんな事はありませんわ！



ぐふふふつ 本当にそれでいいのか？

ドキッ

うっ…

アイツは俺に抱かれるお前の姿に興奮して勃起するような薄情な男だぞ



ハッ…!?

そ：ういえばあの方…!?

ドキッ



もしかすると奴にはお前以外の… 本命の女が居るのか？ お前の目の所で届かない所までその女…

ニヤァ

ゲヘヘッ さあ迷えっ 奴を疑えっ

あの人に… 限つて… 絶対…

まさか…!



さあ今日はここまではその薄情な粗チン浮気野郎とこの俺と…

どっちを選ぶのか良く考えておくんだな！ ひっひっひっ！

ドキ

ドキ

ドキ

うっ…



いえ…でも… 彼女はあの人にとつて…

ただの幼馴染 だったはず…

恋愛感情なんて無かったからあの人… 妻に選んだのですわ…

だ…だから… きっと…

ま…まさかあの人…

浮気なんてする訳…

15日目

しかし…その日を境にジャミは姿を見せなくなりました…



ジャミは どうしたの でしょう？

こんな事 今まで 一度も…

その後もジャミの現れない日は 続いて…

21日目

今日で一週間…  
も：勿論：魔物  
な：か抱か：は  
い：で済むの：は  
嬉：しいですが：は  
少：し心配：  
で：すわ：

ゴク…

ジャミの身に 何かあったの？



ハツ…まさか もう私に興味が無くなつて…

他の女性を 攫つて…その 方と…!?

あんなに私に 夢中だった はずなのに！

飽きたらすぐ にポイ捨て つて事ですの!?



ああ…何でしょう この胸が ザワつく様に 焦る…嫌な 気持ちには？

まさか嫉妬!?



いいえ… 違います！ 私…大事な夫を 助ける為に… ジャミの持つ薬が 必要だから…

それで焦りを 感じています！ だけですわ！

この悶々とした 胸のつかえを取る 為には…私…

んっ…？  
フローラ… どこに…？



モヤ

うははっ 二度と来るな ウマめっ！





我慢できま  
せんわっ…

…ッ!

体が疼いてっ…

カチヤ

カチヤ

カチヤ



この柱の陰なら  
あの人からは  
見えませんわ

わっ…私  
もうっ…

?

カチヤ



なっ…何だ?  
かすかに聞こえる  
この喘ぎ声は…

んっ…

フローラ…  
一体何を…?  
ま…まさか  
自分でっ…

くっ…



んっ…声ッ…

ふっ…

抑えないと…  
あの人に聞こえ  
てしまいます!

んっ…

カチヤ

カチヤ

カチヤ



ああっ…  
ジャミの…  
凄かった…

もう一度…  
アレで私を…

くうっ…思い出し  
たら…私もう…

カチヤ

カチヤ

カチヤ

カチヤ



ひいいイーツ  
もう駄目ツ：  
きつ：来ちゃうい  
ますうううい

ハウーツ  
お尻にも  
下さビツ

んきやアーツ！

ああつ：あの人  
に声ツ：聞かれて  
しましますう！

でもダメツ：  
もう抑えられ  
ませんわあ！



ああつ：

ガァーン

あああ：

そんなんつ：  
フローラ：

アイツとの行為  
を思い出して：  
うわ：ああつ：



ああ：生涯を共にする  
と誓ったあの人のそば  
でこんな不貞を：

んはつ：

私：最低の  
女ですわ：

だ：だけど：  
興奮してしま  
ますのお：

あふつ：



ちよつとした  
風邪だぜ：  
た：大した  
事ねえよ：

か：風邪？

熱は無い様  
ですが：  
無理をせず  
が良になっ  
たわ

あ：ああ：  
そうさせて  
貰うぜ：



その日の午後：

よっ：  
よう：  
久しぶり  
だな：

きゃっ！？  
どうした  
んです！？

キッ

フワフワ  
ですわ！





どうしても... お前の顔が見たく なってよお...

なっ...!?

如 非

きゅ...急に 何をっ...!?



ここの所 ずっとこの 調子でな... 起きるのも ままならな かったんだ

そんな状態で 出歩くなんて 無茶ですわ! どうしてこんな 所まで...

ゼエ

ゼエ



わ:私: お水を持って 来ますね!

すまねエな かえって 迷惑かけち まつて...

フ: フローラッ そんな奴の為に どうしてッ...?



へ:へへ:最後に 本気でホレた女に 会えたんだ... これでもう 思い残す事は 無いぜ...

はわわっ!

そ:そんな 不吉な事 言わないで... きつとすぐに 良くなりますわ!

ज्याミめっ 今更何の つもりだっ! 何を企んで いるっ...!?

ゴッ



あの馬ッ わざと...! フローラの気を 引くため: 仮病 まで使つて...!

そうかつ 長い事姿を 見せなかつた のも作戦かつ クソーツ!

騙されるなっ フローラッ... フローラッ!

グ ワッ



なっ...!?

コイツ...!

キョッ

お：お前も  
もう疲れた  
だろう？

俺に：構わず  
休んでくれよ

クスッこれ位  
平気ですわ！

病気の時くらい  
甘いっばい：私にい  
甘えて下さいね

あんもうっ  
大きな体して  
随分と世話  
が焼ける：

本当に困った魔物  
さんですわね♪

「ううして  
一晩中：看病  
は続いて……」

夜が明けた！

うおおおーっ  
復活したぞ！

フローラッ  
お前のおかげ  
だぜえーっ！

おつと：コイツ  
までこんなに元気  
になっちまった！  
フローラ：こつちの看病  
も頼めるか？

きやつ：何で  
そんなについ？

なあ頼むぜ  
フローラ！

俺にはもう：  
お前以外の女を  
抱く事なんて考え  
られねえんだ！

なっ：！？  
そっ：そんな事  
言われてもっ：

私っ：エツちな事  
なんて全然っ：  
望んでいませんわ

で：でも：夫の  
石化を治す薬を  
あなたから頂く  
という目的が  
ある以上：

ううっ：  
フローラ  
まさかつ

私に：断る  
権利はありま  
せんから：

またそんな  
奴とっ：！？



これはどうでしょう？  
えっと：確かパイズリって…

こうして舌で刺さるのでも気持ち良いですね？

ウオオオオ！  
この乳圧ッ！

人妻のパイオツたまんねえぜ！



でも：誤解下さいないで

こんな行為は病み上がり今日だけ：特別なんです：からっ！

まあっ！  
ビクビク！  
脈をうってますわ！

もうすぐでフフフ！  
これですわね

ぬおおっ  
至福ウ！

だ：駄目だっ  
出ちまうっ！



おおおーっ  
フローラア！

きゃっ：ホラッ  
出ましたわっ！

ああっ：まるで  
噴水ですわっ！

こんなにいっぱいキュッピュッして…  
すっ！我慢してたんですね  
うふふっ！

凄く気持ち良さ  
そうで私も嬉しく  
なっちゃいます！



ぬ：ふうう  
最高の乳ズリ  
だったぜ！

にししつ：：  
やはり仮病の  
効果は抜群の  
だったぜえ！

クスッ：：  
お役に立てて  
何よりですわ！

よし：うう  
なったら：：

こつちも  
お返しに  
気持ち良く  
してやるぜ！

きやあつ  
何をっ！

私を：どう  
するつもり  
ですの：！？

ほれほれっ  
どうだッ！

お前はもう  
このサイズじゃ  
なきやあ満足  
できねえだろ？

であんつ：酷い  
ですわあッ！

そんな力尽く  
でなんてっ：：  
非力な女の私  
には：とても抵抗  
できませんのにイ！

ああんつ：やつぱり  
このチンポですわっ  
私もう：コレじゃ  
ないと全然満足  
できませんのっ！

デヘヘッ：：  
イイだろっ  
減るもんじゃ  
ねーし！  
お互い楽し  
もうぜっ！

そうれっ  
ここがイイ  
んだろ？

う：ああ：：

何故なんだ  
フローラ：：

まあんつ：：  
そでん：奥  
までん：：  
ズルわいあ！

最初に君に会った  
のは故郷の港……  
あの船の上で……

私も……

お父様と  
旅をして……  
いるの……

僕と同じ様に父親と  
旅をしている内気な  
女の子だった

でもサファイアの  
様に美しく輝く  
髪と瞳が僕の胸  
に焼き付いて……

ポッ

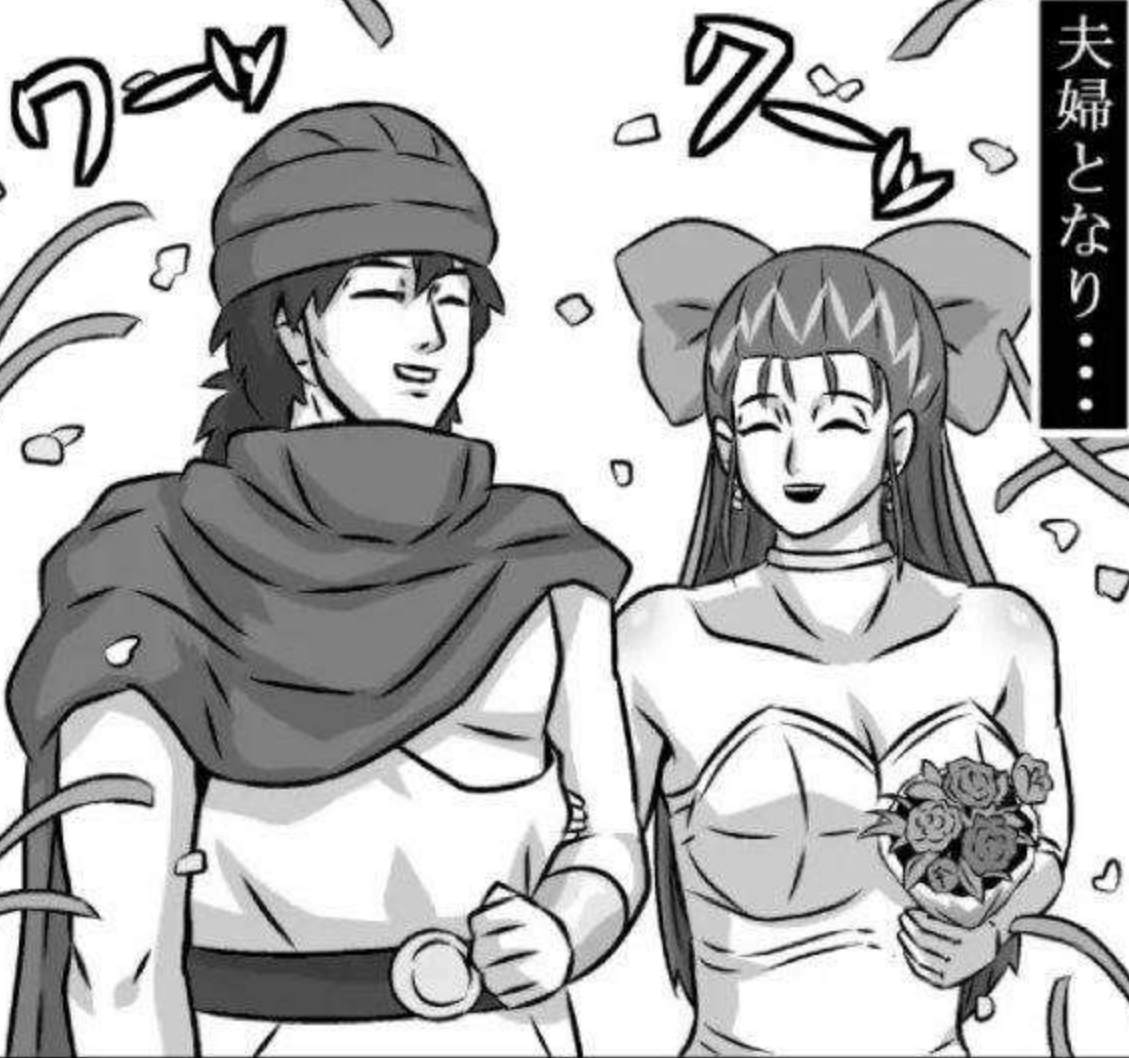
再会した時には  
一目であの時の少女  
だと分かったよ……

あら……  
嫌ですわ……  
私……

お名前も  
お聞きす  
と……

それから僕達  
は……すぐに恋  
に落ちて……

夫婦となり……



結ばれたんだ……

あ……あの……  
私……こんなの  
初めてで……

こっ……怖く  
ても……頑張り  
ますから……

その……優しく  
して下さい……

それが今は……



僕の目の前に  
変わり果てた  
妻が……

ナハハハハハッ  
俺様の極太で  
メツタ突きだ！  
こいつは  
効くぜ！

ポッポッ

あんっ……凄い  
ピストンッ……

魔物と性交に  
興じるフローラ  
の姿が……！

こんななら  
さっさと  
私……  
また来ちゃい  
ますううう！



又ホーッ  
この勢いで  
ちやつかり  
中出しだッ！

きゃああアアッ！

いっばい  
出てますッ  
あつ……熱い  
いっ……ンッ！

ふひひひっ  
俺様の精子  
受け入れろッ  
フロラアッ！

ああ……気持ち  
良かったあ……  
これは……愛？

んっ……  
はあ……  
ふはあ……

それとも……肉欲に  
溺れているだけ？

もしかすると  
私はもう……

あの人よりも  
ジャミの事を……



異種同士のオスとメスの交わりは

ふっ…ふっ！  
幾ら抱いても飽きねえ最高の体だぜっ！

ケケケッ  
すっかり俺のチンポの虜になつてるぜ！

28日目

そ…そんな風に言われたらっ…

私っ…もっともっ…  
もっ…感じて…  
あはあんっ！

連日連夜…激しく淫らに続いた…

ぐへへっ  
こんなにヨダレ垂らして…

スケベで可愛いケツマ〇コだなア

マケツ…ケツ…ケツ…!?

そんな…下品な言い方するなんてっ…  
酷いですわっ！

へへっ…まあ  
そう怒るなよ  
すぐに気持ち良くしてやるからよお！

31日目

ほうれっ  
ケツマ〇コに注ぐぞオ！

あっ…  
あひっ…

あ…  
うう…

もう…  
やめ…  
くれ…

ケツマ〇コ  
イイイイ！

そして…

あ：あの：これ：は：？

わ：私のお腹：どうなってる：？

ぐふふ：見ての通り俺達で作った新しい命だぜ！

まさか：人と魔物で：しかも：こんなに早く：大きくなるなんて：



これも愛の力つてやっただお前ももう俺を愛してるんだらう？

な：何を：

私に：そんな気は全然：

クククツツ相変わらず頑固だな！

まあいいさあ：今日も愛し合おうぜ！

ええっ：この体で！？

そんな：フローラが奴の子を：な：何かの間違いだ！



でも：こんなに膨らんだお腹：

太ったみたいで私：凄く恥ずかしいですわ：

どんな姿でもお前が世界で一番可愛いぜフローラ！

そ：そんな事言われたら私：困りますわ！

ふひひっ：そう照れるなって！



んじゃあ挿入るぜ！

はあっ：！

まさか：私が妊娠するなんて：





そうあせる事ないよ君ならきつと元気な子を産めるさ!

あなたはいつも私を励ましてくれたけど...

は：は：は：あなた：あなた：あなた：ないさい



あの人の間ではできなかった... どんなに頑張っても駄目で...

お世継ぎが待ち遠しいですなあ

周りからの重圧に押し潰され... そうになつて...

じ...じ...も...



全部あなたのせいでしたのね...! あなたのソレが余りにも貧相で... すぐに果ててしまうから!

そう：あなた：あなた：のチンポは何の役にたてない！ 完全な不良品ですの！



こうしてジャミの子を授かって確信しましたわ!

んあっ...

くっくっ!

これまで私が妊娠できなかったのは...



でも... このジャミのペニスは違う! 女を十分に満足させて... 命の種を与えてくれる!

ほれっ! ボテ腹をガンガン突くぜッ!

あっ... ひいっ!

お腹ッ... 凄く響きますウ!

私を満ち足りた女に... してくれ... 母に

あなたのお粗末な豆鉄砲なんかとはまるで違う! 本物のチンポですわ!



おっ：何か  
いつにも  
増して興奮  
してねえか？  
妊娠した事  
で体がより敏  
感になったの  
かもなア！

ヒイーツ  
違いますウ！

私っ：そんな  
スケベじゃ：  
はっはっはっ！



クソ穴にも  
プレゼントを  
やるぞッ！

はにやあア  
おケツウウ！

そして  
トドメッ



ひひひっ  
そんな事  
言つてもう  
イク寸前  
だろうがッ

この女完全  
に  
落ちた：な！

そうと  
来たら：

んひっ：  
何をッ！？



臨月マ○コに  
ぶっ放すぜっ  
うらあーっ！

ぐわあッ：  
ぐわあッ！

アケツもマ○コも  
アケツメ来るッ！

フローラっ：  
本当はとんで  
ないスケベなん  
ですうううっ！



うあっ!?

カッ

ダキッ



まだ奴と...

はああ...

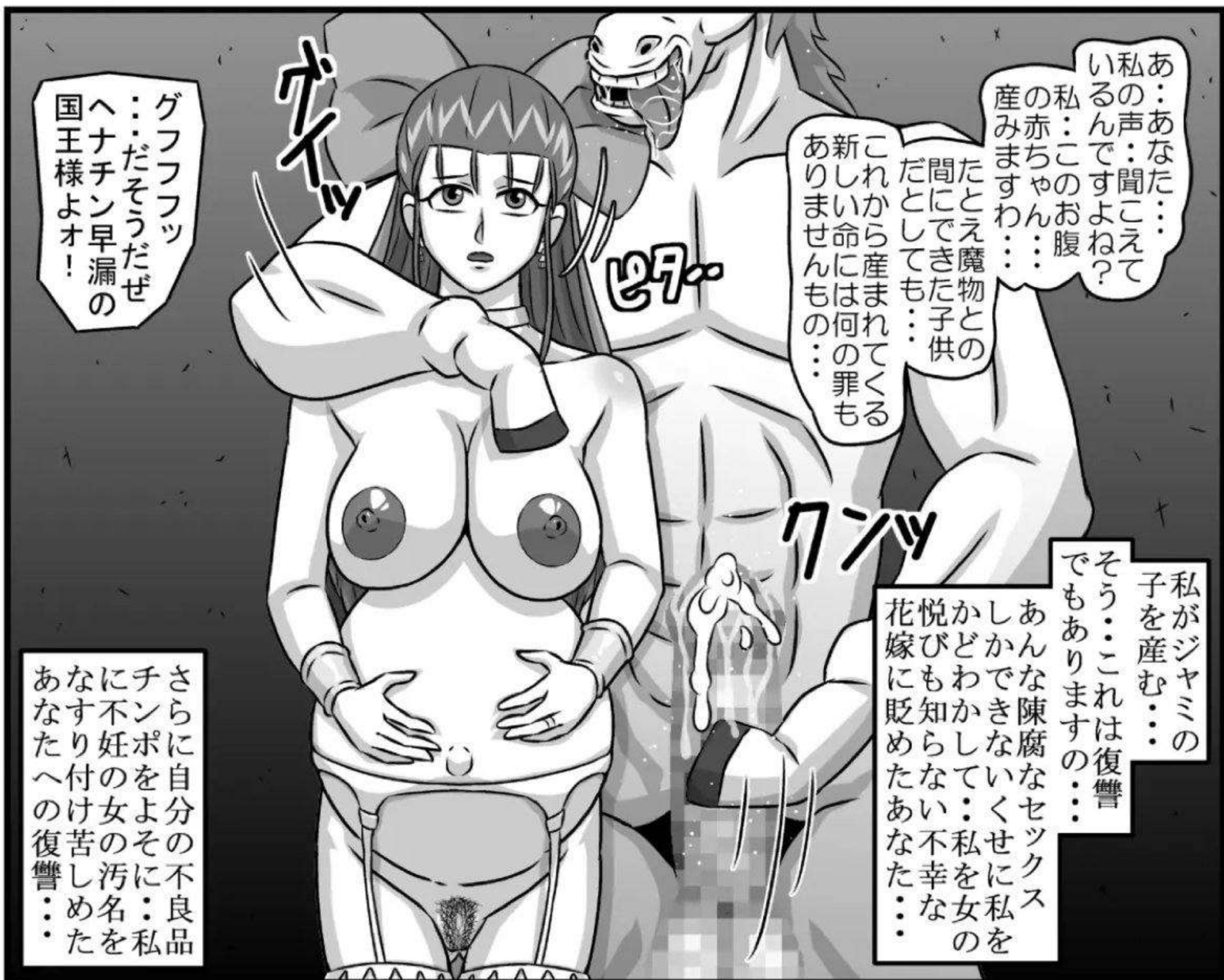
君はそんな体になつても...

へへッ... 良かったぜ



う... ああ... フローラ...

ハッ



ゴイッ

ゴッ

クッ

グフフフツ : : : だそうだぜ へナチン早漏の 国王様よオ!

これから産まれてくる 新しい命には何の罪も ありませんもの...

あ... あなた... いるんですよ... 私... このお腹... 産みますわ...

私がジャミの子を産む... そう... これは復讐 でもありますの...

あんな陳腐なセックス しかできないくせに私を 悦びも知らない不幸な 花嫁に貶めたあなた...

さらに自分の不良品 チンポをよそに私に 不妊の女の汚名を あなたへの復讐... なたへ



ですから... あなた...

そっ... フローラッ

ワナ

何て事をつ 正気なのかっ うぐぐっ!

ワナ

私がジャミと 交じり合い彼の 子を産む姿... あなたに見せて あげますわ!





ほうれっ  
コイツだ!

ふはあつ  
何をッ!?



それから数日後...  
新たな命が産まれ  
ようとしていた!

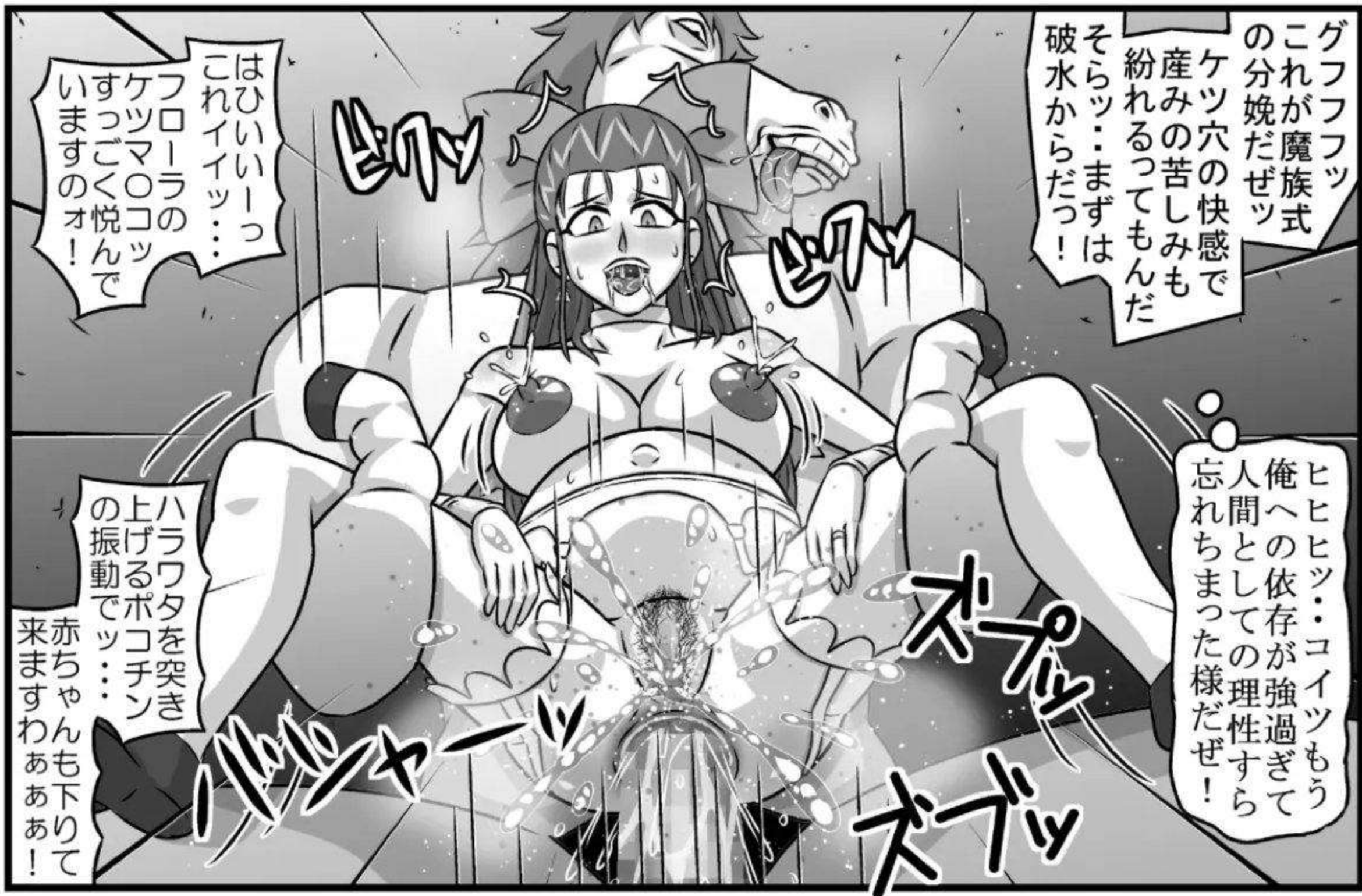
どうだ...  
フローラ?

な...中で  
動いて...  
もうすぐ  
産まれそう  
です...!

ビッ

げへへ...  
それなら...

59日目



グフフツツ  
これが魔族式  
の分娩だぜツ  
ケツ穴の快感で  
産みの苦しみも  
紛れるってもんだ  
そらツ...まずは  
破水からだっ!

ヒヒヒツ...コイツもう  
俺への依存が強過ぎて  
人間としての理性すら  
忘れちまった様だぜ!

はひひいっ...  
これイイッ...  
フローラの  
ケツマの  
すっごく悦んで  
いますのオ!

ハラワタを突き  
上げるポコチン  
の振動でツ...  
赤ちゃんも下りて  
来ますわああ!

あの人に...  
近くにッ!



あの人に...  
近くにッ!

クへへッ  
了解だぜ!

うわああつ  
やめてくれッ  
フローラア!

ムキムキ



ぎひひひっ  
奴にも見せ  
ないとなア

はひっ...  
勿論ですわっ

ジャミ様っ  
もっ...!

ズッ  
ズッ

あつ：頭つ  
出ますウ！



ぬひひひっ  
イイぞオ！

はううっ…  
ジャミ様あ！



まかせろっ  
ガンガン  
突くぜツ！

おほおおーっ  
ケツ穴もマ○コ  
もギチギチに  
拡がってツ…  
苦しけど最高の  
気分ですのオツ！



フヒヒッ  
そりやあ  
良かったぜツ  
このままイキながら  
奴の目の前でガキを  
ひり出してやれツ！

はいっ…ウフフッ  
楽しみですわア！

ぐふふっ  
フローラッ  
その腹の子は  
誰の子だっ

あはひっ…  
勿論ジャミ様  
の子ですツ！

ジャミ様  
の精子でっ  
ジャミ様と  
愛し合っ  
て出来たっ…  
二人のっ…





そしてついには……  
運命の日が訪れた！

ドキ

ドキ

まあ：約束  
だからな……

きよ……今日が  
最後の……！

ほらよ  
受け取れ  
コイツを  
どうする  
かは自分  
で決めろ

ス♡



……  
あの子は……？

フ：フローラッ  
僕はまだ君を  
信じているぞ！

奥の部屋で  
まだ寝てるぜ

君はきつと僕  
の所に帰って  
きてくれる！

チ♡

そう……

たとえアイツに  
抱かれて……  
子供まで産んだ  
としても……

……

あんな：一時の快樂  
で築かれた奴との  
偽りの関係より……

僕ら二人がずっと  
育んできた夫婦の  
愛と絆の方が……

ずっと強くて  
尊い物のはず  
だからっ……！

ああっ……  
フローラ！

やつぱり君  
も僕と同じ  
想いを……！

そうだよ！  
僕らはまだ  
やり直せる  
はず……



ツ♡

ツ♡













